

ト云フ有様ナルヲ以テ、之ヲ相對照シテ、前者ハ農業國、後者ハ商工業國ト爲シ、露西亞、埃地利、洪牙利等ハ農業、和蘭白耳義等ハ商工業國ニ分屬スルモノトシテ之ヲ解スルモ、佛蘭西ノ如ク、農商工業畧ホ相等シキモノハ、何レニ屬スヘキカ、獨逸ハ今日農七工三ト云フヘキ國柄ナレトモ、其商工業ノ發達ノ急速ナル、善ク四方ヲ壓スルニ足ルヨリ云ハ、之ヲ商工業國ニ加フヘキ理由ナキニアラスシテ、其分類ハ遂ニ明確ヲ缺カサルヘカラス。

産業政策

然ラハ經濟學者カ、好ンテ此類別ノ爲メニ艱深ノ辯ヲ求ムルハ、何ノ爲メソ。蓋シ之ニ基イテ、農業政策、若クハ商工業政策ヲ定メントスルニ由ル。今日何レノ國ニアリテモ、農商工業間ノ利害ノ衝突ヲ見出サ、ルナク、農業ノ利益ヲ主張スルモノハ、農國之本也ト稱シテ、農業ノ發達ヲ圖ル爲メニ、商工業ノ利益ヲ犧牲ニスヘキコトヲ説キ、商工立國論ヲ爲スモノ

商工立國論ノ根據

ハ、商工業ノ利多クシテ農ノ益寡キヲ證明シ、農業ヲ棄テ、商工業ノ發達ヲ助クヘキコトヲ云フヲ以テ、其爭ヤ窮極ナシ。其國土カ、農業ニ適セリヤ、商工業ニ適セリヤト云フカ如キ議論モ、主トシテ是等ノ政策上ノ爭ニ附帶シテ出テ來ルノ姿アリ。然リト雖モ、農商工諸業ノ發達ハ、人類社會ノ自然ノ狀態ニシテ、其一ヲ取リテ、其他ヲ棄ツヘキニアラス。又其當事者ヨリ云ハ、總テ是レ財產上ノ權利利益及ヒ營業ノ自由ノ存スルトコロナリ。爲政ノ要ハ、各々ヲシテ其處ヲ得テ、其自然ノ功利ヲ收メシムルニアリ、其一ノ利益ノ爲メニ、其他ヲ犧牲ニスルカ如キノ暴虐ヲ爲スヘカラサルヤ論ナキナリ。且國家ハ、此消極的要務アルノ外ニ、積極的ニ、其力ヲ國土人民ノ上ニ致シテ、自然的事務ヲ回護スルノ必要ヲ見ル場合多シ所謂産業保護獎勵、即チ是ナリ。英吉利本土ハ、固ト農業國ナリ、然ルニ、近時英國政府、其積極的政策ヲ棄テ、放任主義ニ專ラナルノミナラス、其國

調和

内農業ノ困危ニ陥ルヲ見テ、之ヲ救フヲ爲サス、千八百七十年以後、同國ノ農地漸ク荒廢、農産漸ク減却ス。經濟學者則チ其損失ヲ計算シテ、千八百七十年ト今日トヲ比較シテ、土地ノ實價ヲ失フコト約百億圓、同年以後、收穫ノ減却ニ依リテ失フトコロノモノ約百億圓、合計二百億圓ヲ失ヘリト稱ス。此統計正確ナリヤ否ヤハ知ラサレトモ、恐クハ當ラスト雖モ遠カラサルヘク、英國人其海外投資二百億圓ニ上レルヲ誇ルモ、是レ恰モ其内地ニ於テ失フトコロト相當ルニ過キササルナリ。且農地荒蕪其生産力ヲ失フトキハ、直接ニハ其國民ノ食物原料品ノ供給ヲ内地ニ求ムルヲ得サルノ結果ヲ來タシ、間接ニハ失職者ヲ多クシ、都會人口ノ填塞ヲ甚タシクシ政治ノ腐敗、兵力ノ衰耗等、皆之ニ伴ハサルヘカラスシテ、今日英國ノ學者有識者、最モ此弊害ノ畏ルヘキコトヲ認知セリ。世人住々獨逸佛蘭西諸國政治家カ、農業商工業ヲ、交々保護獎勵スルノ矛盾ヲ答ムルモノアレ

トモ、國家ノ政策トシテハ、一ヲ助長スル爲メニ、他ヲ犠牲ニスルカ如キ處置ヲ取ル能ハス、已ヲ得スンハ、則チ是等ヲ擧ケテ悉ク獎勵保護スルノ外ナシ。且一ヲ取リテ、他ヲ排セントスレハ、此ニ相衝突スヘケレ、由來農商工諸業ハ、相待チテ興リ、相依リテ立テルモノニシテ、相衝突スルヨリハ相調和スルコトニ依リテ、其利益ヲ全クスヘク、佛國政治家メリーヌハ、世人目シテ農本主義ヲ取ルモノト爲スモ、彼ノ本旨ハ農商工諸業ノ間ニ *equilibrium* ヲ保ツニアリ。英國政治家サリススブリー侯ハ、商工業ノ爲メニ盡瘁スルト同時ニ、深ク英國農業ノ衰退ヲ病ヘテ國民ニ説クニ、農地ニ歸リテ、其業ニ復セサルヘカラサルコトヲ以テス。乃チ世ニ單純ナル農業國、又ハ單純ナル商工業國ナルモノナク、農商工業、鑛業、漁業、森林業等、蔚然トシテ興リ、天賦ノ存スルトコロ、人力ノ至ルトコロ、各々其功ヲ成スハ則チ人類國ヲ成スノ理想ナリ。國家ノ政策、一定ノ事業ヲ保護シ獎勵ス

ルハ可ナリ、之ヲ保護シ獎勵スル爲メニ、他ノ事業ヲ壓倒シ、排除スルハ不可ナリ。國土ヲ類別スルハ必スシモ不可ナシ、併ナカラ、之ヲ以テ政策ノ基礎ト爲シ、變局ヲ試ムルカ如キハ、獨リ其利ナキノミナラス、其害甚タ大ナリ。

第二 法律上ノ類別

國土ノ法律上ノ性格ニ就テ、之ヲ類別スルハ經濟上ノ類別ニ比シテ、較々準據アリ、又其實用アルヲ覺ユ。

法律上ノ分類方法ニアリ、其一ハ、單一國ト複合國トノ區別、其二ハ本土ト殖民地(廣義)トノ區別是ナリ。

複合國、即チ同君國家、聯邦及ヒ國家聯合ノ事ハ、前章ニ於テ之ヲ詳説シタルヲ以テ、此ニ之ヲ反覆スルノ必要ナシ。此複合國ト相對シテ、單一國ナ

複合國ト單一國

ル名稱ヲ設ケ、其異同ヲ辯スルモノ多ク、特ニ北米合衆國、獨逸、奧國等ノ學者政治家、最モ此ニ心ヲ用ユルモ、我大日本帝國、其他國家ノ成立甚タ單純且明白ナルモノニアリテハ、此事ニハ殆ト何等ノ興味ヲモ感セス。且國家發達ノ順序ニ就テ云ハ、政治的同盟關係ノ一層親密ナルモノハ化シテ國家聯合トナリ、國家聯合ノ凝固セルモノハ化シテ聯邦トナリ、聯邦ハ、漸ク化醇シテ、單一國家ノ實ヲ示スト云フ次第ニテ、國家聯合ヲ聯邦ノ過渡狀態ナリト云ハ、複合國ハ單一國ノ過渡狀態ナリト云フヲ妨ケス。只此後者ハ過渡期甚タ長ク、融和合一甚タ困難ナルノ實アリト云フヘシ。今日何人モ、大不列顛國ノ單一國ニシテ、複合國ニアラサルコトヲ認ム、併ナカラ其 united kingdom ノ名稱ハ則チ彼亦歷史上複合國タリシヲ自證スヘク、英、蘭、蘇格蘭、愛蘭、相融和合一シテ、今日ノ單一國ヲ成スニ至ル。尤モ今日英國君主ハ、印度皇帝ニシテ、英國ノ法律上、印度ヲ殖民地ト指稱セ

ス、千八百八十九年解釋法第十八條ヲ以テ故ラニ之ヲ殖民地ヨリ特異シタルノ故ヲ以テ、英國ト印度トハ、同君國家ナリ、埃洪國ノ如キ複合國ノ例ヲ以テ之ヲ推スヘシト爲スモノアレトモ、印度ハ事實上英國ノ殖民地ナリ、英國ノ國法上、殖民地ノ名稱ヲ被フラサレトモ、同時ニ獨立國家タルノ保明ヲ存セス、又國際法上、印度ハ國家タルノ地位ヲ有セス。國家本土ト其殖民地トノ區別ハ、一見甚タ明白ナルカ如クニシテ、時ニ難深ナル疑問ヲ生スルコトアリ。蓋シ今日ノ憲法ハ、十八世紀末、北米合衆國ノ獨立、佛蘭西大革命ノ際ノ憲章ヲ以テ典型ト爲シ、十九世紀中葉、歐羅巴大陸政變ノ餘ニ成レル國法ニ依準スルモノ多キヲ以テ、其規定スルトコロハ、人民ト國家トノ關係、立法行政諸機關ノ關係ヲ明ニスルニ專ラニシテ、殖民經營ノ事ニ及ハス、加之今日ノ殖民經營錯綜ヲ極ムルモノアル爲メニ、時ニ判斷ニ苦ムヘキ難問題ヲ生シ來ルコトアリ。

本土ト殖民地

何ヲカ國家ノ本土ト曰ヒ、何ヲカ其殖民地ト曰フカ、之ニ答フルノ要ハ、先ツ國家本土ノ何モノタルコトヲ明カニスルニアリ。夫レ國家ハ、統治關係ノ下ニ結合スルトコロノ人類ノ永久的團體ニシテ、一定ノ土地ノ上ニ、其形ヲ成スモノタリ。既ニ永久的團體ナリト云フ、其歴史ヲ有シ、國民性ヲ有シ、政治組織ノ甚タ明確ナルモノヲ有スルヤ論ナク、其所謂一定ノ土地ナルモノモ、亦其歴史ト現狀トニ依リテ、之ヲ指示シ得ヘキモノナカルヘカラス。而シテ此一定ノ土地ナルモノ、即チ國家本土ナリ。國家ハ、其本土以外ニ於テ、土地ヲ領有シ、又ハ土地ヲ支配スルコトヲ得。此本土以外ニ於テ領土權ヲ及ホスモノヲ舉ケテ、廣義ノ殖民地ト云フ。廣義ノ殖民地ハ、更ニ之ヲ細別シテ、殖民地、租借地、保護國等ト爲シ、殖民地ト相類似シテ、其權利又ハ利益ノ關係較々稀薄ナルモノヲ、勢力範圍ト爲ス。是等ハ、拙著殖民政策中ニ、之ヲ説クコト甚タ詳ナルヲ以テ、此ニ省略

殖民地經營ノ原理

ス。

殖民地ハ、内國憲法ノ行ハレサル處、内國政治關係ノ外ニ特立スル處ナルヲ以テ、之ヲ獲得シ、之ヲ經營スルノ本源ハ之ヲ國土膨脹ノ理由ニ原ケサルヘカラス。其目的、國家ノ存立ヲ全フシ、安全ヲ保ツニ出ルモノアリ、經營上ノ利益ヲ求ムルニ出ツルモノアリ、其原因區々ナリト雖モ、要ハ國家ノ意思ノ主張ヲ示スモノタリ。然リト雖モ、此事ハ、決シテ殖民地ヲ以テ母國ノ犠牲ト爲スヘシト云フコトヲ意味セス。殖民地ヲ領有シテ、永ク其福利ヲ全フセント欲セハ、殖民地ノ繁榮發達ヲ圖リ、所在人民ヲシテ、其宅ニ安シ其業ニ樂マシムルニアリ。歐羅巴諸國ノ殖民政策、古今其軌ヲ同クセサルノ理由、亦一ニ此ニアリ。

第四編 人民

第一章 人類ノ集團

國家ハ、一定ノ國土ノ上ニ在リテ、統治組織ヲ具フルトコロノ、人類ノ永久的集團ナリ、故ニ國土ヲ以テ、國家ノ基礎ト爲スヲ得ハ、此人類ノ政治的集團ハ、則チ國家ノ本體ナリト云フヲ得ヘシ。

人類相集團スルノ状態ハ、區々一樣ナラス。其統治組織ヲ具フルト曰ヒ政治的ト曰フハ、專ラ命令服從ノ關係アルモノヲ指シテ云フモノタリ。人類合意ヲ以テ相交リ、平等ノ地位ヲ相保チ、固有ノ自由ヲ保留スルモノハ、國家ニアラサルナリ。國家ヲ成スト云ヘハ、命令者アリ、服從者アリ、服從者ハ、平等自由ヲ以テ之ニ對抗スルコトヲ得サルノ状態ヲ意味ス。

命令服從

此命令服從ノ關係ハ、國家ノ外ニ、家族ニ於テ之ヲ見出スヘク、國家ノ根源、亦實ニ此家族關係ニアリ。人類集團ヲ爲スコトノ、父母兄弟間ノ血族關係ヨリ始ルコトハ疑ヲ容レサルトコロニシテ、血族先ツ成リ、親近者相依リテ、一家長ノ下ニ服從ス。此家族相近キモノ相結ヒテ部落ヲ成シ、民族ヲ成シ、其漸次發達シタルモノヲ目シテ、國家ト爲ス。古人、家族ハ國家ノ小ナルモノ、國家ハ家族ノ大ナルモノト爲シタルハ、此事體ヲ言表ハセルモノニ外ナラス。

家族狀態ノ起原ニ二說アリ、其一ハ父系說 Patriarchal 其二ハ母系說 matri-archal 是レナリ。

父系說

父系說ハ、最モ古ク傳ハリ、又最モ廣ク行ハル。試ニアリストテレス其政治學中ニ言フトコロノモノヲ見ルニ、曰ク、人類家族成ル、其數家族カ、日々ノ食物ヲ供給スルコトヨリ以上ノ目的ヲ以テ、相結合シタルヲ部落ト爲

シ、其數部落カ、相結合シテ、自立ノ計ヲ立ルヲ國家ト爲スト。其統治關係ノ基クトコロハ、則チ家族ニ於テ、父カ其子ヲ支配セルニヨリ、此種家族的集團ノ發達シテ大集團ヲ成セル次第ハ、中央亞細亞ノ未開人民ニ就テ、其ノ極メテ原始的ナル狀態ヲ觀テ、之ヲ知ルヘク、家族的政治ヲ説クモノ最モ其ノ詳細ヲ極ム。

母系說

然ルニ、十九世紀ニ及テ、歴史家母系說ヲ出シ、原始的家族狀態ノ、獨リ父系體制ノミニアラサルコトヲ論證ス。母系說ノ主張者 J. H. MeLennan ハ、父系的家族ヨリモ一層古ク、又一層原始的ナル社會ニ於テ、母系的家族アリ、一定ノ人類相集團シテ生活スルモ、夫妻關係ナク、其血統ハ專ラ母ニ依リテ之ヲ正スモノナルコトヲ説キ。エドワード、ゼンクスハ更ニ詳密ナル研究ヲ遂ケテ、濠太刺利亞及馬來ノ土人若クハマダカスカルノホヴァ民族間ニ此種ノ家族制アルコトヲ舉グ。曰ク是等土人ノ集團ハ、一處ニ相

結合シテ、共同生活ヲ爲シ、各集團ニハ標章 Totem アリ、此家族制ニアリテハ女ヲ以テ家長ト爲シ、男子ハ其命令ニ服從スト。

由是觀之、家族ハ、家父ノ下ニ服從スルカ常ナレトモ、別ニ家母ノ下ニ服從スルモノモ、亦コレアリテ原始的狀態ノ甚タ區々タルコトヲ知ルヲ得ヘシ。支那ハ古來父系家族說ノミ行ハレタル處ナレトモ、莊子云ヘルアリ曰ク、神農之世、臥則居々、起則于々、民知其母、不知其父、與麋鹿共處、耕而食、織而衣、無乃相害之心、此至德之隆也。ト、莊周ノ言、必スシモ事實ヲ辯證スルモノニアラスト雖モ、其着想ハ、蓋シ據アリテ出テ來ルモノナルヘク、古代民族、獵漁ヲ業トシテ、相群居スルモノニアリテハ、母系家族ヲ便トスルコト多ク、就中、其一ノ「トーテム」ニ屬スルモノハ、相婚セスシテ、必ス他ノ「トーテム」ノ婦女ヲ迎ヒ入ル、ノ風アルカ如キハ、自ラ其民族ノ生理上ノ改良ヲ圖ルニ足ルヘク、又各「トーテム」間ノ平和ヲ保ツノ道ヲ開クノ便アリ。

由來獵漁時代ノ狀態ハ、地廣ク人稀レニ、食物ヲ得ルヲ甚タ容易ナルヲ以テ要件トス。若シ夫レ地域相接シ、人力相迫リ、天災地變、掠奪爭鬪、交々至ル處ニアリテハ、人類復タ母系家族ノ康樂ヲ保ツ能ハス、人々最強最勇者ノ下ニ服從シテ、自ラ保ツニ是レ急ナリ、父系家族於是乎起リ、英雄會長於是乎其勢ヲ張ルニ至ル。之ヲ各民族ノ歴史傳説ニ稽フルニ、母系父系並ヒ存シ若クハ、或時ハ母系ニ依リ、或時ハ父系ニ依リタルコトヲ髣髴ノ間ニ認メ得ヘシ。

然ト雖モ、人事漸ク有史時代ニ近クニ從テ、母系家族殆ト其跡ヲ絶テ、父系家族獨リ其形ヲ成シ、其ノ漸ク發達シテ部落ヲ成シ、國家ヲ形クルニ至ルモ、血族ヲ以テ人類結合ノ基礎ト爲スノ觀念ハ、依然トシテ存ス。只民族相侵畧スルコト多キニ伴フテ、血族以外ノ人類ヲ收容セサルヘカラサルニ至ル。血族以外ノモノハ、總テ之ヲ奴隸ト爲ス、奴隸ハ、其集團ノ中ニ在

奴隸

ルモ、人格ヲ有スルコトナシ。此事、後世見テ以テ殘刻人道ニ合セスト爲ストコロナレトモ、古人ハ乃チ自ラ其解アリ、則チ其血族ヲ重シテ、他ヲ特異スルノ意思甚ク強キニ由ル。且各民族爭鬪ヲ事トスルノ日ニアリテ、戰勝者ハ、戰敗者ヲ殺シ盡スヲ以テ干戈ヲ收ムルヲ例トス、此時ニ當リテ、戰敗者、身ヲ以テ降り、終生其使役ニ甘ニスルモノハ、強テ殺戮ヲ行ハスシテ、收メテ以テ奴隸ト爲スノ風ヲ成ス、當時ニアリテハ、是レ亦戰爭ノ慘禍ヲ緩和スルノ唯一ノ道ニシテ、又個人其身ヲ全クスルノ一手段タリ。希臘羅馬、古聖先哲ノ、高尚ナル理想ヲ懷クヲ以テシテ、猶ホ奴隸ノ廢止スヘキヲ云ハスシテ、却テ之ヲ辯スルニカメタルハ、決シテ故ナシト謂フヘカラス。

然リト雖モ、所謂家族的國家、家長政治ナルモノハ、古代ノ小國家ニ就テノミ之ヲ言フヘク、時勢漸ク進ミテ、國土ハ大ナラサルヘカラス、國民ハ衆ナラサルヘカラス、國力ハ強大ナラサルヘカラスト云フニ及テハ、復タ此舊型ヲ守ル能ハス。且國家ノ存亡興廢頻々、國境ハ、戰爭又ハ外交ニ依リテ數ハ變更セサルヘカラスシテ、國家及國民ノ意義、今ハ全ク新タナリ。只人類集團ハ、永久且密切ナルヲ尙ヒ、人種系統相異ナルハ、相同シキニ若カス、其ノ相同シキモノ、相依ルヲ喜ヒ、相異ナルモノ、相集ルトキハ、常ニ幾多ノ支吾ヲ免カレス、是レ今日猶ホ國體ヲ重シ、國民性ヲ云フモノ多キ所以ナリ。

國家ノ發達

國家カ、人類ノ政治組織、即チ命令服從ノ關係ヲ以テ成立スルコトハ、數ハ之ヲ云ヘリ。既ニ命令服從ノ關係ナリト云フ、一定ノ命令者アリテ、他ノ人類ハ之ニ服從スルモノナラサルヘカラス。此點ヨリ見ルトキハ、父系家族ノ狀態ハ、甚ク明白ナル組織ト云フヘク、其ノ國家ヲ成スニ及ヒテモ、猶ホ家長政治ノ名ハ、教長政治ノ名ト並ヒ行ハル。於是乎、父系家族ハ進

命令者ト
服從者ト

ミテ君主政治武斷政治トナリ、母系家族ハ、後日ノ民衆政治、共和政治ノ原型ナリト爲スモノアレトモ、必スシモ然リト爲ス能ハス。母系家族ハ其主母ヲ以テ家長ト爲シ、男子ハ皆其指揮ヲ受クルノ實アリ。何レニセヨ、家族民族等、命令服從ノ關係ヲ以テ成立ツトコロノ人類團體ハ、命令者先ツ存シテ、服從者之ニ從テ生スルカ常ニテ、少クモ命令服從兩者、同時ニ存在セリト推定セサルヘカラスンテ、服從者先ツ存シテ、命令者之ニ從テ生スルコトナシ。治者ハ被治者ノ爲メニカムルト云フハ、徳義上ノ命題ニシテ、之ヲ以テ、存在ノ前後ト、其地位ノ主客トヲ辨スルカ如キハ、人類集團進化ノ歴史ニ反ス。

第二章 人種

人種

初メ家族民族相結ヒテ、小政治團體ヲ形クルノ時ニ當リテヤ、其相集ルモノハ、皆同一血族ノミナレトモ、其ノ漸ク進ミテ、大團體トナリ、奴隸又ハ外國人ヲ容ル、コト多キニ從テ、舊時ノ血族團體ノ純白ヲ保ツ能ハス。只其血族ノ相近キモノヲ擇ヒテ、相和同ス、其相和同シ得ルモノヲ、同人種ト爲シ、然ラサルヲ、異人種ト爲ス。

人種ノ系統及ヒ分類ヲ詳ニスルコトハ、政治學ノ範圍ヨリハ寧ロ人類學等ノ特殊ノ研究ニ屬スヘシ。且人種ハ、獨リ其血統ニ依リテ相異ナルノミナラス、其ノ居ルトコロノ風土氣候、其相接觸スルトコロノ事物ニ依リテ、同血統亦特異ヲ生シ、其特異人種亦相共ニ他ヲ同化シ、又ハ自ラ他ニ應化スルノカアルヲ以テ、其相異ナル點ヲ擧ゲテ、之ヲ分別セハ、千種ヲ分ツ

モ猶ホ足ラス、若シ其相同シキヲ尋ヌルトキハ、人類ヲ擧ケテ一種ヨリ出ツルトモ云フヘク、是等ハ、其専門科學ニコソ興味アルヘケレ、政治學上ニハ何等ノ補益アラス。

今日政治學者ノ多ク引用スルトコロノモノハサー・ヘンリー・フラワーノ人種分類法ナリ。此分類ニ依レハ、人類ハ四種ナリ、一ニ曰ク、黑人、二ニ曰ク、蒙古人、三ニ曰ク、亞米利加人、四ニ曰ク、高加索人ト。然リト雖モ、折角ノ分類モ斯ク粗大ニ失シテハ、殆ト無意味ナリ。蒙古人中ニ、北部蒙古人ト馬來人トヲ收ムル、高加索人中ニ歐羅巴人トアイヌ人トヲ收ムルカ如キハ、政治上ニハ何ノ實用ヲモ見出ス能ハス。亦我日本民族ノ如キハ、人類學上、支那人ト相特異スヘキ要件多キノミナラス、政治上其地歩ヲ同クセサルヲ以テ、少ナクトモ政治學ノ範圍ニ於テハ、蒙古人ト相特異セサルヘカラス。

分類法

此ニ暫ク近時ノ統計家ノ調査ニ依リテ、人種分賦ノ大勢ヲ示スヘシ。

人種	所有地	人口	百分比
蒙古、チュラニアン	亞細亞	六三〇・〇〇 <small>萬</small>	四三・七三
アリアン、インドゼルマン	歐羅巴、米國、波斯	五四五・五〇	三七・八七
黑人、バンツ	中部亞弗利加	一五〇・〇〇	一〇・四一
セミチツクハミチツク	北部亞弗利加、アラビヤ	六五・〇〇	四・五一
馬來ポリネシヤ	濠洲、大洋洲	三五・〇〇	二・四三
亞米利加インデマン	南北亞米利加	一五・〇〇	一・〇四
ホテントット、ブシマン	南亞弗利加	・一五	・〇一

此統計ノ數學ノ基礎、甚タ新タナラス、又其蒙古人種中ニ、我日本民族ヲ含メルコトノ不可ナルハ、前ニ述フルトコロノ如シト雖モ、其要ヲ知リテ之ヲ觀ルトキハ、亦以テ大體ヲ推スニ足ルヘシ。

人種研究ノ必要

人類ノ智力體力性情行徑其人種ニ依ツテ相異ナレルヤ論ナク、又同一人種ニテモ、其居處ノ風土氣候事物ノ際會スルトコロニ從テ、其情勢ヲ同クセサルモノアリ。是レ歐羅巴ノ政治學者カ、古來頗ル人類ノ長短ヲ研究スルニ力メタル所以ニシテ、嘗テアングロサクソン人種ト、羅典人種トノ比較研究ニ劬勞シタルモノ、今亦亞細亞人ニ就テ、其長短ヲ説クトイフ有様ニテ、就中、北米合衆國、其他世界各地ヨリ多數異人種入り込ム處ニアリテハ、其政治上及ヒ社會上ノ實地問題トシテ、之ヲ研究スルノ必要アリ。

北米合衆國ハ、固ト歐羅巴ヨリ移住セルモノ相從ヒテ、其國ヲ成セルモノニシテ、初メヨリ一國民ヲ以テ形成セルモノニアラス。只其甚タ相近キモノ相集リテ、多ク年處ヲ經タルヲ以テ、自ラ一ノ米國民ヲ化成シタルヤ論ナシ。然ルニ十九世紀ニ入りテ、他國民ノ合衆國ニ移入シ來ルモノ甚タ多ク、其初メハ、愛蘭人、獨逸人、スカンヂナビア人、後ニハ、奧地利、洪牙利人

米國

波蘭人、露西亞人、伊太利人、巴爾幹人等夥シク入り來リ、日本人、支那人亦其數ヲ増加シタリ。乃チ千八百二十一年ヨリ千九百二年ニ至ル間、外國人ノ北米合衆國ニ移入セルモノ、統計次ノ如シ。

國名	人員	百人比例
獨逸	五・〇九八・〇〇五	二四・九
愛蘭	三・九四四・二六九	一九・三
英蘭維爾斯	二・七三九・九三七	一三・四
伊太利	一・三五八・五九七	六・七
瑞典諾威	一・三三四・九三一	六・六
奧地利洪太利	一・三二六・九一四	六・五
露西亞波蘭	一・一〇六・三六二	五・四
英領北亞米利加	一・〇五〇・六八二	五・一

斯ク多數ノ外國人移入シ來リテ、遂ニ米國民トナリ、其政治生活ヲ相共ニスルヲ以テ、年處ヲ經ルノ間ニハ、互ニ相同化スルヤ言ヲ待タスト雖モ、之カ爲メニ、本來ノ米國民族亦多少ノ影響ヲ受ケサルヘカラス。且言語相通セス、風俗甚タ相異ナルモノ、一處ニ棲息スルトキハ、交々其短處陋習ニ相浸染シテ、墮落腐敗ヲ招カサルヘカラス、是レ北米合衆國ニ於テ、最モ人種問題喧シキ所以ナリ。

歐羅巴

併ナカラ、一國內ニ各人種雜處スル状態ハ、米國ヨリハ却テ歐羅巴大陸ニ於テ、最モ其甚タシキモノヲ見ルヘシ。歐羅巴大陸ニテ、人種混雜ノ著例ヲ算スルモノ、皆埃洪國ヲ舉ク。埃地利ノ諸人種ニシテ、政治上ニ勢力アルモノヲ算フレハ、獨逸、チエツク、ポーランド、ルテーン、チヲニスト、スラヴセルビア、クロアト、伊太利、ルーマニア、猶太諸人種ヲ區別シ得ヘク、其言語ヨリ區別スレハ、獨逸、ポヘミヤ、波蘭、ルテーン、スラヴ、セルビア、伊太利、ル

マニア、マギヤ、諸語ノ行ハル、ヲ見ルヘシ。言語ノ區別ハ、人種ノ區別ト必スシモ一致セサレトモ、大體ニ於テ、人種異ナルモノハ、其用語異ナルモノト解スヘク、一國內ニ、人種ヲ異ニシ、言語ヲ異ニスルモノ並ヒ存スルトキハ、人事齟齬扞格ヲ生シ易ク、國會議院内ニテ、言語ヲ相解セサルヨリ意外ノ混雜ヲ生シ、軍隊ニ於ケル兵士、其用語ヲ解セサル爲メニ、失態ヲ生スル等、一々枚擧スヘカラス。埃國政治家、時ニ此人種的齟齬扞格ヲ利用シテ、控御ノ術ヲ用ユルノ資ト爲スコトアリト云フモ、是レ已ヲ得サルニ出ツル窮策ニシテ、國民相一致セサルコトハ、決シテ望マシキ事ニアラス。人種雜駁ノ状態埃地利ト相似タルヲ、洪牙利ト爲ス、其他獨逸人ト佛蘭西人ト一國內ニ相分立シ、若クハ混濬スル處アリ、波蘭人ヲ容ル、處アリ、猶太人ノ如キハ、各國ニ其居處ヲ占ムルヲ以テ、歐羅巴ニアリテハ、到ル處其政治上若クハ社會上ニ、人種問題ヲ存セサルモノナシト謂フヲ得ヘシ。

夫レ人類其種族ヲ相異ニス、其相異ナル點ヲ擧クレハ、一々相異ナリ、從テ其體質性情ノ相同カラサルハ、則チ其政治上ノ體用ヲ相同クセサル所以ニシテ、異人種相競争シ、相排斥スル所以ノモノ、亦實ニ此ニアリ。然リト雖モ、若シ其相同シキ點ヲ求ムルトキハ、等シク是レ人ナリ、一々其相同シキ所以ノモノヲ求ムル、復タ枚舉ニ違^ラアキス。古代希臘人、羅馬人ハ、自己ノ種族ニ屬セサルヲ指シテ野蠻トナシ、其人格ヲ認メス、從テ其ノ國家アルコトモ認メサリシニ、後日ニ及テ、其哲學法理學上ヨリ、人種ニ依リテ相特異スヘカラサルコトヲ説キ、宗教ノ發達ニ伴フテ、一視同仁ノ教理ヲ、普ク天下ニ擴充スルニ至リテ、復タ古代ノ故陋ヲ云フモノナシ。且今日國ヲ成スモノ、其土廣人衆ヲ是レ競ハサルヘカラサルヲ以テ、人種ノ異同ニ拘泥スルトキハ、遂ニ自ラ其國家ノ存立ヲ危クスルノ極ニ陥ラサルヘカラス。乃チ今日個人間ノ德義トシテハ、人種ノ異同ヲ以テ、親疎ノ區別ヲ

世界主義

爲サ、ルヲ善シトシ、國家ノ政策トシテハ、多數ノ異人種ヲ包容シテ、之ヲ調和シ、之ヲ統御スルコトヲ尙ヒ、且其ノ相異ナルモノヲ化シテ、之ヲ相和同セシムルニカム。今日ノ倫理及ヒ政治此ニ其軌ヲ一ニスル所以ノモノハ、主トシテ正義、人道ニ由ルト云フト雖モ、抑モ亦今ノ世ニ立テ、國家ノ強大ヲ保ツノ必要ニ出ルモノタリ。

然リト雖モ、今日此倫理上及ヒ政治上ノ要道存スルノ故ヲ以テ、人間ニ人種ノ觀念ヲ絶ツヘシト爲スハ、大早計ナリ。既ニ人種ト云フ一ノ有體アリ、個人、家族、民族、皆各々其自己ノ存在ヲ保ツヲ以テ意思ト爲スカ如ク、人種亦自ラ其存在ヲ保ツノ意思ナキ能ハス。此意思ハ往々ニシテ、政治又ハ社交ニ害アリト云フト雖モ、一ノ有體アレハ、此ニ其意思アリ、其有體ヲ認メテ其意思ヲ拒ムハ、自然ノ理ニアラサルナリ。且今日世間、猶太人カ世界最古ノ文明ヲ歴史上ニ體表スルニ拘ハラヌ、今ハ其國土ヲ有セサル

人類保存

ノ故ヲ以テ、天下ノ流氓トナリ、猶ホ且其一人種タルノ體統ヲ保ツヲ見テ
 深ク同情ヲ寄スルト同時ニ、皆相顧ミテ自全ノ計ヲ思ハサルハナキナリ。
 又愛蘭人種ノ現存スルモノ、九千萬人ヲ算スルモ、其故土ニ在ルモノハ、四
 千萬人ニシテ、其ノ他郷ニ出テ去レルモノ五千萬人ナルヲ見テ、愛蘭ノ政
 治經濟ノ發達、甚タ他ニ後ル、所以ノモノハ、此移居散布ノ甚タ多キニ由
 ルトシ、取リテ以テ相戒ムルノ殷鑒ト爲スノ情アリ。由是觀之、人種的自
 衛ノ說、亦必スシモ今日ノ時情ト相違ハサルノミナラス、之ニ由リテ國家
 ノ興隆ヲ保ツヲ得ル所以ノモノ亦コレ無シトセス。近時我國ニテモ故
 外相小村侯ハ、我日本民族ハ、天地間只五千萬人ヲ存スルノミナレハ、若シ
 之ヲ其ノ移居散布ニ任カストキハ、遂ニ其人種的基礎ヲ薄弱ナラシムヘ
 シト爲シ拮据頗ルカムル所アリト云フ。

只世界人種ノ殊別甚タ多キト同時ニ、其優劣消長、一々比較スヘキモノアリ。
 リ。且其精神上及ヒ形體上ノ隨落、日ヲ逐フテ著シキモノモ、亦コレ有リ
 テ、進化說ヲ奉スルモノ往々人種間生存競争ヲ盛ニシ、優勝劣敗適者生存
 ノ功ヲ速カニスヘキヲ云フモ、其所謂優等人種ナルモノ亦將ニ劣者不適
 者タラントスルノ原因ヲ示シ、漸ク墮落汚下スルコトナシトセス。且今
 日ノ國際的要義、若クハ殖民政策上ノ通則ハ、寧ロ劣等民種ヲ愛護スルニ
 存スルヲ以テ、此種ノ淘汰論ハ、容易ニ行ハルヘクモアラス。是レ近時人
 種改良論ナルモノ、漸ク人ノ耳目ヲ集ムルニ至レル所以ナリ。
 人種改良論ノ最モ秀拔セルモノヲダルフインノ弟子フランシス、ゴルド
 ンノ唱フルトコロノ *eugene saunders* ト爲ス。ゴルドン人種ノ改良シ得ヘキヲ
 説キ、其方法ハ、生物學研究ノ結果ニ出テ、其理論甚タ見ルヘキモノアリ。
 彼千九百十一年將ニ死ントスルヤ、遺言スルニ倫敦大學ニ、人種改良學ノ
 一科ヲ置クコトヲ以テス、其研究蓋シ今後大ニ進ムモノアルヘシ。只今

人種改良

日世間ハ、専ラ間接法ニ依リテ、其極メテ實行的ナルモノヲ取り、飲酒ヲ取締リ、惡疾ヲ隔離シ、罪惡性アルモノヲ排除スル等、各國其宜ニ從テ、適當ノ制度ヲ設ク、近時米國諸洲ノ、結婚取締法ヲ嚴ニスルノ趣旨亦蓋シ此ニアリ。

第三章 人口ノ増減

今日世界各國、人口問題ヲ説カサル處ナシ其一ハ、人口ノ過剩ヲ憂ヒ、其二ハ人口増殖セサルヲ憂フルト云フ有様ニテ、議論モ事實モ、總テ區々タリ千七百九十八年、英國學者マルサス人口論ヲ著ハシテ、世界ヲ驚カセリ。

マルサス

其説ニ依レハ、人口ハ、等比級數ニテ増加シ、給養材料ハ等差級數ニテ増加ス、故ニ人餘アリテ物足ラス、遂ニ貧困饑餓ニ陥ルハ避クヘカラスト云フニアリテ、是ニ由リテ、婚姻制限論ヲ主張ス。然ルニ、千八百四十年、北米合衆國學者ケーリー社會學原理ヲ著ハシテ、マルサスノ説ヲ駁シ、第一、佛國千七百六十年ヨリ千八百三十四年間ニ、人口ハ二千百萬ヨリ、三千四百萬ニ増シ、穀物ハ九千四百五十萬ヘクトリトル(合餘五升四)ヨリ、一億八千二百五十萬ヘクトリトルニ増加シタリ。第二、人類ノ増殖力ハ寡ク、下等動

ケーリー

物ハ多シ。第三、人類ハ、智力ヲ以テ、其過度ノ増殖ヲ制シ、又社會進ムトキハ、生産力減スト説ケリ。

此二説共ニ眞理ヲ含ミ、又缺點ヲモ含メリ。夫レ人類ハ増殖スルカ常ナリヤ、増減波動アルカ當然ナリヤ、是レ寧ロ其先決問題ナリ。

歐羅巴諸國、中世以來、人口缺乏ニ苦ムコト甚タシク、西班牙、葡萄牙等ノ殖民經營ノ一原因ハ、其土人ヲ使用スルニアリシハ、蔽フヘカラサルノ事實ニシテ、十六世紀ヨリ十八世紀ノ前半ニ涉リテ、此事實一層顯著ナルモノアリ。

英國

英國由來多生ノ國ト稱スルモ、ウイリヤム、コンクエロルノ「ドームスデイ」當時、人口二百萬、其ヨリ三世紀ヲ經テ、千三百七十七年ニ至リテ、僅ニ二百五十萬ヲ算ス。其次ノ二百五十年間ハ、人口増殖急劇ナリト稱セラレ、エリサベス時代ノ終末、五百萬人ニ達ス。其ヨリ増殖力復衰ヘテ、十八世紀

大陸諸國

ノ中葉ニ於テ、初メテ六百萬人ヲ算スルヲ得タリ。獨逸ハ、三十年戦争ノ後、人口減少シ、十八世紀ニ及テ、稍々之ヲ回復シ。佛國ハ、十八世紀ノ半ハニ於テ、十四紀ノ前半ニ存在シタル人口ヲ回復シタレントモ、猶ホ路易十四世ノ死後、千八百萬人ニ止ル。和蘭、白耳義ハ、三百年間、人口増殖セス。伊太利ハ、十六世紀ヨリ十八世初マテ、千百萬人ニ停止シ。西班牙ハ、十六世紀間ニ、人口ノ大減少ヲ見タリ。

日本人口

我國ノ統計ハ、甚タ明確ヲ缺クモ、舊記ニ依レハ、推古天皇十八年、(六一〇)人口四百九十八萬人ニシテ、聖武天皇天平八年、(七三六)八百六十三萬人トナレルヲ見ル。其後、中御門天皇享保八年、(一七二三)人口二千六百六萬人。是ヨリ徳川幕府時代十五回ノ人口調査中、或ハ二千五百萬人臺ニ下リ、或ハ僅ニ二千七百萬臺ニ上レルコトアルモ、結局一進一退、仁孝天皇弘化三年、(一八四六)二千六百九十萬人ヲ算シタリ。

而シテ我人口ノ増加ヲ示シ來レルハ、實ニ明治維新以後ノ事ニシテ、明治五年、三千三百十一萬人ナリシモノ、三十年ニハ四千三百二十二萬人トナレリ。

支那人口

支那ノ人口ハ、其說區々ニシテ甚タ知リカタク、且其領土範圍ノ變動常ナシト雖モ、其大要ヲ舉クレハ次ノ如シ、

漢平帝元始二年(二)人口五千九百五十九萬人

後漢桓帝永壽三年(一五六)五千六萬人

隋陽帝大業二八年(六〇六)五千五百五十萬人

唐玄宗天寶十四年(七五六)六千六百人

宋神宗元豐二年(一〇八〇)約六千萬人

元世祖至元二十七年(一二九〇)五千八百八十三萬人

明朝六千六百人ト四千六百人トノ間ヲ出入ス

清朝乾隆六年(一七四一)一億四千三百四十一萬人

今日支那人口ヲ云フモノ、皆四億ト稱スルモ、其計數ノ基礎正確ナラス、或ハ二億四五千萬人ト爲シ、或ハ三億人ヲ出入スルト爲スモ未タ其何レカ正シキヤヲ知ル能ハス。假リニ二億四五千萬人トスルモ、乾隆六年以後ニ於テ、一億二三千萬人ヲ増加シタリトセハ、既ニ其増殖力ノ弱カラサルヲ證スヘシ、況ヤ四億ヲ算スルニ於テヤ。ルロア、ポーリユー專ラ支那人人口ヲ研究シテ、以爲ラク、支那人種ハ、生産率極メテ多キヲ以テ、今一層人口ヲ増殖シ居ル筈ナレトモ、其増加ヲ妨クルノ原因モ亦甚タ多シ。其一ハ、饑饉數々至ルコト、其二ハ、洪水頻繁ナルコト、其三ハ、暴動騷亂斷エサルコト、其四ハ、惡疫、傳染病常ニ流行スルコト、其五ハ、貧民ノ生活極メテ困難ナルコト、是ナリ。若シ是等ノ障碍ナカラシメハ、支那人種ノ増加驚クヘキモノアリタラント。或ハ然ランカ、而シテ以上五障碍中、一二ヲ除ク

ノ外ハ、皆人カヲ以テ之ヲ排除シ得サルハナク、支那人種ニシテ、増殖力アル限り、將來益々其人口ノ増加ヲ見ルモノト推定セサルヘカラス。支那比年多事、千九百十一年革命以來、内政一層紛糾ヲ極ムルト雖モ、其ノ國家トシテ存在スル所以ノモノアルハ、主トシテ支那人ノ國民性ノ奪フヘカラサルモノアルニ由ル。初メ滿洲朝廷式微ヲ示シ、支那ノ内政外交困難ヲ極ムルヤ、歐羅巴人中ニハ、支那ハ瓦解スヘシ、列國ハ之ヲ分割セサルヘカラスト爲スモノアリシカ、列國其手ヲ支那ノ事ニ着クルニ從テ、分割ノ行ハルヘカラサルヲ知ル。蓋シ支那人ハ、其血統、歴史、國俗、慣習、最モ他ノ人種ト相異ナリ、國民性ノ特色最モ較著ナルモノナリ。而シテ其人口ノ多キ四億ヲ稱ス、天下一國民性ヲ以テ、四億ノ多數ヲ含ムモノアリヤ、露西亞ハ、世界ノ最大國ニシテ、其國民衆多ナリト云フモ同國內ノ斯拉ヴハ、一億三千萬人ニ過キス、印度人ヲ衆多ナリト爲スモ、二億三千萬人ニ止

リ、且印度人ハ、全ク國民性ナルモノヲ有セス、又今ヤ既ニ一國家タルノ實ナシ、其他アングロ、サクソント曰ヒ、羅典ト曰フ、一人種ニシテ數國ニ分立シ、又ハ一國ニシテ數人種ヲ雜處セシムルヲ以テ、之ヲ支那カ、其廣大ナル地域ト、數千年歴史トヲ保チテ、四億人一國民性ヲ成スモノト相比スヘキニアラス。支那カ、禍患極リナキ間ニ於テ、善ク其國ヲ保チ、且其國際上ノ地歩ヲ占ムル所以ノモノハ、其國民性アルカ爲メナリ。又其人口衆多ニシテ、且増殖力アルハ、則チ永ク其勢力ヲ保存スル所以ナリ。

マルサスハ、人口ハ等比級數モテ増加スルト爲シ、ダルウインハ、善良ナル社會狀態ノ下ニハ、二十五年毎ニ其人口二倍スヘシト説クモ、實際ハ必スシモ然ラス。人類ノ本性ヨリ云ハ、人口ハ増殖スルモノニ相違ナシト雖モ、其増殖力ハ、人種ニ依リ、時ニ依リ、處ニ依リテ、相同シカラス。又一旦増殖セルモノ、中頃其増進力ヲ停止シ、或ハ時ニ減退スルコトアリ。歐羅

人口ノ増
減

巴各國、十八世紀後半ヨリ、遽カニ急進的ナル人口増殖ヲ示シ、世間、人餘リアリテ物足ラス、遂ニ人類自滅スルニ至ルナキカヲ憂フルモノアリ。近時猶ホ過剩人口ノ處理ヲ以テ、國政ノ最大要件ト爲シ、之ニ依リテ、殖民政策ヲ説キ、海軍擴張ヲ策スルモノアルモ、是等歐羅巴人中、早ク既ニ其増進カヲ耗減シ、停止シ、甚タシキハ人口減退ヲ示スモノスラコレ有リ。乃チ佛蘭西ハ、千九百十一年前半期ニ於テ、死亡數ノ生産數ヲ超過スルコト、一萬八千二百七十人ニシテ、明カニ人口減退ノ實ヲ示スモノタリ。英國亦千九百十一年九月ヨリ十一月ニ至ル三箇月ノ統計ニテ、生産ノ死亡ニ超過スルコト八萬一千六百四十六人、之ヲ千九百十年ノ同季ニ於テ、生産ノ死亡ニ超過スルコト十一萬三千二十二人ナルニ比スレハ、是亦増進力ノ減退ヲ示スモノニ外ナラス。北米合衆國ハ、人口増殖極メテ急速ナリト云フモ、其ハ主トシテ外國人ノ移入多ク、又外國人ニシテ、米國ノ國籍ヲ得

タルモノ、人口増殖力強大ナルカ爲メニシテ、本來ノ本國人ハ、漸次増殖カヲ減スルノ實アリ。由是觀之、歐羅巴人カ、十八世紀以後、遽カニ急速ナル人口増殖ヲ示シタルハ、是レモ一時ニシテ、漸ク將ニ其増進力ヲ停止セントスルノ傾ヲ示スモノニアラスヤ。十六世十七世紀間、歐羅巴ノ人口減退ノ實アリシコト、及ヒ我日本民族カ、徳川幕府時代ノ長キニ涉リテ、全ク増殖力ナカリシコトヲ相参照スルトキハ、人口ノ状態ハ、常ニ波紋ノ相上下スルアリテ、決シテ一直線的ニ増加シ、又ハ減少スルモノニアラサルヲ知ルヘシ。

人口増減ノ理由ニ就テハ、各種専門家ノ議論區々タリト雖モ、之ヲ研究スルハ、主トシテ人類學、社會學上ノ事ニシテ、政治學ハ此ニ及フ能ハス。政治學ハ其事實ノ示ストコロニ就テ、其ノ政治上ニ及ホストコロノ原因、結果ヲ觀レハ足レリ、只一部進化論者ハ、各種生物ノ状態ヨリ推論シテ、優等

人種ハ、増殖力乏シク、劣等人種ハ、之ニ反シテ、増殖力強大ナリト爲シ、巧ミニ其説ヲ述フルモ、其所謂優劣ナルモノ、何ヲ基準トシテ之ヲ判スルヤ、甚タ曖昧ナルノミナラス、人種ノ勢力ハ其人口ト大關係アリ、人口減退スルモノ、其勢力亦減退スルハ、理數ノ缺クヘカラサルトコロナルヲ以テ、増殖力ナキモノハ、遂ニ其優尙ナル地位ヲ人類社會ニ保持スル能ハサルナリ。且人類其種族ノ増殖ヲ求ムルト云フコト、其先天的意思ナリ、然ルニ其事其意思ト相齟齬スルヲ以テ、優等人種ノ特兆ナリト爲スハ、其自身一大矛盾ナリ。之ヲ事實ニ徵スルモ、獨逸人ハ、増殖力極メテ強大ニシテ、佛蘭人ハ之ニ反ス、進化論者則チ獨逸人ヲ劣者ト爲シ、佛蘭人ヲ優者ト爲スカ、蓋シ然ラス。若シ優等人種ニシテ、其増殖力ヲ喪ハントスルアラハ、是レ寧ロ優者其優ヲ失ハントスル前兆ナルナカラシヤ。優劣論ハ暫ク措キ、國家トシテハ、其人口ノ増殖ヲ圖リ以テ、其勢力ヲ保ツニ努メサルヘカラス。

第四章 人口ノ分配

國家ノ繁榮發達ヲ圖ル上ヨリ云ハ、人類ハ其所屬國土ノ表面ニ於テ、適當ニ分賦サル、ヲ尙ヒ、疎密相偏倚スルヲ喜ハス。又各職業ノ權衡ヲ保チ、其所屬人口ニ適當ナル按排ナカルヘカラス。之ヲ誤レハ、則チ社會的困難經濟的困難ヲ現出ス。

管子ハ、定民之居、成民之事ヲ主義トシテ、四民離居シテ、相移ラサルヲ期シ。マキアベリーハ、民ヲシテ其處ニ定着セシムルヲ以テ、最上ノ經濟政策ト爲ス。近時米國ノホームステット制セルピヤ其他ニ行ハレ、瑞西民法、佛國家產法等、皆農民ノ土着ヲ求ムルノ精神ニ出テサルハナシ。

農民減少
都市填塞

十九世紀初、歐羅巴諸國、工業發達シテヨリ以來、農民減少シテ、工業ニ從事スルモノ増加シ、田舎ノ人口増殖力減少シテ、都會ノミ増殖劇烈ナリ、是レ

今日ノ人口患ノ最大ナルモノタリ。蓋シ國內農業人口減少スレハ、其地
 産減少シ、其國力衰耗スヘク、又人口都市ニ集中スルコト其度ヲ過クルト
 キハ、失職者、生計困難者ヲ増加シ、且風紀、衛生等、總テノ弊害是ヨリ生シ來
 ラサルヘカラス。

ブルンチユリーハ全國民ノ二十五パーセント乃至三十四パーセントヲ
 都會ニ集メ、其他ヲ、田舎ニ定着セシムヘシト云フモ、其論據薄弱ナリ、農業
 國ハ、人口分配状態可良ナレトモ、商工業國ハ、都會集中ノ傾アリ。且英國
 ノ如キハ、農業衰退ト、工業發達ト、相待チテ人口ノ都會集中ヲ來タシツ、
 アリ。

英國	農	工	商
一八九一年	人口千ニ付キ 一九一	六八三	一二六
一九〇一年	一五五	六九五	一五〇

米 國

一八九〇年	五一七	二九二	一九二
一九〇〇年	四六七	三一九	二二四

而シテ千九百一年ニ於ケル、英國人口百分ノ五八ハ都市、四二ハ田舎ニ住
 シ、獨逸ハ都市二八・八、田舎七一・二、米國ハ都市二五・九、田舎七四・ト云フ割合
 ナリ。

以上擧クルトコロノ事實ニ就テ之ヲ稽フルニ、歐羅巴諸國、固農業國トノ
 状態ナリシカ、十九世紀ニ入リテ、資本制、機械工業及ヒ交通機關ノ發達ノ
 影響ヲ受ケテ、國內人口ノ大移動ヲ引起シタルモノニシテ、是等經濟上ノ
 原因ノ外ニ、政治上及ヒ社會上ノ情勢亦之ヲ助ケテ、田舎ノ人口ヲ驅リテ
 之ヲ都會ニ集中ス。此移動ハ、今猶ホ已マス。北米合衆國ハ本來農ヲ以
 テ立ツ處ニシテ、今猶ホ其實ヲ改メスト雖モ、其十年毎ニ行ハル、「センサ

スハ、必ス商工業者ノ比例増加シ、農民ノ減少著シキモノヲ示セリ。若シ
 プルンチユリーノ意見ニシテ眞ナラハ、農業國ノミ之ニ恰當スヘク、商工
 業ノ發達ハ、則チ一々彼ノ理想ト相衝突スルモノナラサルヘカラス。併
 ナカラ、商工業ノ發達、亦人類ノ存在ニ基クトコロノ自然ノ要求ニ出テ、國
 家トシテハ、其進歩ヲコソ圖ルヘケレ、之ヲ遮止スヘキ道理ナク、此原因ヨ
 リ來ル人口ノ移動ハ、遂ニ之ヲ拒ムニ由ナカルヘキナリ。

然リト雖モ、今日此人口ノ移動狀態ノ爲メニ、幾多ノ困難ヲ感セサルハナ
 キナリ。前述各國ノ國民分配狀態中、獨逸ハ最モプルンチユリーノ理想
 ニ近キモノタリト雖モ、其經濟上ノ現象ハ、既ニ變調ヲ呈スルモノ多シ。
 同國ハ、千八百七十年代ニハ、年々外國移民二十有餘萬ヲ出シ、當時人口
 ノ増殖甚タ危劇ナルヤ、爲政者及ヒ財政家ハ、移民ヲ以テ過剩人口ノ放出
 方法ト爲シ、千八百九十年代ニ於ケル對外經營、亦此過剩人口放出ノ地ヲ

獨逸

求ムルヲ旨トシタルハ、何人モ知ルトコロナリ。然ルニ獨逸國內、資本制
 發達シ、工業進歩スルニ及ヒテ、勞力ノ需要甚タ盛ナル爲メ、海外移出者ハ
 漸次減少シテ、二十世紀ニ入リテ後、年々二萬内外ヲ出スニ止リ、他ノ一方
 ニハ、伊太利若クハ、北歐羅巴ヨリ、移入シ來ル外國人ノ數追々増加シ、年々
 少クトモ二萬人ニ達ス。而シテ獨逸人口増加率ハ、十九世紀末以後、益々
 旺盛ヲ加ヘ、其年々増殖、六十萬人乃至八十萬人ヲ算スルアリ。是等ノ事
 實ヨリ推ストキハ、獨逸内地ハ、人類填塞シ、其處理ニ苦ムヘキ筈ナルニ、實
 際ハ同國ノ農業者ハ、漸次缺乏ヲ告ケ、ライン地方ノ如キハ、都市工業地ハ
 人口過多、居ルニ家ナク、棲ムニ處ナク、到ル處住家問題ニ忙殺セラル、ニ
 對シテ、農民政部落ハ、年々人口減退ヲ告グル處稀レナラスト云フ有様ナリ。
 獨逸ハ農本國ニシテ、工業ヲ兼ヌル處ナレトモ、其狀態既ニ此ノ如シ、他ノ
 商工業ヲ主トスル處ニ於テ、都市人口填塞ニ苦ムハ、固ヨリ其處ニシテ、其

マルサスカ憂ヒタル、人口過多ノ弊ハ今日ニ於テ之ヲ見ル能ハサルコト
 前章ニ詳述スルトコロノ如クナレトモ、都會工業地ニ於ケル人口填塞ノ
 慘狀ハ、則チ恰モ彼カ豫言セル修羅道ト相似タリ。而シテ是レ皆人口増
 殖過多ナルカ爲メニアラスシテ、實ハ人口分配其宜ヲ得サルヨリ出テ來
 ルモノタリ。

人口分配其宜ヲ得サルヨリ出テ來ル弊害多クナリト雖モ、其最モ顯著ナ
 ルモノヲ擧クルトキハ、之ヲ二面ヨリ觀ルヲ得ヘシ。

其第一ハ、地方ノ衰退ナリ。大凡地方ノ事業ナルモノ、農業ト曰ヒ、森林業
 ト曰ヒ、農業的工業ト曰フ、皆勞力ニ待ツモノ多ク、體力健全、智識經驗具備
 セルモノ之ヲ擔當スルコトニ依リテ、初メテ其發達進歩ヲ期スルヲ得ヘ
 シ。然ルニ、其壯丁若クハ教育アルモノ、皆郷土ヲ去リテ、都會ニ赴キ、其殘
 存スルモノハ、老幼婦女、病人若クハ智識技能不十分ナルモノ、ミナルト

地方衰退

英國

キハ、地方ノ諸事業ハ、コレカ爲メニ衰滅セサルヲ得ス。英國ノ農業地漸
 次荒廢シ、初メ穀物ヲ産シタル耕地ハ、牧場トナリ、牧場ハ荒蕪地トナリ、森
 林亦荒廢シテ、樹木ヲ留メス。此ニ土地ノ價格ヲ衰ヒ、土地ノ收益ヲ失ヘル
 コト、數十億磅ヲ算スルニ至ル。而シテ其損失ハ之ニ止マラスシテ、農業
 森林ノ衰退ハ、國內ニ失職者ヲ多クシ、無資無産階級ヲ多クシ、社會ノ墮落、
 政治ノ腐敗、亦コレヨリ出テ來ルヲ避クヘカラス。是レ英國人ノ今日最
 モ苦慮スルトコロナレトモ、此事獨リ英國ノミナラスシテ、大陸諸國、亦今
 方ニ其痛楚ニ遭逢シツ、アリ。家産法ホームステット制ノ盛ニ行ハル
 ヲハ、固ヨリ人口ヲ地方ニ保留スルヲ旨トスルニ出テ、其他倫理教育、産業
 政策、皆此方針ニ基カサルハナシ。白耳義、佛蘭西、及ヒ北米合衆國ノ一部
 ノ如キハ、各地方ニ、女子農學校ヲ設ケテ、所在婦女子ニ、農業上ノ趣味ト智
 識トヲ授ケテ、其郷土ノ農業ニ從事スルヲ樂マシム。女子ニ農業ヲ教ユ

婦女ノ農業教育

ルノ利益多々ナリト雖モ、近時此方案ヲ立ツルモノハ、則チ以爲ク、近年婦女ハ虚榮ニ耽リ、郷土ノ農家ニ在ルヲ厭フテ、相競フテ都會ニ赴キ、其落魄シテ勞働者トナルヲモ願ミサルノ情アリ、女子ノ郷土ヲ去ルハ、則チ益々男子ヲ都市ニ驅ル所以ナルヲ以テ、先ツ婦女ヲ留ムルノ計ヲ設ケテ、此風潮ヲ矯メント欲スト、其措置甚タ煩瑣ニ流ル、カ如クナレトモ、亦以テ、世間其道ヲ求メテ至ラサルナキノ状態ヲ推スヘシ。

都市填塞

其第二ハ、都市ノ填塞ナリ、都市ハ、商工業ノ中心タルト同時ニ、政治文教ノ中心ナリ。人性勢利ヲ追フ、少壯地位ヲ求メ、青年職業ヲ求ムルモノ、皆此ニ集リ來ルハ、自然ノ勢ナリ。且商工勃興ノ時ニ當リテ、人心此ニ集リテ他ヲ顧ルニ遑アラサル、亦已ヲ得サルノ數ニシテ、都市填塞ノ起源ハ、商工業ノ勃興ニアリト云フヲ得ヘク、其起源アリ、一タヒ其勢ヲ成ストキハ、此ニ隋力ヲ生シテ、都市既ニ人口過多ニ苦ムノ時ニ及ヒテモ、地方人民ノ此

ニ傾注シ來ルモノハ中止スヘカラス。其ノ求ムルニ職ナク、居ルニ家ナク、食物衣服ニ窮スルニ至ツテモ、一タヒ都市ニ入ルモノハ、出テ去ラス、新タニ入り來ルモノ、益々加ハル、是レ都市填塞ノ徑路ニシテ、天下何レノ地ニアリテモ、是レニ由ラサルハナキナリ。

由來都市ハ、政治商業工業ノ中心ニシテ、有力者、資本家、事業家ノ集ル處ナリ。資力大ナルモノ此ニ居リ、資力ナキモノ亦此ニ來リ就ク、此ニ貧富懸隔ノ甚タシキヲ見ルヘク、資力大ナルモノ、居ル處地代家賃ノ貴キハ言フマテモナシ、其社會ノ生活程度高ク、其消費物亦品目多キノミナラス、其價モ亦貴カラサルヘカラス。特ニ都市面積限リアル處ニ、人口増加限リナキトキハ、事物其調和ヲ保ツ能ハサルハ、理數ノ當ニ然ルヘキトコロニシテ生計難問題、社會問題ハ、専ラ此邊ヨリ出テ來ルモノトス。且商工業ハ、自然人ノ力ヲ需要スルコト多シト云フモ、是レ亦其情形ヲ仔細ニ觀察

スルヲ要ス。今日ノ工業ハ、多クノ職工勞働者ヲ使用セサルヘカラスト雖モ、操業ノ状態ハ、常ニ一樣ナラスシテ、或時ハ勞力ノ最大限ヲ需メ、或時ハ其最小限ヲ以テ足ルヘク、恐慌不景氣其他ノ理由ニ依リテ、全ク操業ヲ中止スルコト、亦コレ無シトセス、然ルニ、所在勞働者數ハ常ニ其最大限ニ當ル爲メニ、多クノ場合ニ於テ、多數ノ失職者ヲ出スハ、是亦已ヲ得サルノ數ナリ。且今日ノ工業政策ハ、職工勞働者ノ待遇ヲ善クシテ、其勞力ヲ保存シ、其工程ヲ進ムルヲ旨トスル他ノ一方ニハ、蒸氣水力電氣諸原動力機械力ノ改良進歩ニ依リテ、自然人ノ勞力ノ需要ヲ寡クスルヲ圖リテ至ラサルナシ。善良ナル熟練職工ハ漸次不熟練ナル勞働者ヲ驅逐シ、原動力機械力ハ、人類ノ自然力ニ取リテ代ラントスルアリ。今日最モ進歩シタル商工業地ニ於テ、最モ悲惨ナル社會状態ヲ見ルハ、亦故ナシトセサルナリ。

勞力ノ需要供給

社會問題
解決ノ一案

近時社會問題ヲ説クモノ、動モスレハ輒チ曰ク、人類ハ勞働ノ權利アリ、能力アルモノニ職業ヲ與フルハ、人世ノ天則ナリ、資本家獨リ其利ヲ專ラニシテ、勞働者ヲ窮地ニ陥ラシムルハ不可ナリト。夫レ勞働ハ權利ナリヤ授職ハ天則ナリヤ、殆ト其根據ナシ。只今日ノ社會問題ナルモノハ、自然力ヲ有スルモノ、其需要盛ナル處ヲ去リテ、其需要ナキ處ニ就キ、自ラ其窮厄ヲ招クモノニ外ナラスシテ、其根源ハ、則チ人口分配其宜ヲ得サルニアリトセハ、此根源ニ就テ、國家國民ヲ擧ケテ、其力ヲ致スアラハ、庶幾クハ是等一切ノ難問題ヲ解決シ去ルヲ得ンカ。

我國ニテハ、明治四十一年ニ於テ、總人口一〇〇中一七、六三ハ都會、八二、三七ハ田舎ニアリ、是レ宛然農業國ノ體貌ヲ示スモノナリ。然リト雖モ、明治二十七年ヨリ四十一年ニ至ル十五年間、都會ノ人口ハ、一萬ニ付キ八千二百八十四人ノ増加ナルニ對シテ、農村ノ人口ハ、一萬ニ付キ千百三十人

日本ノ人口分配状態

ヲ増加シタルニ過キス。而シテ生産死亡ヲ比較スルトキハ、
明治二十六年ヨリ三十年ニ至ル間、全國平均人口百ニ付キ、

生産 死亡 生産超過

二、九二 二、〇七 〇、八五

然ルニ都會ハ、

二、三〇 二、一八 〇、一一

乃チ我國ニアリテモ、都市人口ノ増加、極メテ急劇ナルノ實アリ、其増加ノ原因ハ、主トシテ田舎ノ人口カ都市ニ向テ傾注シ來ルニアリテ存シ、都市人口ノ自然的増加率ハ、國內一般平均率ヨリモ低キヲ見テモ、都市填塞ノ兆候既ニ具ハルコトヲ知ルヲ得ヘク、歐羅巴諸國民ノ憂フルトコロノモノハ、遂ニ我モ亦早晚之ヲ憂フルニ至ルナキヲ保セサルナリ。

然ラハ人口分配其宜ヲ得ルニ其道アリヤ、曰ク、其道ハ則チコレ有リ、只之

匡正策
リヤ

ヲ行ヒ難シト云フハン。特ニ地方衰退、都市填塞、其極度ニ達スルモノニアリテハ、殆ト之ヲ處スル所以ノ者ナシ、只其ノ未タ甚タシカラサルモノニ對シテハ、其力ヲ盡スヘキモノ、蓋シ多々ナリ。農事ノ改良ヲ圖リ、地方的産業ノ發達ヲ助ケ、資本及ヒ事業ノ分配ヲ適度ナラシムルコト、其一ナリ。鐵道、運河、其他交通機關ノ發達ニ由リテ、中央地方間ノ事物ノ阻格ヲ去ルコト、其二ナリ。小工業、小資本的産業ヲ獎勵シ、及ヒ家々人々自營自活ノ風ヲ盛ニスルコト、其三ナリ。共同經營 Cooperation ノ發達ニ依リ隣里鄉黨、相依リテ其業ヲ成スノ實ヲ舉クルコト、其四ナリ。職工勞働者、勤勉貯蓄、自ラ地方ニ還リテ、其業ニ就クノ機會ヲ與フルコト、其五ナリ。然リト雖モ、是等詳密ノ說ハ、主トシテ社會歐策、又ハ農業工業政策ニ屬シ、政治學原理ハ單ニ其要ヲ舉クルニ止マラサルヘカラス。

第五章 殖民及ヒ移民

人類一定ノ土地ニ定着シテ、政治組織ヲ成ス、之ヲ國家ト云フ、併ナカラ國家既ニ成リテ後其人民中ニ、本土ヲ去リテ他ニ移ルモノアルハ、是亦人性ノ自然ニ出ツ、是レ殖民地經營、若クハ移民事業ニ就テ、此ニ解説ヲ試ムルノ必要アル所以ナリ。

殖民及ヒ移民ナル語ハ、俗間ニ誤用サル、場合多シト雖モ、二者全ク其理義ヲ異ニシ、殖民經營 Colonization ナル語ハ、國家カ本土以外ニ領土權ヲ得テ、其政治上又ハ經濟上ノ施設ヲ爲スノ謂ニシテ、内地人又外國人ヲ其領土ニ移スコトナシトセサルモ、此事ナキモ亦殖民經營タルヲ失ハス。移民ナルモノハ、全ク之ニ異ナリテ、其ノ人民ヲ外國ノ領土ニ出シ遣ルヲ、移民 emigration ト云ヒ、他國人民ヲ受ケ容ル、ヲ移入民 immigration ト云フ。

殖民經營

殖民經營ハ、主トシテ國家ノ自存ノ計ヲ全リスルカ爲メニ起リ、必スシモ經濟論ヲ以テ之ヲ解説シ盡スヘカラス。特ニ内地ノ過剩人口ヲ放出スル爲メニ新領土ヲ求ムルトイフカ如キハ、十九世紀ノ末、數ハ世論ニ上ルトコロナレトモ、世間果シテ過剩人口ナルモノ有リ得ヘキカ、例令人口過多ニ苦ムモノアリトモ、其ノ出テ去ルモノハ、未開ノ新領土ニ赴カスシテ却テ他ノ文明進歩シ、勞銀貴ク、事業繁昌ナル處ニ就テ居ルカ常ナリ。且國家本土ニテ、過多ヲ感スルハ、工業勞働者ナリ、其農民ノ如キハ、嘗テ過多ヲ感セサルノミナラス、今日ニアリテハ、天下到ル處、農民及農業勞働者ノ缺乏ニ苦ムノ實アリ。然ルニ、殖民地ニ必要ナルモノハ則チ此農民ニシテ、工業勞働者ニアラス、就中、不熟練勞働者ノ入り込ムコトハ、殖民經營上最モ忌ムヘキ事タリ。乃チ母國ニ餘アルモノハ、子國ノ求ムルトコロニアラス、子國ニ足ラサルトコロノモノハ、母國之ヲ供給スルヲ欲セス、於是

乎、過剩人口放出ニ基クトコロノ殖民政策ハ、一モ其功ヲ奏シタルハ無ク
歐羅巴諸國多クノ殖民地ヲ有スルモ、其母國民ノ出テ行クモノハ、概ネ米
國其他ノ繁榮發達セル處ニ赴キ、其殖民地ニ移リ居ルモノハ、甚タ寡キハ
明白ナル事實ナリ。

然リト雖モ、殖民地ヲ獲ルト云ヘハ、其土地ノ上ニ居ルトコロノ人民ヲ支
配スルコトヲ意味シ、國權ノ光被スルトコロヲ廣クスルモノナルヲ以テ
本篇ニ所謂人民ナルモノト自ラ相關聯スルモノアリ。只政治學ハ、主ト
シテ國家ノ本土ニ就テ立言シ、殖民地ノ事ノ如キハ、別ニ一科ヲ設ケテ之
ヲ解説スルヲ便トス、著者別ニ殖民政策ト題スル一書アリ、其詳細ハ同書
ニ於テ之ヲ序述ス。

只國家本土ハ、一人種、一民族ニシテ、一ノ國民性ヲ具有スルトコロノ人民
ヲ以テ成立ツヲ本則ト爲シ、一國民性ヲ成サ、ル國民ノ甚タ治メカタキ

同化政策

ハ、古今ノ事歴ニ明白ナルトコロナレハ、國家ノ理想トシテハ、一國家ハ一
國民性ヲ以テ形成シ、若シ異人種異民族アリテ混入スルアラハ、飽マテ之
ヲ同化スルニカムルノ外ナシト雖モ、殖民地ハ然ラサルナリ。大凡殖民
地ト云ヘハ、其士民ハ、母國民ト其人種、風俗、慣習、言語等ヲ相同ウセサルカ
常ニシテ、從テ其文明ノ程度、經濟ノ狀態、亦甚タ相異ナルハ、事實上已ヲ得
サル所ナリ。夫レ殖民地亦國家ノ領土ナリ、其人民ハ則チ母國ノ支配ノ
下ニ立ツモノナリ、若シ同化シ得ヘシトセハ、之ヲ同化スルニ若クハナク
若シ又之ヲ母國ニ編入シ、混融一統、一國土一國民ト爲スヲ得ハ、國力發達
ヲ助クル所以ノモノ甚タ大ナルヤ論ナシト雖モ、古來統一政策ヲ取リタ
ルモノニシテ、失敗セサルハナシ。佛蘭西ハ十八世紀末以來統一政策ノ
代表者ナリ、然レトモ其ノ目的ヲ達シタルモノハ未ダ曾テコレ有ラスシ
テ、其殖民地議員ヲ、母國元老院代議院ニ列席セシメテ、寸効ナキハ、偶々統

一政策ノ有名無實ニ歸シタルヲ證スヘク、獨逸國會ニ、波蘭議員アルハ寧
口議院ノ混雜、議事ノ失態ヲ招クニ過キス。

移出民及ヒ移入民ノ事ハ、純乎タル經濟上ノ問題ニシテ、勞働者、其需要ナ
キ處ヲ去リテ、其需要アル處ニ就ク、其理自ラ人口分配ノ調和ヲ得ルモノ
ナカルヘカラス。然ルニ其事實ハ必スシモ然ル能ハスシテ、却テ此調和
ヲ破フルモノアルハ、甚タ歎スヘキナリ。

試ニ其一二ノ例ヲ舉ケンカ歐羅巴ノ勞働者ノ北米合衆國ニ赴クモノ、年
々多キハ百二三十萬人、寡キモ七八十萬人、而シテ是等ハ、先ツ紐育其他商
工業地人口甚タ填塞セル所ニ就テ、其職業ヲ求メ、米國中央西部等、土地廣
ク、人口稀薄ニシテ、最モ勞力ノ缺乏ニ苦ム處ニ赴クモノハ、極メテ稀レナ
リ。近時獨逸各地ノ情形ヲ觀ルモ、亦同様ニテ、外國勞働者ハ、專ラ商工業
地ニ集リ、其農業地ハ、到ル處勞力缺乏ヲ説クトイフ有様ナリ。英國ニ至

移出入民

リテハ、更ニ其甚シキヲ見ル。而シテ是等移民ヲ入ル、處ニ於テハ、常ニ
失職勞働者ヲ存シ、移入民多キ時ハ、失職者ノ數、コレニ準シテ増加スルヲ
以テ、大凡外國移入民ヲ容ル、處ニシテ勞働問題ニ苦マサルモノナシト
云フヲ妨ケス。

願ミテ移出民多キ處ヲ觀ルニ、是レ亦必スシモ其過剩人口ヲ放出スルモ
ノニアラスシテ、却テコレカ爲メニ有用ナル勞力ヲ喪失スルノ實アリ。
蓋シ人類賦性、最モ故土ヲ愛ス其ノ此ヲ去リテ、他ニ赴クハ、必スヤ已ヲ得
サルノ事情ナカルヘカラス。十七八世紀中、英國其他ノ人民、米國ニ赴キ
タルハ、本土ニ於ケル、宗教上ノ軋轢ニ堪ヘスシテ、他ニ自ラ安スルノ地ヲ
求ムルニ由リ、十九世紀初英國人ノ、移出民多カリシハ、機械ノ發達ノ爲メ
ニ、勞働者多ク其職業ヲ失ヘルニ由リ、千八百四十八年以後、獨逸其他ノ人
民出テ去リタルハ、革命擾亂生民聊生スヘキモノナキカ爲メナリ。其後

伊太利、洪牙利、露西亞、巴爾幹諸地、最モ多ク移出民ヲ出ス、亦其人民ノ悲境實ニコレカ原因タリ。然リト雖モ、人民ノ不幸コレカ原因トナリテ、移出者ヲ出シタルコトハ、更ニ其故土ノ爲メニ不幸ヲ生ミ出シ、其田園山野アルモ其壯丁出テ去リテ此ニ在ラサル爲メニ、益々荒廢ニ歸シ、農商工諸業衰退シテ、勞力ノ必要益々減少ス。原因結果、相循環シテ極リナシ。移出入民ノ事ハ純乎タル經濟問題ナリト云フト雖モ、其實ハ甚々經濟政策上ノ理法ト相違ヘルモノアリ、是レ今日各國ノ法制、移出民多キ處ニテハ、移出者制限法ヲ設ケテ之ヲ防止スルヲ力メ、移入民多キ處ニテハ、移入者制限法ヲ設ケテ、之ヲ節制スルヲカムル所以ナリ。

第五編 統治組織

第一章 統治權ト統治機關トノ區別

本編題シテ統治組織トイフ、即チ政治關係ヲ此ニ序述セント欲スルモノタリ。國家ノ要素ヲ擧クル三、曰ク國土、曰ク人民、曰ク政治、是レナリ。其ノ國土及ヒ人民ニ關スルモノハ、既ニ説キ終リタルヲ以テ、此ニ政治ノ事ニ及ハサルヘカラス。統治組織トハ何ソヤ、統治權アリ、統治機關アリテ、以テ國家ノ高權ヲ行フノ謂ナリ。

此ニ統治權トイフ、實ハ本書第一篇ニ説クトコロノ、主權ト同一ノモノヲ指スニ外ナラス。只主權ハ、學問上ノ術語ニシテ、往々ニシテ抽象的理義

ニ偏スルコトアリ、然ルニ統治權ハ、主權ノ實用ヲ明白ニ指示スルモノニシテ大日本帝國憲法第一條、大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治スト曰ヒ、第四條、天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總攬シ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フト曰フモノ、即チ是レナリ。

統治權

統治權ハ、最高權ナリ、絶對的強制權ナリ、此權能ヲ有スルモノ、只主權者アルノミ。主權者自ラ其最高權ヲ行フコトアリ、之ヲ其機關ニ命シテ擔當セシムルコトアリ。統治機關ハ、自ラ統治權ヲ有スルニアラスシテ、統治者ノ命令ニ依ツテ、其職司ヲ盡クスモノタリ。立憲政治ハ、是等統治機關ノ分立ト、其關係トヲ明カニシテ、相亂ル、コトナカラシムルヲ旨トス。彼立法、行政、司法ノ三者相獨立スルトイフハ、三個ノ機關ヲ相分ツモノニ外ナラスシテ、三個ノ統治權カ、相獨立シテ、存在スルコトヲ意味セス。統治權ノ本體ハ主權ナリ、從テ統治權カ、如何ナル方面ニ見ハレ、如何ナル機

關ニ依リテ行ハル、モ、必スヤ之ヲ總攬スルモノナカルヘカラス、統治權ヲ總攬スルモノハ、則チ其國ノ主權者ナリ。我憲法上ノ語ヲ取リテ之ヲ云ハ、國ノ元首ニシテ、統治權ヲ總攬スルモノハ、即チ主權者ナリ。主權ハ分割スヘカラス、主權ハ絶對最高ノ權能ニシテ、國家ノ獨立ト單一性トハ、之ニ依ツテ保タル。主權ヲ分割セハ、國家ハ其存在ヲ失ハサルヘカラス。古人好ミテ、君主民衆貴族三政體ノ混合ヲ説クモノ多キハ、畢竟國家主權ノ何タルヲ解セサルノ過ニ坐スルモノタリ。然リ、主權ハ分割スヘカラサレトモ、統治機關ハ則チ分割シ得ヘク、之ヲ分割スルコトハ、則チ今日ノ立憲政治思想ノ起因タリ。統治權ト、統治機關トノ區別、亦實ニ此ニアリ。

國家元首

統治權ハ、國ノ元首親カラ之ヲ行フモノト、特殊機關ヲシテ之ヲ擔當セシムルモノトノ、二様ニ依リテ行ハル。其ノ如何ナルモノ、元首ノ親政ニ屬

シ、如何ナルモノヲ特殊機關ノ擔當ニ屬セシムヘキカハ、各國ノ憲法ニ就テ之ヲ知ルノ外ナシト雖モ、其大體ハ、則チ各國畧ホ相同シク、君主政體ノ國ニアリテハ、君主ハ元首ニシテ、即チ主權者ナリ、其親政ノ範圍ハ甚タ廣大ナルヲ常トス。共和政體ノ國ニアリテハ、原則トシテハ、主權ハ國民ニ在リト爲スモ、國民主權ノ說、固ト思想ノ根本的矛盾ヲ含ムノミナラス、國民自ラ其主權ヲ行フ能ハス、於是乎、國法ノ擬制ニ依ツテ大統領ト名クル國ノ元首ヲ造リ出シテ、統治權總攬ノ事ニ當ラシム。大統領ハ選舉ニ依リテ其位ニ即クトコロノ君主ト、殆ト其地歩ヲ同クシ、其權能亦決シテ狭小ナラス。大統領ハ、外ニ對シテ國家ヲ體表シ、國家各機關ノ上ニ立チテ之ヲ董督ス。世人多ク大統領ヲ指シテ行政部ト爲スモ、是レ其民主政治的思想ニ基クトコロノ稱呼ニ外ナラス。

歐羅巴中世以後、國家主權國民ニ在ルコトヲ說クモノアリ、民主共和政治

擬制的元首

統治ノ主體ト客體

ヲ建造スルモノ、皆之ニ依リテ、其解ヲ求ムルノ情アリ。之ヨリ布衍シテ統治權ノ主體ハ、國民ノ全體ナリト爲スモノアルモ、是等ハ根本的誤解ナリ。統治權ハ、最高權、絶對的強制權ノ行用ヲ指シテ云フモノタリ、國家ハ命令服從ノ關係ニ依ツテ存在ス、國民ノ全體ハ則チ此服從ノ地位ニ立ルモノニシテ、統治權ノ客體ナリ。國家ノ命令權ノ對象ナリ。若シ國民全體統治權ノ主體ナリトセハ、其客體ハ何處ニアリヤ、其命令ノ對象ハ何レニ存セリヤ、假リニ民主共和國ニアリテ、其主權一般國民ニアリト爲スモ國民自ラ統治シタル事實ハ、天下何レノ國ニモ之ヲ見出ス能ハス。

夫レ國家ハ、命令服從ノ關係ニ依リテノミ存在スルモノタリ、而シテ國家ノ起原ハ家族ニアリ、家族民族ノ集團ノ進化セルモノ則チ今日ノ國家ナリ。故ニ服從者先ツ存シテ、命令者出テ、治者ニ先チテ被治者アリト云フハ、國家成立ノ理由ニ反スルモノタリ。希臘時代、民主國ニ、國民直接政治

ナルモノアルヲ傳フルモ、是レ寧ロ家長ノ聯合會議ニ依リテ、政務ヲ處理シタルモノト解スヘク、其他共和政治ト名クルモノアリト雖モ、自ラ政權ヲ握ルトコロノ階級アリ、實權ヲ揮權スルトコロノ政治家アリテ存シ、政府ノ專斷ト壓制トハ、此政體ヲ最モ甚ト爲ス。十八世紀ニ及テ、北米合衆國ノ共和政體成リ、佛蘭西革命以後、歐羅巴ニ共和政治ヲ見ルニ至リタレトモ、是レ寧ロ政治史上ノ變態トシテ之ヲ解スルノ外ナク、是等共和國民亦家長政治ヨリ君主政治ヲ經テ、其政治的生活ヲ進メ、且君主政治ノ典型ニ依リテ、其統治組織ヲ爲スモノニ外ナラサルナリ。

近世國家主權ノ理漸ク明カナルヤ、統治關係ニ關スル研究、亦大ニ其進ヲ加フユーゴー、グロシス主權國民ニ在リト爲ス說ノ歷史上ニ認ムヘカラサルコトヲ説キ、今日ノ國法國際法ノ本體ヲ明カニスルヲ得タリ。之ニ對シテ、和蘭ノ哲學者スピノザハ、主權ハ國家ノ全局ヲ支配スルノ大權ナ

共和政治

レハ、單一ナル自然人ノ力ヲ以テ之ヲ行使スルコトハ、實際上不可能ナリト云フ理由ヲ以テ、君主政治トイフコトハ、實際上有リ得ヘカラスト云ヘルアリ。是ヨリ後、君主政治ヲ説クモノハ、グロシアスノ言ヲ引キ、民主政治ヲ云フモノハ、スピノザノ說ヲ取り、各々修正潤色以テ其理論ヲ成スヲカムルモ、此二者共ニ、語テ未タ詳カナラサルノ憾アリ。大凡國家アリト云ヘハ、此ニ主權ナカルヘカラス、國際法ノ基礎、亦實ニ此國家主權ノ理ニ基ケリ。併ナカラ、近時民主共和政體ヲ建設スルモノハ、其主權ノ自然人タル元首ニ在リト云フヲ憚カル、是レ其ノ主權國民ニ在リトイフノ說ヲ爲ス所以ニシテ、其ノ國家發達ノ歴史ト一致セサルヤ、洵トニグロシアスノ言ノ如シト雖モ、今日ノ共和國ニ於テ之ヲ云フハ、全ク已ヲ得サルノ必要ニ出ツ、乃チ其必要ニ出ツルト雖モ、國民全體カ統治權ヲ行使スルノ事實ハ、今日トテモ、コレ有ラスシテ、實際ハ、擬制的統治者ト、其統治機關トア

君主政治

リテ、國家ノ事ヲ行フニ過キササルナリ。又スピノザカ君主タル自然人ノ力自ラ限リアリテ、國政ノ全局ヲ統フル能ハスト云ヘルハ、古代小國家時代ノ人事極メテ簡疎ナル状態ヲ以テ、將來ヲ推サントスルモノニシテ、彼ハ君主政體トイヘハ、君主一人、其宮中ノ臣僕ヲ使役シテ、百政ヲ親裁スルモノト假定シテ、其言ヲ爲スモ、其故陋寧ロ笑フヘキモノアリ。君主政體豈長ク家長政治ノ舊體ヲ保ツテ存スルモノナランヤ、大國家ノ君主ハ自ラ廣大ナル政治組織ヲ具ヒ、官廷官府、文武諸政ノ皇張ハ、君主政體ニ於テ最モ其盛大ナルヲヘ見ルヘク、モンテスキューハ各種ノ政體ヲ研究シテ、共和政治ハ、専ラ國土狹小國內無事ナル處ニ適シ、立憲君主政治ハ、其廣狹大小ノ中庸ヲ得タル處ニ適シ、國土極メテ廣大ナル處ヲ統治スルハ、君主專制政治ノ外ニ求ムヘカラスト爲ス。此言甚タ味フヘク、ナポレヨン第一世カ、如何ナル國モ、戰爭ヲ爲ストキハ、君主國タルヘシト云ヘルハ、彼ノ

實驗上ヨリ得來レル感想ヲ、正直ニ道破セルモノナルヘク、其他殖民經營ハ、立憲政治、共和政體ノ國ニ於テモ、概テ專制、獨裁的の措置ヲ見サルナシ。學者モンテスキューノ言ヲ反證スルニ、北米合衆國ノ廣土衆人ヲ以テ、共和政體ヲ保テルヲ以テスルモ、米國ニシテ、絶海ノ外ニ在ラスシテ、歐羅巴大陸諸國ノ間ニ介在セシメハ、當年共和政體ヲ以テ其國ヲ建テ得タリヤ否ヤ疑ハシク、其ノ海洋外ニ隔立スルヲ以テシテ、猶ホワシントンハ、歐羅巴ノ政治的混雜ニ立入ルナキヲ訓戒シ、モンロー大統領ノ宣言、亦米國カ歐羅巴ノ事ニ關係スルコトナキカハリニ、歐羅巴諸國ヲシテ本國ノ事ニ干繋セシメサルヲ以テ主義ト爲スヲ見テモ、共和政體ハ、國家ノ多事ニ堪ヘス又國土ノ膨脹ト相容レサルヲ推スヘキナリ。

近時我國ノ國法學者中ニ、我大日本帝國ノ統治權ノ主體ハ、國民全體ナリ君主即チ天皇ハ、統治ノ機關ナリ、但シ最高ノ機關ナリト解スルモノアレ

論學者ノ俗

トモ、是レ曲解ナリ。我國ハ、君主政體ノ最モ純白ナル處ニシテ、其憲法亦欽定憲法ナリ、此國ニシテ猶ホ統治權ハ國民ニアリトセハ、天下復タ君主國ナルモノハ有リ得ヘカラス。國體又ハ政體ノ區別ハ、極メテ明白ナリ、曰ク、君主國カ、然ラサレハ非君主國カ、二者其一ニ屬セサルヘカラス、而シテ我國ノ統治權ノ主體ハ國民ナリト云ハ、我ハ即チ君主國ニアラスシテ、非君主國タラサルヘカラス、豈此理アラシヤ。且其國民全體トイフコト、甚タ無意味ナリ。日本帝國臣民ハ、個々獨立ノ有體ニシテ、其全部ヲ擧ケテ、一團ヲ成セル歴史モ、法律的組織モ存在セス。而シテ臣民ハ即チ統治ノ客體ニシテ、帝國主權ニ對シテ、服従スヘキ地位ニ在ルモノナルニ於テ、國民自ラ統治スルノ説ヲ爲スハ、事理ノ許サ、ルトコロナリ。且機關トハ他人ノ、意思ニ依リテ働クモノ、謂ナリ。我天皇ハ主權者ナリ、主權者ニシテ自己ノ意思ヲ有セスト云フ、何ソ其矛盾ノ甚タシキヤ。而シテ

我國法上、國民ハ法律ノ定ムルトコロニ從テ、議員ヲ選出シ、議員ハ法定ノ範圍内ニ於テ、立法事務ニ參與スヘシト云フニ過キスシテ、他ノ高權ノ作用ニ干與スルコトナシ。故ニ我國ノ統治權ハ帝國臣民全體ニアリト云フハ、帝國統治者及ヒ統治機關ハ多クノ場合ニ於テ意思ナクシテ働クモノナリト云フニ等シ、知ルヘシ、國民ヲ以テ統治權ノ主體ト爲スノ非理ナルコトヲ。嘗ニ之ノミナラス、國民全部、一體トシテ集團セルコトアリヤ、相會合シテ一定ノ意思ヲ作り出セルコトアリヤ、其組織ナク、意思ノ表ナキモノヲ以テ、統治權ノ主體ト爲スハ、荒唐無稽ノ極ナリ。中世以後ノ民約論者ハ、國民ノ一體ヲ想像スル爲ニ、其説ヲ求メテ、或ハ聖經ノ記事ニ原ケ、或ハ羅馬法ノ「ステピユラシヲ」ニ附會シタリ。其言、迂腐笑フヘシト雖モ、猶ホ飽マテ尋釋シテ、其言ヲ立テントスルノ勇氣ハ愛スヘシ。然ルニ今ノ統治權在民説ヲ爲スモノハ、何等具體的成案ヲ有セスシテ、只國家ノ

主權、君主ノ統治權ヲ否認セントス、其粗暴亦甚シト謂フヘキナリ。尤モ君主ハ下民ノ心ヲ以テ心ト爲スト曰ヒ、治者ハ被治者ノ利益ノ爲メニ治ムト曰フカ如キ說ハ、古來數ハ傳フルトコロナレトモ、此ノ如キハ道德的譬諭、若クハ文學的美辭トシテ、之ヲ解スルノ外ナク、現ニ此種ノ言語カ、專ラ君主專制政治、封建政治ノ下ニ行ハレタルヲ見テモ知ルヘシ。若シ是等ノ言語アルノ故ヲ以テ、國家ノ統治權ハ臣民ニ在リト云ハ、專制政治、封建政治ハ理想的善政ナルヘク、此時代ニ於テハ、蕪蕪ノ言ヲ取り、鰥寡孤獨ノ爲メニ務ムルト云フカ常ナルノ故ヲ以テ、統治權ハ蕪蕪ノ徒ニアリ、鰥寡孤獨ニアリト云フヲ得サルヘカラス、今日ノ法律家中、猶ホ此種ノ愚論ヲ相傳フルモノアルハ、畢竟國家成立ノ歴史ト、其政治上ノ實際トヲ知ラスシテ、漫ニ言語ヲ弄スルモノ多キニ是レ由ルヘク、特ニ一國ノ國體及ヒ政治組織ヲ研究スルモノハ、先ツ其國歴史現狀及ヒ政治ノ本旨ニ就テ、

其由ルトコロヲ詳カニスヘク、徒ラニ外國人ノ片言雙語ヲ引テ、妄斷ヲ試ムルカ如キハ、甚タ其要ヲ失フモノタリ。

第二章 國家元首

元首

人類政治組織ノ中心ニ立チテ、統治機關ヲ總攬スルモノ、之ヲ國ノ元首ト云フ。君主政體ニアリテハ、君主即チ國ノ元首ナリ。君主政體ニアラサル處ニアリテモ、統治機關ヲ總攬スルノ地位ニ立ツモノ、必スコレ有り、此地位ニ立ツモノヲ目シテ、國家元首ト爲ス、共和國大統領ノ如キ、即チ是レナリ。

今日共和國ニテハ、其大統領ヲ指シテ、國家ノ元首ト爲スヲ忌ムノ風アリ、蓋シ人性現狀維持ヲ喜フ、君主國ノ臣民カ、共和政治ヲ云フヲ憚ルハ、猶ホ共和國ノ人民カ、君主政體ノ名目ヲ喜ハサルカコトキモノタリ、二者共ニ革命ヲ忌ムノ情ハ相同シ。然リト雖モ、今日ノ國際ニ處シ、大國家ヲ治メ大事ヲ經理スルニハ、必スヤ乾剛ナル統治者ト、宏大ナル統治機關トヲ具

ヘサルヘカラス。トライチケハ佛蘭西ヲ評シテ、君主ヲ搜シ求メテ、未タ得サル間タケ、共和國ナリト爲シタレトモ、佛國人果シテ君主ヲ得ント欲スルヤ否ヤ疑ハシ、只佛蘭西北米合衆國等、強大國ノ大統領ハ、其地位恰モ君主國ノ君主ト相同シク、之ヲ内ニシテハ、國家機關ヲ總攬シ、之ヲ外ニシテハ、國家主權ヲ體表ス。千八百九十六年、露佛間、同盟條約將ニ成ラントスルノ時ニ當リ、露國皇帝、エリゼー晚始餐會乾杯辭中、露國ト最モ貴重ナル關係ニ依リテ結ハレタル國民ノ元首ニ敬禮ヲ致ス云々ノ語アリ、當時二三者ノ其用語ニ疑ヲ挾ミタルモノアリタレトモ、國際上、共和國ノ大統領ヲ其國ノ元首ト爲スヤ、其由テ來ル久シキモノアリ。

今日立憲政治ヲ行フ處、皆立法、司法、行政、三權分立ヲ以テ、其原則ト爲サ、ルナシ。然リト雖モ、所謂三權分立ナルモノハ、統治機關ノ分配ナリ、乃チ之ヲ分配スルモ、固ト是レ一國家ノ政務ナリ、必スヤ之ヲ綜合スルモノナ

統治機關
ノ總攬

カルヘカラス。古人混合政治ノ説アリ、混合政治トハ、君主政體ノ爲メニ君主ヲ戴キ、貴族政體ノ爲メニ、元老院ヲ置キ、民主政體ノ爲メニ、國民議會ヲ設ケ、三者相獨立シ、相調和シテ、國務ヲ舉ケ、互ニ相箝制シテ、其ノ腐敗ヲ防クヘシト云フモノナリ。古時事物簡樸、小國家ヲ建テ、小政務ヲ行フモノ、其政體ノ數ハ變更シ、且各政體皆其腐敗墮落ヲ招カサルモノナキニ對シテ、此説ヲ爲スモノアルハ、固ヨリ其處ナリ。然リト雖モ、此ノ如キ理想ハ、今日ノ社會狀態ト相容レサルノミナラス、又國家主權ノ本義ト相容レス。

國家ハ、唯一無二ノ主權アルニ依リテ存在ス。然ルニ混合政治ナルモノハ、三政體ヲ連立セシメ、三個ノ主權ヲ相對抗セシメントスルモノナリ。近世ノ所謂、三權分立ナルモノハ、之ニ異ナリテ、一ノ總攬者ノ下ニ、三個ノ機關ヲ分立セシム、分立嚴格ヲ加フルニ從テ、之ヲ總攬スルノ要務益々大

ナラサルヘカラス。

國家元首カ、統治機關ヲ總攬シテ、其最高政務ヲ親ラ行フノ狀態ハ、君主政體ト共和政體トノ區別ニ依リテ、其趣ヲ異ニスルノミナラス、其國々ノ政治上ノ情形ニ依リテ、其形ヲ同クセス。只大體ヲ取リテ之ヲ云ハ、各國ヲ通シテ、相同シキモノ亦コレ無キニアラス。世人多クハ、北米合衆國ヲ以テ、共和政治ノ最モ純白ナルモノト爲シ、其立法司法行政ノ分立、最モ嚴格ナルモノト稱ス。固ヨリ然リ、然リト雖モ、國家元首タル米國大統領ノ統治權亦極メテ強大ナルコトヲモ、同時ニ認メサルヘカラス。往昔米國大統領ワシントン、米國ノ安全ヲ保ツノ要ハ、歐羅巴ノ政治的混雜ニ干繋セサルニアリ、政治的同盟ヲ結ハサルニアリト云フコトヲ訓示スルヤ、米國人乃チ之ヲ奉シテ、憲法以上ノ效力アル命令ト爲シ、今ニ及ヒテ違フモノナク、其所謂モンロー主義ナルモノ、亦大統領モンローノ一諭達ノミ。

其他、日常ノ政務ニ就キ、最モ勢力アルモノハ、大統領ノ「メツセーシ」ナルヲ見テモ、其概要ヲ知ルヘシ。

國家元首親ヲ取ルトコロノ高等政務ヲ、悉ク列舉スルハ難シト雖モ、此ニ其ノ最モ普通ナルモノヲ舉クレハ、則チ次ノ如シ。

第一 文教

文教

此ニ題シテ文教ト云フ、國家カ其人民ニ對シテ、政治上、宗教上、若クハ教育上ニ關スル、根本意思ヲ表示スルモノヲ指ス。此種最高意思ヲ表示スルモノハ、國家元首自身ニシテ、之ヲ機關ニ委任スルコトナシ。

我國ニテハ、宗教ニ關スルモノヲ見ルコト稀レナリ。其政治上ニ關スルモノヲ舉クレハ、維新以來、開國主義、立憲政治ニ關スルモノ、皆是レナリ。又教育勅語アリ、戊申詔書アリ、明治四十四年施藥救療ニ關スル詔勅ノ如

キ、亦之ニ屬ス。外國ノ例ヲ求メハ、其類甚タ多クシテ、一々枚舉スヘカラスアレトモ、露西亞、埃太利、洪牙利、獨逸、英吉利諸皇帝ノ親政ハ、常ニ政府又ハ議院ノ上ニ活躍スルヲ見ルヘク、共和政治ノ北米合衆國ニアリテモ、大統領ノ「メツセーシ」ハ、則チ國政ノ指針、國民ノ教導タリ。蓋シ文教ノ根源ハ唯一且至高ナルヲ要シ。從テ國家元首ニアサラレハ、此事ヲ表示スルヲ得サルニ由ルヘシ。

第二 外交

外交ハ、國家ト國家トノ間ノ政治關係ナリ、外交ノ「ユニット」ハ國家ナリ、國家ノ内容、即チ其國體政體ノ、何タルハ問ハス。

國家ノ單一性ヲ體表スルモノハ、主權者ナリ、國ニ依リテ、單一ニシテ自然人ナル主權者ヲ有セサルモノアリ、此場合ニ於テハ、強テ一ノ自然人ヲ求

國家ノ單一性

メテ、其國家ヲ代表セシム。君主國ノ外交ノ主體ハ、君主ノ外ナシ、共和政體ノ國ニ於テハ、則チ大統領之ニ當ル。佛米諸國大統領ハ、主權者ニアラスト雖モ、外交ニ就テハ、大統領之ニ當リ、外務大臣又ハ國務卿之ヲ輔佐ス。事實ヲ云ハ、大統領專決シ、輔佐者只其成ヲ仰クノミナルコトアリ、輔佐者實權ヲ握リ、大統領唯々追隨スルコトモアルヘシ。併ナカラ其體統ハ則チ國家元首之ヲ行フト云フニアリ、是レ外交上ノ儀禮慣行ニ照ラシ、テ一々明白、疑ヲ容ル、ノ餘地ナキ所ナリ。

或ハ近時ノ歐羅巴外交界ヲ目シテ、君主外交時代ト爲スモノアリ。天下何レノ時ノ外交カ、君主ヲ主體トシテ行ハレサランヤ。只英國ノ如キハ、グイクトリア女皇ノ治世ニ於テ、宰相、外相、專ラ其事ニ當リタルノ姿アルニ照ラシテ、今日ヲ特異スルカ如クナレトモ、其女皇時代スラ、大事ヲ決スルモノハ、内閣ニアラスシテ、皇室タリシ事例歴然タリ。英國女皇ノ長期

治世中ノ政治家トシテ、最モ内閣ノ政權ヲ主張シ、人ヲシテ英皇ハ君臨スレトモ、政治セスト云ハシメタルモノヲ、パルマーストント爲ス。併ナカラ、千八百四十八年、歐陸革命騒動ノ際ニ、英國皇室ハ常ニ、露佛君主ト相親近スルノ方法ヲ取り、政府ヲシテ常ニ之ニ依リテ違フ能ハサラシメタリ。又伊太利統一ノ事アルニ當リテ、パルマーストンハサルヂニアト同盟セント企テ、女皇ノ拒否ニ逢フテ、果サス。千八百四十九年、パルマーストン排墮政策ヲ行ハントシテ、是亦女皇ノ爲メニ制止セラレ。千八百五十九年、マルムスバリー局外中立ヲ爲サントスルヤ、女皇敎書ヲ降シテ、之ヲ排シ、伊太利ヲ要シテ、ピラブスンカ和約ヲ結ハシム。千八百六十年憲法制定ヲ條件トシテ、伊太利統一ヲ承認シタルコトモ亦皇意ニ出ツ。

第三 軍政

國家ノ軍事ハ、君主之ヲ統帥ス、君主ナキ國ニアリテハ、大統領之ヲ統帥ス、軍事ニ於ケル大統領ハ、擬制的君主ナリ。

兵力

國家ハ、自己ノ存在ヲ主張スル爲メニ、兵力ヲ備フルノ必要アリ、國家ニ兵力アリ、之ヲ内ニシテハ、國土人民ノ統一ト康寧トヲ保チ、之ヲ外ニシテハ、他國ノ侵畧ヲ防キ、及ヒ自國ノ能力ノ展開ヲ保障ス。之ヲ人體ニ譬フルハ、文教外交ハ猶ホ血肉ノコトク、兵力ハ猶ホ筋骨ノコトキモノアリ。筋骨ヲ缺クトキハ、血肉ノ結構ト運動トヲ支持スルヲ得サルナリ。世間往々、今日ノ國家ノ目的ハ治安ト平和トニアリ、兵力ハ、則チ窮竟此目的ト相容レサルナリ、故ニ文教ト外交トノ力ニ一任シテ、兵ヲ解キ、戰ヲ弭ムヘシト云フモノアリ。夫レ弭戰解兵ニシテ、若シ爲シ得ヘクンハ、因ヨリ可ナリ、併ナカラ、政治ハ、現實ノ状態ニ就テ之ヲ説クヘクシテ、之ヲ離レテ空論ヲ弄スルヲ許サス、歴史ハ戦争ノ已ムトキナキヲ示シ、今日ノ各國家ハ、兵

力具備ノ爲メニ、其全力ヲ注キ、壯丁ハ武ヲ鍊リ、科學者ハ戰術戰具ノ發明改良ニ忙殺セラル、ハ、蔽フヘカラサルノ事實ナラスヤ。且國家ノ目的ヲ治安ト平和トニアリト云フハ、誤レリ、國家ノ目的ハ、國家自身ノ存在ヲ保ツニアリ、國家ノ總テノ機能ハ、此目的ノ爲メニ働クモノニ外ナラスシテ、文教外交ト軍政トハ、各々其機能ヲ同クセサルモ、國家ノ目的ニ依リテ働クノ理由ハ、則チ相同シ、人情平和ヲ好ムノ故ヲ以テ、此事實ト、此理義トヲ抹殺シ去ルヘカラサルナリ。

兵力ハ、國家ノ爲メニ、鐵火ノ事ニ從フモノナリ。其體制ハ、統一ト規律トヲ全クセサルヘカラサルノミナラス、其精神ヲ一ニシテ、愛國奉公、千萬人總テ是レ一心タラサルヘカラス。從テ之ヲ統帥スルモノハ國家ヲ體表スルトコロノ一人タルヲ要スナボレオンハ、戦争ハ君主政體ノ特有物ナリト云フ、然リト雖モ、君主政體ナラサルモノモ、軍事ニ就テハ、君主政體ト

相異ナルコトアル能ハス。共和國ニアリテモ、其戰時狀態ハ、宛然君主政體タルノ實アルハ、則チ是カ爲メナリ。大統領ヲ軍事上ノ擬制君主ナリトイフハ則チコレアルニ由ル。

軍政ノ目的

兵力ヲ分テ、陸軍及海軍ト爲ス、此二者ハ、國家ノ威力ニシテ、國家自存ノ目的ヲ阻止セントスルモノアルニ當リテ、其威力ヲ以テ、之ヲ除去スルモノタリ。國家兵力乏シキトキハ、内亂ヲ招キ、自ラ土崩瓦解ノ極ニ陥ルノミナラス、他ノ國家ノ野心ヲ誘發スルコトアリ。他ノ國土ノ禍亂ヲ未タ發セサルニ先チ、若クハ其ノ末々甚カラサルニ及テ、之ヲ防止スルコトモ、亦兵力充實ニシテ而シテ後之ヲ善クスヘシ。兵力ヲ以テ國家自存ノ基礎ト爲シ、若クハ國際平和ノ保障ト爲スハ、此義ニ外ナラス。

日本

大日本帝國憲法第十一條、天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス、第十二條、天皇ハ陸海軍ノ編制及常備兵額ヲ定ムトアリ、第十三條、又宣戰ノ天皇ノ大權ニ屬スル

コトヲ明示ス。

英國

英國ニテハ、皇帝陸海軍ヲ統帥ス、併ナカラ、其常備軍ノ設置ハ、法律ヲ以テ之ヲ定メ、護國民軍ノ編制又法律ニ依ル。

獨逸

獨逸ニテハ、皇帝陸海軍ヲ統帥ス、平時ニ於ケル陸軍ニ就テハ、多少ノ制限アリテ、各邦君主其命令權ヲ保留スレトモ、戰時ニハ、皇帝全ク之ヲ統フ。

海軍ノ編制ハ、皇帝ノ命令ヲ以テ之ヲ定ム。

佛國

佛國大統領ハ、陸海軍ノ全部ヲ指揮ス、陸海軍ノ編制ハ、法律ヲ以テ之ヲ定ム。

米國

北米合衆國憲法亦大統領陸海軍ヲ統帥スルコトヲ規定シ、戰時ニ於ケル護國民軍、亦大統領之ヲ指揮ス。

宣戰

英國皇帝ハ、宣戰ノ大權ヲ有シ、北米合衆國ニテハ、宣戰ノ權ハ國會ニ在リ、獨逸帝國ニアリテハ、攻撃的開戰ハ、聯邦參事會ノ協賛ヲ要シ、佛蘭西ニテ

ハ、兩院ノ協賛ヲ要ス、併ナカラ、憲法ノ解釋上、獨逸皇帝及ヒ佛國大統領ハ、防禦的戰爭ヲ開クニハ、立法部ノ協賛ヲ要セサルモノト見ルヲ得ヘシ。而シテ國際戰端ヲ開クニ當リテ、實際、何ヲ指シテ防禦的戰爭ト爲シ、何ヲ指シテ攻撃的戰爭ト爲スヘキカ、事體分明ナラサル場合多キノミナラス、兩交戰國ノ開戰宣言、共ニ對手ノ開戰ニ應シテ、已ヲ得スシテ戰フコトヲ云ハサルナキヲ見ルトキハ、國家元首ノ戰爭ニ關スル權能ノ甚タ廣大ナルヲ知ルヘシ。

第四 殖民經營

殖民地ノ設定及ヒ統治ハ、主權者ノ直接ノ政務ニ屬ス。是レ殖民地ノ獲得及ヒ支配カ、外交又ハ軍事ト相抱合シテ、發生スルカ常ナルト、尋常國家機關ノ管掌ニ歸スヘカラサルモノハ、主權者自ラ之ヲ執ルノ外ナナキト

殖民地統治權

ニ由ル。君主政體ニ非ス、若クハ君主アルモ、主權者ニアラサル處ニアリテハ、國家元首ヲシテ、專ラ其事ニ當ラシム。

獨逸千八百八十六年四月十六日制定、獨逸保護領法第一條、保護領ニ於ケル保護權ハ、帝國ノ名ニ於テ、皇帝之ヲ行フコトヲ規定ス。獨逸帝國主權ハ、聯邦參事會ニアリ、故ニ此法律ヲ設クルノ必要ヲ見ルニ至レリ。君主國ニテモ、憲法上、君主ノ權限狹キモノ、又ハ共和國ニアリテハ、法律ヲ以テ、殖民地統治權ヲ、君主又ハ大統領ニ委任ス、其他尋常政務ハ、母國行政立法機關及ヒ殖民地統治機關ニ分屬ス。

第五 統治機關ノ總攬

今日立憲政治ノ原則ハ、立法司法行政諸機關ヲ相分立セシムルニアリ、既ニ之ヲ分立ス、從テ之ヲ綜合シ、統一シテ、國家ノ意思ヲ明カニシ、國家ノ行

分立ト綜合

動ヲ正クスルモノナカルヘカラス。

國家元首ノ立法機關ニ對スル關係ハ、頗ル錯綜ヲ極ム。大凡國會ノ召集開院、停會、閉會及ヒ解散ハ、元首之ヲ命ス。共和國ニアリテハ、國會ノ開會要件ハ、國法ノ規定ニ由ルヲ以テ、大統領ノ召集ヲ待テ、其院ヲ開クヲ要セサレトモ、臨時議會ヲ開クコトハ、大統領ノ召集ニ依ラサルヘカラス。又法律ヲ裁可シ、公布シ、及ヒ其執行ヲ命スルコトモ、亦元首ノ大權ニ屬セリ。或ハ、法律ノ裁可ハ單ニ立法上ノ形式ヲ具フルニ過キスト爲スモノアレトモ、是レ大ニ誤レリ。法律案カ、議會ノ兩院ヲ通過シタリト云フコトハ其機關ノ意思ヲ形成セリト云フニ止リ、元首ノ裁可ニ依リテ、初メテ其ヲ國家ノ意思タラシムルモノタリ。只法律案カ、國會ヲ通過シタル後、元首之ヲ裁可セサルコトノ甚タ稀レナルハ、事實ナレトモ、是レ寧ロ立憲政治ノ進歩ヲ以テ之ヲ目スヘシ。乃チ議會ハ兩院相對峙シテ、各々正義ヲ以

法律ノ裁
可及ヒ拒
否

テ相責メ、元首ノ下ニ内國アリテ、議院ト相連絡スルヲ以テ、國家ノ意思タラシムヘカラサル法律案カ、兩院ヲ通過スルト云フカ如キハ、甚タ稀レニ見ルノ事タリ。此裁可權ヲ消極的ニ解シテ、不裁可權ナル語ヲ用ユルコトアリ、元首ノ、議會ヲ通過シタル法律ヲ拒否スルノ義ナリ。國家元首絶對的不裁可權ヲ有スルモノト爲スハ、英國ノ如キ是レナリ。又佛蘭西大統領ノ不裁可權ナルモノハ、甚タ制限的ニシテ、只一回之ヲ行フコトヲ得、是レ寧ロ法律ノ成立ヲ中止スルモノト云フヘク、議會カ再ヒ多數ヲ以テ同一法律案ヲ通過シタルトキハ、最早之ヲ拒否スルヲ得ス。

國家元首ノ行政機關ニ對スル權能ハ極メテ廣大ナリ、法律執行命令行政諸命令ヲ發シ、官吏ヲ任命シ、國家行政事務ヲ統綜ス。

司法機關ハ、行政及ヒ立法諸機關ト相特異スルモ、其ノ國家元首ノ下ニ立ツコト、他ノ諸機關ト相同シ。我憲法、司法權ハ天皇ノ名ニ於テ、裁判所之

ヲ行フトイフ明文アリ、是レ民事刑事訴訟ハ、裁判所之ヲ審判スレトモ、其裁判權ノ根源ハ、裁判所ニアラスシテ、帝國主權者タル天皇ニ在ルコトヲ明白ニスルモノタリ。且大赦特赦ヲ行フコトモ、亦君主ノ大權ニ屬シ、共和國ノ大統領亦之ヲ行フ。

君主國ニアリテハ、皇室典範又ハ皇位繼承法アリテ皇位繼承ノ次第ヲ定メ、共和國ニアリテハ憲法及ヒ大統領選舉法アリテ、其任期權限、及ヒ選舉投票制度ヲ定ム。昔時選舉君主政體アリシモ、今ハ存セス、而シテ其ノ大統領ノ權限ナルモノハ、他ノ立憲君主國ノ君主ト甚タ相近ク、其ノ就職ハ、選舉ニ依ルト雖モ、選舉人ト大統領トノ間ニ委任代理ノ關係ハ存在セス。佛國大統領ハ、元老院代議院合同會議ヲ開イテ、之ヲ選舉シ、其任期七箇年ナリ。北米合衆國大統領ハ、之ト異ナリテ、複選法ヲ用キテ、國民之ヲ選舉

ス。乃チ各州ノ公民ノ投票ヲ以テ大統領選舉人ヲ選舉シ、其當選者、各州ノ首府ニ集會シテ、大統領選舉投票ヲ行フ。大統領選舉人ノ數ハ、其州ノ合衆國國會議員及ヒ元老院議員ヲ合シタル數ト相同シク、兩院議員ハ、選舉人タルコトヲ得ス。選舉人ノ投票ハ元老院及ヒ國會ノ合同會議ヲ開イテ、之ヲ開票シ、投票點ノ過半數ヲ得タルモノヲ以テ、大統領當選者ト爲シ、若シ過手數ヲ得タルモノナキトキハ、多數者三名ニ就テ、國會議員コレカ決選投票ヲ爲ス。但シ此場合ニ於テ、各州一票ヲ投セシメ、其過半數ヲ得タルモノヲ當選者ト爲ス。此決選投票ヲ爲スニハ、各州ノ代表者三分ノ二以上出席スルコトヲ要スルノ規定ナリ。米國大統領ハ、四箇年ヲ以テ任期ト爲ス。佛米諸國大統領ハ、斯クシテ當選シタルトキハ、其地位ハ全ク獨立ニテ、議院ニ對シテ責任ヲ負フコトナク、又憲法ハ、其不可侵權ヲ保持ス。大統領カ時ニ國民ヲ代表スルト稱スルハ、恰モ國家ヲ代表スル

ト云フト等シクシテ、其ノ國家ノ元首タルコトヲ表章スルモノニ外ナラサルナリ。世間往々、立憲國中ニハ、世襲ノ大統領アル如ク、公選ニ依リテ一定期間其位ニ即クトコロノ君主アリト云フモノアルハ、其ノ國家元首トシテ、政局ニ立ツノ状態、甚タ相似タルモノアルコトヲ形容セルモノニ過キス。或ハ大統領カ、選舉ニ依リテ其職ニ當ルノ故ヲ以テ、統治權ハ選舉人ニアリト爲スモ、未タ其正ヲ得タリト云フヘカラス。大統領選舉制度ノ原則トシテ、選舉權ハ、選舉ヲ行フニ依リテ、其法律上ノ效果ヲ盡クシ、當選者ハ、則チ法律ノ效果ニ依リテ、其地位ニ立ツモノニシテ、此間ニ委任代理ノ關係ヲ存セス。選舉人ハ、其選舉當時ノ豫約ニ背キ、若クハ己ノ意ニ添ハサルノ故ヲ以テ、大統領ノ職ヲ奪フ能ハサルナリ。

第三章 內閣及樞密院

今日ノ立憲諸國、多クハ國家元首ノ下ニ、最高施政機關、及ヒ最高諮問機關ヲ備フ。最高施政機關ヲ、內閣ト曰ヒ、最高諮問機關ヲ樞密院若クハ參事院ト曰フ。

內閣ト國家最高施政機關ニシテ、立法行政ノ事、一ニ此ヨリ出ルノ實アレトモ、憲法ノ明文ヲ以テ、其組織ヲ規定スルモノ、甚タ稀レナリ。蓋シ內閣制ハ、主トシテ官制發達ノ歴史的結果ニ依リテ成リ、憲法ノ規定ヲ待タスシテ、其實用ヲ全クスルニ是レ由ルヘシ。

今日立憲國ノ、取リテ以テ模範ト爲スハ、英國ノ內閣制ナリ。然ルニ同國ノ法制史ニ依レハ、其內閣制ノ起源ハ、樞密院內ノ特別委員ノ會議ニアリ。蓋シ十八世紀ニ於テ、英國ノ國務大臣タルモノ、皆樞密顧問タリ、故ニ其大

內閣

臣タルモノ、樞密院内ニ集合シテ、重要國務ヲ議決ス、此會議ヲ指シテ、内閣ト爲シタルニ外ナラサルナリ。英國ノ内閣ハ、會議體ニシテ、會議ニ依リテ、重要國務ヲ決定スル處ナリ。佛國內閣亦同様ニテ、中央行政官府タルノ性質ヲ有セス。之ニ反シテ、普漏西ノ内閣ハ、千八百八年、五省設置ノ時ヲ以テ、其形ヲ成シ、重要國務ヲ處理スルトコロノ一中央官廳タリ。

英國

内閣制ノ、最モ發達シ、且規則正シキハ、英國ニシテ、總理大臣ハ、内閣ノ主班トシテ、各國務大臣ヲ統一シ、内閣全部、相連帶シテ政治上ノ責任ヲ負ヒ、其進退ヲ共ニス。英國ノ慣例、内閣員ハ、衆議院ノ多數ヲ喪フトキハ、必ス總辭職ヲ爲スニアリ。併ナカラ、内閣ハ、國會ニ對シテ、責任ヲ負フモノナリヤ、將タ又直接ニ、選舉人ニ對シテ、責任ヲ負ヒ國會ニ對シテハ、第二次責任タルニ過キササルカ、同國學者政治家ノ議論喧シキ所ナレトモ、千九百五年バルフォア内閣ハ、其ノ猶ホ衆議院ノ多數ヲ喪ハサルニ拘ハラズ、總辭

職ヲ行ヒ、次ノカメルパンナム内閣ハ、總選舉後ニ及ヒテ、初メテ多數ヲ得タルヲ見ルトキハ、英國内閣ハ、國會ニ對シテノミ責任ヲ負フモノト云フヲ得ス。

英國ノ内閣制ヲ模倣シタルハ、佛蘭西、和蘭、白耳義、ルーマニア、瑞典、諾威、丁抹及ヒ英國殖民地ナリ。就中、白耳義ハ、最モ英國制度ヲ直寫スルニ力メタルノ實アリ。只白耳義ニテハ、君主ノ内閣員ニ對スル權能強大ニシテ、白耳義國王ノ、其國務大臣ヲ任命進退スルコト、英國君主ヨリモ自由ナリ。但實際ヲ云ハ、内閣員タルヘキモノハ、皆政黨ノ首領ニシテ、其人自ラ定レルアリ、君主ニ大臣任命ノ大權アルモ、擅マニ其外ノ人ヲ任用スルコトナシ。又白耳義モ、英國ト等シク、一定ノ省務ヲ帶ヒサル國務大臣ヲ任命スルノ制アリ、是レ政治界ノ有力者ヲ、内閣ニ羅致スルヲ期スル所以ナリ。白耳義ノ内閣員ハ、主トシテ下院ヨリ之ヲ取り、上院議員ヲ任用スルコト

甚々稀レナリ。且大臣ハ議員ノ資格ヲ有スルト否トヲ問ハス、議院ニ入
 ヲテ發言スルコトヲ得、此點亦英國ト同カラス。佛國ノ内閣制ハ千八百
 十四年ニ於テ、初メテコレアルヲ見、七月君主政府ノ下ニ、完成シタリ。此
 制度ハ千八百四十八年、一旦廢止セラレタルモ、第三共和政體ニ及ヒテ、復
 活セララル。佛國內閣ハ、英國制ニ學ヘリト云フモ、國務大臣ハ必スシモ議
 員タルヲ要セス、又陸海軍大臣ヲ、専門軍人ヨリ任用スルコトアリ。又千
 八百六十八年以後ハ、英白諸國ニ於ケル如キ無省大臣ヲ置クヲ許サス。
 千八百七十五年二月二十五日憲法ニ依レハ、内閣員ハ兩院ニ對シテ、一般
 政策ニ關シテハ連帶シテ、個人的行爲ニ關シテハ、單獨ニ其責任ヲ負フ筈
 ナルニ、實際ハ代議院ノミニ對シテ其責ヲ負ヒ、復タ元老院ヲ顧ミス。且
 佛國ニテハ、一旦代議院ノ信任ヲ失フテ辭職シタル内閣員カ、直チニ次ノ
 内閣ニ入ルヲ常トシ、内閣更迭ハ頻々ナレトモ、内閣員ノ顔觸レハ、則チ甚

クシキ變化ナキカ例ナリ。ドュプリーノ言ニ依レハ、第三共和政治以來
 千八百九十三年ニ至ル間ニ、内閣更迭十八回、其内閣議長ニシテ、前内閣員
 タリシモノ、實ニ七人ニ及ヘリト。此傾向ハ今日猶ホ依然トシテ存シ、同
 國ノ如ク大政黨ノ確立シタルモノナク、群小政黨連合シテ、代議院ノ多數
 ヲ保チ、其連合關係カ、且暮ニ變スル處ニ、アリテハ、是亦已ヲ得サルトコロ
 タリ。

伊太利

伊太利ノ内閣ハ、英佛ニ學ヒテ、其衷ヲ折シタルモノト謂フヘク、同國ノ内
 閣ハ、君主ト國會トニ對シテ責任ヲ負ヒ、君主ハ國務大臣ヲ任命スルヲ甚
 タ自由ナリ。其陸海軍大臣ハ、専門軍人ヲ以テ之ニ充テ、且其陸海軍將官
 ニシテ、未タ元老院議員タラサルモノハ、大臣タルト同時ニ、元老院議員ニ
 勅任セララル。

英國内閣制ノ影響ヲ受ケサルモノハ、獨逸、瑞西、北米合衆國、及ヒ羅典、亞米

獨逸

利加ナリ。

獨逸帝國ニ於テハ、大政補弼ノ重任ニ當ルモノハ、只宰相一人アルノミニシテ、國務大臣連帶責任ノ事ナシ。其國務大臣ハ、君主ノ權能ニ依リテ任用スルトコロノモノニシテ、議院ノ黨派關係ニ鑒ムトコロアルヲ要セス。且帝國ニ於テモ、普漏西ニ於テモ、大臣カ議院ニ對シテ責任ヲ負フト云フコトナシ。尤モ千九百八年、獨逸皇帝、一英國人ニ會談シタル事件ニ就キ國會ノ問題ヲ惹起シ、自由黨首領ハ、之ヲ以テ獨逸宰相亦遂ニ國會ニ對シテ責任ヲ負フニ至レルモノト爲シ、宰相ビユーロー公ハ、其財政案ノ失敗ニ依リテ、辭職シタリ。

由來內閣制ナルモノハ、君主政治ノ國ニ適合セルモノニシテ、佛蘭西ノ如キハ、共和政體トハ云ヒナカラ、其政治界ニ、君主政治的遺風猶ホ存スルヲ以テ、其內閣制彼カ如クナルヲ得ルノミ。羅典亞米利加諸共和國中、智利

ハイチ、サントミンゴ、ウエネジユエラ等ニテ、內閣制ヲ輸入シタレド、其發達ヲ見ルヘカラス。近刊政治年鑑、共和國ヲ算スルコト二十有二、其內立法部ニ對シテ責任ヲ負フトコロノ內閣ヲ有スルモノハ、僅カニ五國アルノミ。

今日共和政治ノ基礎ハ、立法機關ト行政機關トヲ相獨立セシムルニアリ。行政部カ、立法部ニ左右セラル、ト云フコトハ、其立國ノ根本原則ト相容レサルナリ。北米合衆國、瑞西及ヒ羅典亞米利加共和國ノ多數ハ、大統領ノ下ニ、行政各部長官アリト雖モ、全ク立法部ノ外ニ立チ、其多クハ議院ニ出席スルコトスラコレ無シ。從テ議院ノ多數ニ反對セラル、モ、之ニ依リテ其地位ヲ去ルコトナキナリ。大統領ハ其任期盡クルノ時ヲ以テ、其職ヲ退キ、大統領ト共ニ多數官吏ノ更迭ヲ見ルコトアルノミ。

日本ノ內閣制ハ、憲法ニ依ルニアラス、又法律勅令ノ其責任及ヒ進退ノ要

日本

件ヲ明ニスルモノナク、全ク實際上ノ慣行ニ依リテ定リタリト云フヲ得ヘキナリ。憲法第五十五條ハ、只國務各大臣ハ、天皇ヲ補弼シ、其責ニ任ストアルノミニテ、連帶責任ノ文字ナク、又議會ノ多數ヲ保持スヘキコトヲ要件トシタル文字ナシ。

明治二十六年勅令第三百三十五號内閣官制第五條ニテ、一、法律案及豫算決算案、二、外國條約及重要ナル國際條件、三、官制又ハ規則及法律施行ニ係ル勅令、四、諸省間主管權限ノ爭議、五、天皇ヨリ下付セラレ又ハ帝國議會ヨリ送致スル人民ノ請願、各豫算外ノ支出、七、勅任官及地方長官ノ任命及進退其他各省主任ノ事務ニ就キ高等行政ニ關係シ、事體稍重キモノハ、總テ閣議ヲ經ヘキコトヲ規定シアリ。總理大臣ハ、行政各部ノ統一ヲ保持スルノ大任ヲ負フヲ以テ、是ヨリ自ラ内閣員全部一致シテ、其進退ヲ共ニスルノ實例ヲ成スニ至レリ。内閣ハ、君主ニ對シテ責任ヲ負フコトハ勿論ナ

レトモ、帝國議會ノ兩院ニ對シテ、其責任ヲ負フヤ否ヤ、明カナラス。特ニ我貴族院ハ、公選ヲ用ユルコトナキヲ以テ、若シ議院ノ多數ヲ保ツヲ要件トスルトキハ、内閣ハ衆議院ニ對シテノミ責任ヲ負フコト、ナルヘシト雖モ未タ其慣行ノ成立ヲ見サルナリ。

我内閣制ハ、英國白耳義及ヒ伊太利諸國ノ制度ヲ折衷シタルモノ、如ク且合議體タルニ止マラスシテ、内閣自ラ中央ノ一官府タリ。内閣所屬ノ官府アルノミナラス、閣令ヲ發シ、及ヒ自ラ一定ノ行政事務ヲ行フ處タリ。内閣ト相並フ最高諮問機關ヲ、樞密院トス。英國ノ樞密院ハ、十三世紀ニ於テ、其端ヲ起シ、一タヒハ國政ヲ此ニ總攬シタルモ、内閣制發達スルニ及ヒテ、其權勢ヲ減シ、宛然一ノ名譽官廳タリ。今日ハ、顧問官二百有餘名アリ、特別委員ノ外ハ、實際ノ職務ナシ。普魯西ノ樞密院、亦約八十名ノ顧問アリ、佛國ハ參事院コンセユタダト名ケ、議長副議長ノ下ニ、部長五名、議官二十六名、其外

ニ員外議官及ヒ議官補アリ。是等ハ今日ニテハ、主トシテ高等行政上ノ諮問機關タルニ止リテ、政治上重要ナルモノニアラス。

我樞密院、亦憲法及ヒ條約ニ關スル、至高顧問機關タリ。

憲法第五十六條ニ曰ク、樞密顧問ハ、樞密院官制ノ定ムル所ニ依リ、天皇ノ諮詢ニ應シ、重要ノ國務ヲ審議スト。我樞密院ハ、憲法制定ノ爲メニ創設セラレタリト云フヲ得ヘク、其職掌亦憲法皇室典範ニ關スルモノヲ主ト爲シ、且一定ノ法規及ヒ命令ハ、樞密院ノ議ヲ經タリト云フヲ以テ、其必要法式ト爲ス、是レ其任務ノ比較的ニ多キ所以ナリ、憲法ノ疑義ヲ解決スルコトハ、我國ニテハ、天皇ノ親裁ヲ仰クノ外ナシト雖モ、樞密院ハ、則チ此場合ニ於テ、會議ヲ開キテ、意見ヲ上奏ス。會議ハ多數決ナリ。但シ樞密院ハ、施政ニ干與スルコトナシ。

樞密院ハ、純乎タル統治者ノ顧問府ナリ。之ヲ目シテ、行政機關ト爲スヘ

カラサルヤ、言ヲ待タス。獨リ内閣ニ至リテハ、簡單ニ説キ去ル能ハス。

乃チ國務各大臣ハ、天皇ヲ補弼シ、統治權ノ行用ニ參畫スルノ外ニ、各省大臣トシテ、行政事務ヲ主管ス。前者ハ至高政府ノ一員タリ、後者ハ行政機關ノ長官タリ、一人ニシテ二個ノ資格ヲ有スルモノト云ハサルヘカラス。且我内閣其モノモ、中央官府トシテ、行政事務ヲ取扱フ處ナルヲ以テ、此處モ、至高政府ト、行政官府トノ二面ヲ有スルモノタリ。但シ理論上、我國法ハ、國務大臣タルモノ、必スシモ行政事務ヲ主管スルコトヲ要件トセス。我内閣官制第十條ニハ、各省大臣ノ外、特旨ニ依リ國務大臣トシテ内閣員ニ列セシメラル、コトアルヘシト云フ明文アリ。是レ我亦無省大臣アルヲ認ムルモノニシテ、此無省大臣亦補弼ノ任務ニ當ルコト、他ノ大臣ト異ナルコトナシ。又内閣モ、其高等政務ノ閣議ヲ要スルモノト、然ラサルモノトノ間ニ、截然タル區別アリ。我國法上、政府ナル語ハ、此至高政務ヲ

行フトコロノ内閣ヲ指スモノト解セサルヘカラス。

第四章 行政

第一 行政ノ性質

行政ヲ廣義ニ解スルトキハ、國家ノ意思ヲ實行スルコトノ全體ヲ含ム。從テ、君主、大統領ノ權能ノ大部分ハ、此行政ニ屬スルモノト解セサルヘカラス。今日多クノ政治學者ハ、此廣義ノ解釋ヲ取リ、君主、大統領等ヲ、内閣以下ノ官府ト併セ説イテ、等シク之ヲ行政機關ト爲スモノアルハ、則チ之カ爲メナリ。

併ナカラ、君主又ハ大統領、即チ國家元首ノ統治權ノ作用ト、行政官府ノ尋常行務ト相混一スルハ、徒ラニ錯雜ヲ招クノミナラス、國家元首ノ行フトコロノ事ニシテ、行政ニ屬セサルモノアリ、又行政ナルカ、立法ナルカ、將タ

司法ナルカヲ分別スヘカラサルモノ多クナリ。例ヘハ法律ノ裁可公布ハ、純乎タル立法行爲ナリ。大赦特赦ハ、純乎タル司法行爲ナリ。宣戰講和、陸海軍統帥、對外經營等ハ、自ラ別種ノ國權ニ屬スヘシ。エスマンハ、條約締結ノ事ヲ以テ、立法ト行政トノ共同範圍ナリト爲シ、其性質ヨリ云フモ、將タ其成立ノ手續ヨリ云フモ、二者ノ一ニ偏屬セシムヘカラサルヲ説ケリ。此ノ如キノ類ハ、一々枚擧スヘカラス。且行政ヲ、立法司法ト相對シテ説クハ、専ラ國家機關ノ分配ヲ明カニスルカ爲メナリ。國家ノ最高權ノ作用ト相混スルトキハ、其義ニ通スルコト能ハス。是レ本書、既ニ別ニ國家元首ノ統治作用ヲ序述シタル所以ニシテ、本章ハ、之ヲ反覆スルヲ爲サス。専ラ行政機關ニ就テ、其要ヲ擧クルニ止ムヘシ。

行政ヲ、國家ノ意思ヲ實行スルモノト爲スハ、其主觀的推理ニ基クトコロノ解説ナリ。此ニ意思アリテ、初メテ此ニ行動アリ、行政ハ、則チ此行動ニ

行政ノ地位

定義

就テ命名シタルモノナリ。併ナカラ、客觀的ニ之ヲ云ハ、行政ハ、國家ノ意思ヲ表示スルモノナリ、國家ノ要件ハ、立法機關ニ依リテ議決セラル、コアリ、此場合ニ於テ、立法機關ノ決定ハ、國家元首ノ取ルトコロトナリテ、國家ノ意思トナリ、此國家意思ノ、外部ニ發動スルモノハ、則チ行政ナリ。然リト雖モ、其他國家ノ意思ニシテ、直チニ發動スルモノ、亦甚ク多シ。是故ニ、行政機關ハ立法ノ附屬品ニアラス、又無意識的機械ニアラスシテ、意思ト行動トヲ兼有スルトコロノ、國家作用ナリ。

行政ノ本質此ノ如シ、故ニ其行務ノ分量ノ多キコト、他ノ立法司法ノ比ニアラス。又其設置宜シキヲ得ルト否トハ、國民ノ休戚ニ關スルコト甚ク大ナルノミナラス、時ニ國家ノ存在ニ、影響ヲ及ホスコトナキ能ハス。故ニ行政ノ完全ヲ求ムルノ要件、亦自ラ立法又ハ司法ト相同シキ能ハサルナリ。

要件

行政ノ要件、蓋シ四アリ。其一ニ曰ク、事ニ臨ミテ、果斷ナルヲ要ス。其二ニ曰ク、其目的ハ、單一ナルヘシ。其三ニ曰ク、其行務ハ、健剛ナルヘシ。其四ニ曰ク、其設置、幾微ニ中リ、機務ヲ全クスヘシ。此事ヤ、官職各々序次系統アリ、其事ニ當ルモノ皆其職守ヲ慎ミ、責任ヲ重シテ、而シテ後ニ、之ヲ善クスヘク、行政官府ノ組織、編製、官吏任用法、服務規律等、皆此原則ヨリ出テ來ラサルハナシ。

然リト雖モ、歴史及ヒ現在ノ事實ニシテ、往々此原則ト相容レサルモノアリ。則チ合同制ニ依ルトコロノ、行政組織是レナリ。行政組織ヲ、假リニ二種ニ分ツ、其一ハ、單獨制ニシテ、其二ハ、合同制ナリ。單獨制ハ其職守責任遂ニ一人ニ歸ス。合同制ハ、之ニ反シテ、二人以上ノ人、同一ノ地位ニ立チテ、其權能ト其責任トヲ共通ニス。單獨制ヲ以テ、元首專制政治ノ下ニ其形ヲ成セルモノト爲スヘク、合同制ハ、則チ古代民衆政治ノ遺型ヲ

單獨制
合同制合同制ノ
弊

留ムルモノト云フヘシ。往昔雅典ハ、其行政權ヲシテ、多數ノ相獨立セル文武官ニ分屬セシメ、羅馬ハ長ク二人ノ「コンシユル」ノ政治ノ下ニ立チ、スパルタ人ハ、二人ノ君主ヲ戴キタリ。佛國千七百九十五年ノ制度ニテハ五人ノ執政官、行政ヲ掌リ、千七百九十九年ノ憲法、三人ノ「コンシユル」ヲ設ケ、瑞西共和國ノ行政權、亦七人ノ合議體ニ存セリ。獨逸帝國ノ行政權亦聯邦參事會ニ在リ。是等ノ制度ノ、由リテ來ルトコロヲ尋ヌルニ、往昔ハ全市民合議シテ、政務ヲ行ヘルコトスラコレ有ルヲ以テ、政權ヲ合議體ニ委スルカ如キハ、深ク怪ムニ足ラス。近代ニ及ヒテハ、國民多ク獨裁專制政治ノ弊害ニ懲リ、之ヲ防止スルノ手段トシテ、此合同制ヲ取ルモノアリト雖モ、其ノ行政ノ要件ト相戾ルヤ、遂ニ其實行ヲ保ツ能ハス。佛國ノ合同制カ、毎ニ一人ノ專制ニ歸シタルハ、歴史ニ示ス所ノ如ク、今日ノ獨逸帝國ハ、君主政治ニシテ、聯邦參事會ハ、君主ノ諮問機關タルノ實アリ。而シ

自治體

テ今日國家ノ一般行政ヲ合同制ノ下ニ置クモノハ、殆トコレ無ク、只自治體ニ於テ、參事會ヲシテ、行政ノ事ニ當ラシムルノ例多シト雖モ、是レスラ處務滯滯シ、成績擧ラサルノミナラス、黨派的軋轢若クハ陰私請託等ノ諸弊交々生シテ、地方行政ノ萎靡不振ヲ招クモノ尠ナカラス。只自治體ハ單獨制ニ依ル能ハサルノ理由、別ニ存スルヲ以テ、之ヲ忍フヘシト雖モ、國家ノ行政ニ至リテハ、合同制ニ依ラサルヘカラサルノ理由ナキノミナラス、之ニ依ルトキハ、遂ニ行政ノ要件ヲ全クスル能ハス。

第二 行政機關ノ組織

行政機關ノ組織ヲ分チテ、*bureaucratic* 及ヒ *popular* ノ二ト爲スヲ得。暫ク前者ヲ譯シテ官僚主義ト爲シ、後者ヲ公開主義ト爲スヘシ。

官僚主義

官僚主義トハ、専門的官吏ヲ以テ、行政機關ヲ編製スルノ謂ナリ。乃チ一

定ノ教育ヲ終リ、試験ヲ經タルモノニシテ、初メテ官吏トナルコトヲ得。官吏ハ、畢生ノ心力ヲ其職守ニ致シ、嚴格ナル規律ノ下ニ、其任務ヲ全クス。其職ヲ退クヤ、恩給年金以テ、其身ヲ終ラシム。此主義ニ依ルトキハ、社會ニ官吏ト云フ一階級ヲ成シ、特殊ノ智識能力ヲ、行政ノ上ニ集ムルヲ以テ或ハ之ヲ目シテ *Pedantocracy* (誇智政治) ト爲スモノアリ。官僚主義ノ長處此ニ在リ、其短處亦此ニ在リ。其長ヲ云ハ、國內最良ノ智能ヲ此ニ集メテ、行政ノ獨立獨歩ノ發達ヲ見ルヲ得ヘク、其短ヲ云ハ、行務繁文縟禮ニ流レ、且官府ト國民ト漸ク相阻格スルノ傾アリ。併ナカラ、内外多事ノ日大國ノ政務ヲ擔當スル、智識能力ニ富メル專門家ヲシテ、其全力ヲ傾注セシムルモノタラサルヘカラス。英吉利、露西亞、獨逸諸國行政機關、皆所謂官僚主義ノ典型ヲ示スモノタリ。佛蘭西モナポレヨン第一世ノ下ニ、此主義ヲ取り、爾後共和政治家ニ依リテ、多少ノ變更ヲ加ヘタレトモ、官僚主

公開主義

義ノ體系ハ、自ラ存セリ。伊太利、埃地利、亦畧ホ相同シ。公開主義ハ、之ニ反シテ、官職ヲ、専門的階級の業務ト爲サスシテ、一般人民ヲシテ、等シク此ニ從事セシム。其任用ハ、専門的智識技能ノ試験ニ依ラスシテ、普通人民ノ選舉ニ依リ、國家ハ、其地位ノ恒久安固ヲ保證セスシテ却テ任期ヲ設ケテ、相交代セシム。此制度ノ長處ハ、官府ト普通人民トノ連絡ヲ保チ、國民自由自治ノ實ヲ舉クルニ適スルヲ以テ、北米合衆國ノ如キ國體ニ於テ、最モ其發揚ヲ見ルヲ得タリ。米國ニテハ、大統領ノ更任毎ニ、一般行政官ノ更迭ヲ見ルノミナラス、鐵道、保險、諸委員、法官、技術家、其他行政上特殊ノ技能ヲ要スルモノマテ、一般人民ノ選舉ニ依リテ任命スルノ例アリ。此主義ノ弊ハ、官吏ニ適材ヲ得ル能ハサルコト、及ヒ官吏其畢生ノ心力ヲ其職務ニ致ス能ハサルコトニアリ、大國家、大有事ノ日ニ、取ルヘキノ制度ニアラサルヤ明白ナリ。是レ他ノ列國ノ、之ヲ學フモノナキ所

以ナリ。只其ノ自由自治ノ精神ト、甚タ相近キヤ、市町村自治體ノ行政事務ニ當ルモノニ就テ、此主義ヲ取ルハ、今日ノ通例ニシテ、自治行政事務ノ簡易單純ナル、必スシモ専門家ヲ待タス、且自治制ハ、其名ノ如ク、所在人民自ラ其公務ヲ處理スルヲ旨トスルヲ以テ、善ク此主義ノ長處ヲ發揮シ、遂ニ其短處ニ及フコトナキヲ得ヘキナリ。

或ハ、國家ノ政體ニ就テ、官僚政治、非官僚政治ノ異同ヲ辯スルモノナキニアラスト雖モ、是ハ國家ノ高等政務ト、尋常行政機關ノ事トヲ相混視スルノ過ニ坐スルモノタリ。政體ハ、君主國、共和國等ニ區別シ、專制ト、立憲トニ分類スルヲ得ルモ、官僚非官僚ナル語ハ、之ニ異ナリテ、政體ト相關係スルコトナシ。官僚主義ト、非官僚主義即チ公開主義トハ、專ラ行政官ノ任用令、及ヒ分限令ニ就テ、之ヲ云フヘキモノタリ。

國家元首ノ統治作用ト、行政官府ノ尋常行務トノ、相區別セサルヘカラサ

政務ト行

ルノ理由ハ、既ニ述フルトコロノ如ク、今日ノ國家ハ、假令其理由ヲ明カニ認メサルマテモ、實際上、此區別ヲ存セサルモノナク、就中、佛蘭西ニテハ、此理論及ヒ實用甚タ明白ナリ。グードノウ、デユグイ等、同國ノ政治狀態ヲ研究シテ、政務ト行政事務トノ區劃、甚タ明カナリト爲シ、立法議會ノ召集、開院、軍事、外交、赦刑ノ如キヲ、政務ト爲シ、官吏任命、董督、訓示、指令、其他法律ノ執行ニ屬スル事柄ヲ、總ヘテ行政事務ト爲ス。然リト雖モ、此事ハ、獨リ佛國ノミナラスシテ、何レノ國ニアリテモ、皆相同シク、政務ハ、國家元首ノ下ニ、内閣又ハ行政長官アリテ、之ヲ執リ行ヒ、所謂官僚ナルモノハ、之ニ與ツカラス。若シ又官僚ヨリ出テ、之ニ與カルモノアリトセハ、其者ハ既ニ官僚ニアラスシテ、政務官ナリ。内閣員カ、君主ノ任命ニ依ルト、議院ノ政黨勢力ノ代表者ニ依リテ定マルトヨリシテ、君主内閣、政黨内閣ノ名ヲ生シ來ルモ、内閣員カ、嘗テ行政事務官タリシノ故ヲ以テ、之ヲ目シテ官僚

政治ト爲スノ必要モ、理由モコレ有ルヘカラス。

且英吉利ハ、政黨内閣、議院政治ノ國ナレトモ、其行政機關ハ、官僚主義ノ下ニ固結シ、佛蘭西ト、北米合衆國トハ、共ニ共和政治ヲ行フモ、其行政機關ノ組織ハ、全ク相異ナリテ、前者ハ官僚主義ヲ取り、後者ハ公開主義ヲ取レリ。而シテ其國家行政上ニ、官僚主義ヲ取ル處ニ於テモ、自治體行政機關ハ、公開主義ニ依ラサルナシト云フ有様ナルヲ以テ、官僚主義、非官僚主義ノ論争ハ、專ラ行政事務ニ就テ、之ヲ求ムヘク、國家ノ高等政務ニハ、全ク關係ナキモノト爲サ、ルヘカラス。嘗ニ之ノミナラス、政黨勢力發達スルニ伴フテ、政務官タルモノハ、主トシテ政治界ノ有力者ナルヲ以テ、其智識閱歷及ヒ其心力ヲ用フルトコロ、皆政治的ニシテ、行政上ノ専門的、智能ヲ全クスルヲ期スヘカラス。是レ英國行政部内ニ、官僚主義カ發達セル所以ニシテ、他ノ諸國亦遂ニ同様ノ歸嚮ヲ見ル、亦偶然ニアラサルナリ。彼北米

米國

合衆國ハ、本來非官僚主義ヲ取ルトコロニシテ、千八百二十九年大統領ジヤクソン spoils system ヲ取り、總テノ官吏ヲ交迭セシメテ、官廳ヲ以テ、大統領其政治上ノ隨從者ヲ容ル、ノ地ト爲シテ以來、相因リテ例ヲ成シタレトモ、遂ニ其弊ニ堪ヘサルモノアリ。千八百八十三年、官吏任用法ヲ制定シ、出來得ルタケ、行政事務ト政務トヲ分立セシムルヲ期シ、此ニ競争試験ニ依リテ、文官ヲ登用スルノ道ヲ開キタリ。同法ニ依レハ、大統領ノ指命ニ依リテ、試験委員ヲ組織シ、行政各部ニ屬スル志望者ヲ試験シ、其高點ヲ得タルモノヨリ、順次任用シ、此方法ニ依リテ任用セラレタルモノハ、黨派ノ事ト相關係スルコトナシ。今日米國行政官ノ地位三十一萬ヲ算ス、其一半ハ、則チ此任用法ニ依ルモノタリ。乃チ官吏タルニハ、特別ノ學問技能ヲ具フルヲ必要トシ、且政治的影響ノ外ニ立タシムルハ、公開主義ヨリ一步ヲ官僚主義ハ近ケルモノニ外ナラスシテ、亦以テ大勢ノ趨クトコロ

ヲ知ニ足ル。

第三 行政裁判

大凡財産ニ關スル訴訟ハ、司法裁判所之ヲ管轄スルヲ以テ通則ト爲ス。然ルニ此通則ノ例外ヲ成スモノ、一ハ、行政官廳ノ違法處分ニ依リ、權利ヲ傷害セラレタリトスル訴訟ニシテ行政裁判所ノ裁判ニ屬スルモノ、是レナリ。

行政訴訟ヲ、司法裁判所ノ管轄ニ屬セシメスシテ、コレカ爲メニ特殊ノ裁判權ヲ設クルト云フコトハ、佛蘭西革命時代ニ於テ、其端ヲ起シ、同國ニ發達シタル行政裁判制度ハ、漸次普魯西其他ノ大陸諸國ニ採用セラル、ニ至ル。行政官カ、一定ノ裁判事務ニ干與スルコト、若クハ官吏ヲ對手トスルノ訴訟ニ、特例ヲ設クルコト、ハ古時ニ於テ既ニ見ルトコロナレトモ、三

行政裁判
ノ由來

權分立ノ理想ニ基キ、行政司法ノ分割ヲ嚴ニシテ、相侵サシムヘカラスト爲スニ由リテ、行政裁判所ヲ設クルニ至レルハ、全ク佛蘭西大革命以後ノ事ニ屬ス。

國家ノ立法司法行政ヲ相獨立セシムルト云フ說ハモンテスキューカ英國ノ政治ニ鑑ミテ、其言ヲ立タルモノニ外ナラスシテ、佛蘭西革命以後ノ歐羅巴大陸諸國ノ政體ハ、一トシテ此學說ノ影響ヲ受ケサルモノナシト云フヲ妨ケスシテ、此行政裁判所ノ制度モ、亦其基クトコロ此ニ在リト雖モ此ニ甚タ奇トスヘキハ、其根本ノ英吉利ニハ、行政裁判所ナルモノ存在セサルコト是レナリ。

英國

英國ノ Common Law ハ、其包容スルトコロ極メテ廣ク、財産權ニ關スル法規ハ、一ニ之ニ由ルト云フヲ得ヘシ。而シテ其司法裁判所ハ、此普通法ニ依リテ裁判ヲ爲スヲ以テ、他國ノ行政訴訟ニ屬スルモノハ、皆此司法裁判所

米國

ニ提起シテ、其裁判ヲ受クルノ例ヲ成セリ。英國法系ニ屬スル北米合衆國亦同様ニテ、大凡財産權ニ關スル訴訟ハ、司法裁判所之ヲ管轄シ、其訴訟對手カ官吏タリ、公法人タルヲ問ハス、等シク尋常訴訟ノ形式及ヒ手續ニ依レリ。

佛國

然ルニ佛蘭西人ハ、三權分立ノ實ヲ擧ケント欲セハ、司法官ハ、行政事務ニ干與セス、行政官ハ、司法權ノ干渉ノ下ニ立タス、嚴ニ其分割ヲ設クヘシト爲シ、千七百九十一年、國民議會人權宣言司法官ニシテ行政官ト相混同スルトキハ、憲法ヲ紛更シ、行政權ノ行用ヲ妨クヘキコトヲ宣布シ、此ニ司法權ヨリ獨立シタル行政裁判所ヲ設クルニ至ル。而シテ其理由ヲ解スルモノハ則チ曰ク、司法官ハ、單純ナル法律ノ智識ヲ有スルノミニシテ、行政上ノ事務ニ適セス、又行政官ニシテ、常ニ司法官ノ監視管督ヲ受クルトキハ、其行務ヲ阻碍サル、ノ虞アリ、兩者共ニ其弊ニ堪ヘス、且尋常民事訴訟

ハ、個人ノ權利利益ヲ保護スルヲ旨トスニ對シテ、行政上ノ事ハ、公益ヲ專ラトシ、國家ノ必要ヲ充タシ、國民全局ノ利益ヲ回護スルニアリテ、其根本原則相同シカラス、故ニ此ニ獨立ノ行政裁判所ヲ設ケテ、行政上ノ智識經驗アルモノヲシテ其事ニ當ラシムルノ必要アリト。而シテ其實質ニ就テ之ヲ見ルニ、行政部司法部共ニ其便益ヲ享クルコト甚タ大ナルノミナラス、個人亦尋常司法裁判所ニテ得ヘカラサル救済ヲ得ルモノ甚タ多シト爲ス。畢竟モンテスキューノ英國制度ヲ見テ、三權分立ノ說ヲ成シ、佛蘭西人此三權分立說ニ基イテ、行政裁判所ヲ設立セル、共ニ郵書燕說ノ笑ヲ免レサルカ如キモノアリト雖モ、其成績ハ則チ甚タ稱スヘクシテ、此制度ノ世界ニ普及セル亦故ナシトセス。

英米二國
ノ行政訴訟

且英國ニ行政裁判所ナシト云フモ、其行政訴訟ノ性質ヲ處理スルノ道ハ則チ尋釋スヘキモノアリ。同國ノ Justice of the Peaceノ行務アリ、鐵道委員、

地方政廳、貿易廳、教育廳、農務廳等皆各々一定ノ行政訴訟ヲ審判シ。米國ニテモ、國際商業委員ナルモノハ、半ハ行政、半ハ司法ノ事務ヲ執リ、特許事務、年金事務、土地事務、移入民事務、租稅關稅事務等、各々一定ノ裁判權アリテ合衆國ノ行政訴訟ヲ擔當シ、各州亦教育、衛生、食物、鐵道等ノ爲メニ、特殊ノ行政裁判事務ヲ設定スルアリ、英米諸國ニ於ケル是等行政訴訟ハ、歐羅巴大陸諸國ノ形體甚タ具ハレルニ若カスト雖モ、其實務ヲ補益スル所以ノモノ亦甚タ大ナリ。

司法裁判所ト、行政裁判所ト、相對立スルトキハ、一定ノ訴訟カ、何レノ裁判所ニ屬スヘキカニ付キ疑問若クハ爭議ヲ生スルコトナキ能ハス。佛獨諸國、皆コレカ爲メニ、權限裁判所ノ設ケアリテ、其裁判管轄ヲ制定ス。裁判管轄ニ付キ、爭議ヲ提起スルモノハ、主トシテ行政部ナリ。行政部ニシテ、司法裁判所ニ起訴サレタル場合ニ於テ、其ヲ行政訴訟ニ屬スヘキモ

ノト認ムルトキハ、訴訟ノ進行ヲ中止シテ、權限裁判所ノ審判ヲ求メ、其決定ニ依テ、審判ヲ受クルヲ常トス。我國ニテハ、未タ權限裁判所アラスシテ、其爭議起リタルトキハ、樞密院之ヲ裁定ス。

第五章 司法

第一 司法機關ノ獨立

司法權ハ、法律上ノ訴訟ヲ裁判スルノ國家作用ニシテ、其性質ハ、極メテ單純ナレトモ、其ノ民生日用ノ事ニ干繫スルノ分量ハ、則チ極メテ多大ナリ。且其事、全ク立法及ヒ行政ト相關係スルコトナキヲ以テ、之ヲ他ノ國家作用ト相分立セシムルノ、利且便ナルコト甚タ明白ナリ。

古代、國家ノ規模小ニシテ、其政務簡ナルノ時ニアリテハ、司法事務ハ、他ノ政務ト混一シ之ヲ擔當スルモノ、亦分別ナシト雖モ、國家機關宏大ヲ加フルニ從テ、其ノ特殊ノ職司ヲ定メ、特殊ノ職司存スルニ依リテ、此ニ初メテ行政ト司法トノ分立ヲ見ル。乃チ事務ノ性質及ヒ分量ニ依リテ、此官制

司法事務
ノ發達

上ノ區別ヲ生スルコトハ、行政ト司法トヲ相獨立セシムルノ起緒ナリ。事務ノ性質及ヒ分量ニ基クトコロノ、行政司法ノ分立ハ、君主專制ノ國ニ於テ、之ヲ見ルノミナラス、保護國、殖民地等ニ於テ、コレ有ルヲ見ル。蓋シ文明國民、其保護國、殖民地ノ施政改善ヲ圖ルモノ、必ス先ツ行政司法ノ分立ヨリ始ムルニ、是レ由ルヘシ。

立憲政治

然ルニ、今日立憲國ノ通則トシテ、司法權ノ獨立ヲ尙フ所以ノモノハ、其理由亦別ニ存スルモノアリ。乃チ十八世紀以來ハ、歐羅巴諸國民、最モ個人ノ權利ヲ重シ、且古來ノ專制政治ノ弊竇ヲ一掃セント欲セハ、須ラク國家機關ノ分立ヲ確保スヘシト爲シ、此ニ各國ノ憲法上、司法權獨立ノ原則ヲ見サルモノナキニ至ル。憲法上ノ司法權ノ獨立トハ、何ソヤ、司法官、其訴訟事務ヲ決裁スルニ當リテ、行政部又ハ立法部ノ命令若クハ監督ヲ受ケサルノ謂ナリ。併ナカラ、是レ單ニ處務ノ分立ノミ、司法官其モノヲシテ、他

司法權ノ獨立

ノ威力ノ壓迫ヲ受クルコトナカラシメント欲セハ、其身分ノ保證ナカルヘカラス。司法官ハ、法律ニ定ムル所ノ資格ヲ有スルモノタルヲ要シ、其職ニ在ルヤ、刑事宣告又ハ懲戒處分ニ由ルニアラサレハ、其職ヲ免セラル、コトナシ。而シテ此最後ノ一要件タル、身分ノ保證力、最モ直接ニ司法官ノ意思ノ獨立ヲ保障スルモノアルヲ以テ、世間司法ノ獨立ト云ヘハ、則チ此一事ヲ指スモノト爲スカ如クナレトモ、豈獨リ是レノミナランヤ、其機關及ヒ處務ノ分立、並ニ司法官、任用規程等、皆其獨立ヲ保ツ所以ナラサルハナシ。

終身制

判事ヲ終身官ト爲スニ伴フテ、其退隱條件ヲ定ムヘキヲ云フモノアリ。判事ハ、刑事宣告又ハ懲戒處分ニ由ラサレハ、免官サル、コトナシ、只其年老ヒ、時勢ニ後ル、ヤ、其材能少壯者ト相同シキ能ハス、且老年高位ニ在ルモノ多キトキハ、少壯者取リテ進ムヘキノ地位ナシ、於是乎、懲戒法ニ、老耄

精神耗衰セルモノヲ罷ムルノ規程アルヲ利用シテ、是等老輩ヲ退クルノ方便ト爲スモノ、往々ニシテ是レアリ、是レ終身官制ニ伴フトコロノ一弊害ナリ。然リト雖モ、老者精神耗衰セリヤ否ヤ、事實甚タ疑ハシキ場合多キノミナラス、長ク公務ノ上ニ功勞アルモノニ對シテ、最後ノ侮辱ヲ與テ其職ヲ奪フハ、人情ノ忍フ能ハサルトコロナリ。故ニ法律ヲ以テ、一定ノ退隱年齡ヲ定メテ、老齡者ヲシテ當然其職ヲ退カシムルノ制度ヲ設クルモノナキニアラス。併ナカラ、其年限ナルモノ、亦大ニ考量ヲ要スルノミナラス、適當ナル除外例ヲ設ケサレハ、時ニ甚タシキ失態ヲ招クコトアリ。例ヘハ、米國紐育州ノ舊法、判事六十歳ヲ越テ其職ニ留マルヲ得サルノ規程アル爲メニ、當代ノ名判事ケンントヲ退ケ、識者ヲシテ法ノ弊一ニ此ニ至ルヲ歎カシタ、其他マーシャルタネーフィールド諸名判事、健剛猶ホ用ユヘキノ時ヲ以テ、其職ヲ退キ、英國ニテハ、マンズヒルド郷ノ職ヲ去リ

テ後、二十年間、剛健少者ヲ凌クノ狀アルヲ見テ、退隱年限限制ノ不可ヲ鳴ラヌモノ多シ。故ニ判事ノ終身官制度ヲシテ、其美ヲ全クセシメントヒハ、退隱年限ヲ設クルハ洵トニ已ヲ得サレトモ、其年限ハ餘リニ低カルヘカラス、且司法事務ハ、最モ老練熟達ノ人ニ待ツモノ多キヲ以テ、學識健康兼不備ハルノ人ノ爲メニハ、別ニ其任期ヲ長クスルノ道ヲ設ケテ、其名譽ト功業トヲ保タシムルヲ要ス、而シテ是レ亦司法權ノ健全ヲ保ツ所以ナリ。

第二 司法官ノ任用

司法權ノ獨立ヲ保タント欲ス、必スヤ司法官ノ任用ヲ慎マサルヘカラス。司法官ノ任用ヲ慎ム、他ナシ、其人ヲ取ルコト公平嚴正、其取ルトコロノ人亦智識材能德義最モ其地位ニ適フモノタルコトヲ要ス。

任用法

今日普ク行ハル、司法官任用法ハ、法律ヲ以テ其必要ナル資格ヲ定メ、其資格ヲ具備スルモノニ就テ政府之ヲ任用ス。其資格ノ主要ナルハ、法律ニ關スル智識ニシテ、一定ノ試験ニ依リテ之ヲ指定ス。

然ルニ今日ノ司法權獨立ノ制度カ、司法機關ヲシテ、行政部ト相獨立シ、相對抗セシムルノ思想ニ起因スルヤ、政府之ヲ任用スルノ制度ヲ排シテ、立法議會、又ハ公民ノ選舉ニ依リテ、其職ニ就カシムル處アリ。此立法部ヲシテ司法官ヲ選舉セシムルコトハ、嘗テ北米合衆國ニ於テ普ク行ハレ今日ニテモ、ロードアイランド、ヴェルモン、サウスヤロリナ、ヴァージニア、諸州ニ此制度アリ。瑞西ノ聯邦裁判所、判事ハ、其立法議會ノ選舉ニ依リテ其職ニ就ケリ。

又北米合衆國中、三十三州ハ、判事公選制度ヲ取り、墨其古ニテハ、復選舉制ニ依リテ、聯合高等法院判事ヲ選舉ス。

米國ノ制度

初メ米國ノ制度ハ、判事ハ過失ナキ限り長ク其職ニ在ルヲ許シタレトモ、十九世紀ニ入りテ後、漸次民主主義、政黨政畧發暢スルニ伴フテ、其任期ヲ定ムルニ至ル。蓋シ立法議會ノ選舉、若クハ公民公選、何レノ制度ヲ取ルニセヨ、既ニ選舉法ヲ用ユル上ハ、其任期ヲ限定スルコトハ、當然ノ論理ナリ。米國各州其在期區々ウエルモン、トハ二年、ペンシルヴァニアハ二十年、他ハ其中間ヲ取り、瑞西ハ六年、墨其古亦六年ヲ限ル。

併ナカラ、此選舉制度、亦甚ク議スヘキモノアリ。抑モ司法事務ハ、特殊ノ學問智識アルモノニアラサレハ、之ニ當ルニ堪フヘカラス、然ルニ選舉投票ニ依リテ、其人ヲ求ム、是レ豈其材ヲ舉クル所以ナランヤ。且政府ノ任命ヲ排シテ、選舉ニ依ルトイフ、其原クトコロハ、司法權ヲ行政權ニ對シテ獨立セシムルニアリトセハ、何故ニ立法權ニ對シテモ、同一ノ原則ヲ求メサルカ、司法官ニシテ立法部ノ選舉ニ依リテ其職ニ就キ、若干年ニシテ、其

選舉制ノ

任期盡キテ、改選ニ逢ハサルヘカラストセハ、司法權ハ、立法部ニ對シテ獨立セリト云フヘカラスシテ、司法權獨立ノ根本ハ、此ニ壞ルヘキナリ。其國民ノ公選ニ依ルモノハ、其名甚タ美ナリト雖モ、既ニ公選ヲ行フト云ヘハ、其選舉ハ立法部議員選舉ヲ行フモノト、同一ノ情形ノ下ニ行ハレサルヘカラスシテ、是レ亦立法司法二機關ヲ、同根ヨリ生セシムルモノタラサルヲ得ス。且今日ノ選舉カ、「カウカス」ノ手ニ依リテ行ハレ、「カウカス」ハ、「ボツス」ノ支配ヲ受ケ、「ボツス」ノ背後ニハ、何者カ伏在セサルヘカラスシテ、司法官ヲ舉制シ、及ヒ其腐敗ヲ促カスヘキ、諸多ノ原因皆此處ニ在リ。

夫レ司法權獨立ノ要ハ、其ヲシテ、行政及ヒ立法諸機關ノ外ニ獨立セシムルニアリ。其金力、威力、政治勢力ノ下ニ立タシムヘカラスサルハ固ヨリナリ且智識、材能、德義、兼不備ハルノ人ヲ得テ、畢生ノ心力ヲ其職務ニ致サシメサレハ、司法權獨立ノ實亦舉ルヘカラス、司法官任用法ノ得失ヲ別ツ所

以ノモノ、亦此ニ存セリ

第三 司法機關ノ權能

司法裁判所ノ權限ヲ、嚴格ニ解スルトキハ、民事刑事ノ訴訟ヲ裁判スル處ナリ其原クトコロハ、民事刑事ニ關スル、既存ノ法律ナリ其取ルトコハ、一定ノ事實ノ外ニ出テスシテ、司法官ノ能事ハ一定ノ事實ニ就テ、法律ヲ適用スルニ止ル。一定ノ事實ニ就テ、法律ヲ適用スルコトハ、行政官府ノ事務中ニモ、コレ有リ。行政官ニシテ、爭議ヲ裁判スル場合、亦寡カラス。又行政裁判制度存スル處ニアリテハ、同裁判所ノ管轄ニ屬スルコトハ、司法事件トハ爲サス、陸海軍刑法ニ依ルトコロノ裁判、亦其特別機關ノ管轄ニ屬ス。

司法裁判所ノ權限ハ、此ノ如ク限定セラレ、モ、猶ホ其權能ノ展開スルト

司法裁判

憲法違犯
ノ法律

コロ、多クノ疑問ヲ生シ來ルコトナキ能ハス、試ニ其一斑ヲ此ニ舉クヘシ。夫レ司法官ハ、一定ノ事實ニ就キ、法律ニ依リテ、裁判ヲ爲スト云フ。然ラハ、其法律カ、正シキヤ否ヤヲモ判断シ得ルヤ、換言セハ、法律ト憲法トヲ相對比シテ、其法律カ憲法ニ違犯スルモノナルトキハ、之ヲ排シテ、取ルコトナキヲ得ルヤ。是レ硬性憲法存在スル處ニ於テハ、自ラ起リ得ル問題ナリ。歐羅巴大陸ニテハ概ネ、法律ノ效力ハ、立法機關自ラ判断スヘクシテ他ノ機關ノ此ニ關係スルヲ許スヘカラスト爲ス。エスマンハ、正文憲法アリテ存スル處ニテハ、裁判所ハ、法律カ憲法ニ適合スルヤ否ヤヲ審判スルノ權限ナシト爲シ、ダイシー亦佛國ニテハ、大革命以後、事實的政府ノ立法權ニ重キヲ置キ、大凡國會ヲ通過シ、大統領之ヲ公布シ、Bulletin des loisニ發表セラレタルモノハ、總テ共和國裁判所ニ依リテ、有效ト認メラルヘキモノト爲セルヲ云ヘリ。併ナカラ、是等ノ通説ニ反スル事例、亦甚タ寡カ

佛國

瑞西

ラスシテ、千八百八十七年、獨逸帝國裁判所ハ、普魯西ノ所得稅法ハ、帝國憲法ニ違犯セルモノナルヲ以テ、無効ナリト判決シタルコトアリ。瑞西ノ「カントン」ウリー、シユワイツ、ウンテルハルデン亦其裁判所ニ許スニ、憲法違犯ノ法律ヲ排棄スルコトヲ以テシタルトモ、其聯邦憲法ハ、聯邦裁判所ハ、聯邦議會ニテ制定シタル法律ヲ實行スルヲ以テ、其任務ト爲スヘキコトヲ規定セルヲ以テ、前者ト相矛盾ス。

米國

北米合衆國ハ、其ノ英國殖民地タリシ日ニ於テ、既ニ、裁判官ハ、最高法律ニ抵觸スルトコロノ尋常法律ヲ排棄スルノ權能ヲ有スルモノト爲シ、獨立以後ニ及ヒテ、裁判所ハ、憲法違犯ノ法律ヲ無効ナリト判決スルノ權限ヲ有スルモノト爲シ、千七百八十年、ニウゼルシー高等裁判所カ、ホルムス對ワトソン事件ニテ、同州法律ノ適用ヲ拒ミ、其ヨリ六年後、ロードアイランド高等裁判所、亦トレウエツト對ウーデン事件ニテ、同一ノ判決ヲ爲シ、ノ

トスキヤロリナ、ヴァジニア諸裁判所、皆此例ニ依リ、遂ニ米國一流ノ法理ヲ確立スルニ至ル。千八百三年、合衆國高等法院カ、マルブリー對マデソン事件ニテ、合衆憲法違犯ノ理由ヲ以テ、米國國會ノ制定シタル法律ノ適用ヲ拒ミタルハ、最モ顯著ノ先例ニシテ、爾來近時ニ至ル間、高等裁判所カ、合衆國國會ニテ制定シタル法律ヲ、違憲ナリト判決シタルコト、二十有余、各州法ヲ排棄スルコト、二百以上ニ及ヒ、若シ各州裁判所カ、憲法違犯ノ名ノ下ニ、其州法ヲ排棄シタルモノヲ擧ケタラハ、數千ニ上ルヘシ。紐育州圖書館報告、各州高等裁判所カ、合衆憲法又ハ各州憲法違犯ノ下ニ、州法ノ無効ナルコトヲ判決スルコト、年々五十件乃至七十五件ニ及フコトヲ記載スルアリ。亦以テ、米國司法權ノ根本原則ノ存スルトコロヲ推スヘキナリ。抑モ米國民ノ此根本原則ヲ成スヤ、其由テ來ル久シキモノアリ、必スシモ合衆國憲法ノ文字又ハ其解釋ニ求ムルヲ要セスシテ、明白疑フヘカ

ラサルモノト爲シタルコトハ、千七百八十七年、八十八年、及ヒ八十九年ニ於ケル、ハミルトン其他ノ政治家法律家ノ言説ニ依リテ、知ルヲ得タリ、彼等ハ、之ヲ以テ、司法權カ立法權ヲ支配スルモノト爲サスシテ、國民ノ意思カ、國民ノ代表者タル國會ノ意思ニ打テ勝ツモノト解釋セリ。然レトモ米國ノ裁判所亦、甚タ法律ノ效力ヲ判決スルヲ慎ミ、各々其規程ヲ設クルアリ。乃チ全判事出席スルニアラサレハ、其議事ヲ開カス。又違憲問題カ、訴件ノ原因ヲ決定スルノ必要條件タルニアラサレハ、此ニ干繋セス、當事者ノ一方カ、自己直接ノ利益ナルニアラスシテ、憲法問題ヲ提起スルコトアルモ、必スシモ之ヲ審判セサルヘカラサルノ義務ナシ。其法律ノ違憲ナルコトヲ判決シタル場合ニアリテモ、必スシモ其法律全部ヲ無効ナラトスルニアラスシテ、其不可ナル部分ノミヲ、無効ナリトスルニ過キサズ。以テ他ノ部分ハ、之カ爲メニ何等ノ影響ヲモ受ケス。若シ其法律カ

明白ナル違憲ニアラスシテ、憲法違犯ナルヤ否ヤ、疑ハシキ場合ニハ、暫ク之ヲ違憲ニアラスト爲ス。而シテ法律ヲ違憲ナリト判決シタルトキハ、恰モ其法律カ、初メヨリ成立セサルモノト見做シテ、之ヲ處理ス。違憲ノ法律ニ基キタル契約ハ、實行スヘカラス。之ニ基キタル權利ハ、其成立ヲ認メラレズ。違憲ノ法律ニ違犯シタルモノハ、罰セス。又違憲ノ法律ニ基キタル權利ハ、裁判所之ヲ保護セサルナリ。

以上米國ノ主義ハ、羅典亞米利加ニ及ヒ、墨其古憲法第一百一條、アルゼンチン憲法第百條、第百一條、伯刺西爾憲法第五十九條、第六十條等、皆此趣旨ニ出ルモノナリ。此米國主義ハ、佛國主義ト正反對ニ出ルモノナレトモ、其佛國ニ於テスラ、大革命ノ際ニ、ヂュホンド、ヌムール、ロベスピエール等ハ、憲法違犯ノ法律ヲ無効トスルノ權能ヲ、裁判所ニ附與スヘキコトヲ主張シ、千八百九十四年三月十六日、代議院議員ナクエ、米國主義ヲ佛蘭

西ニ輸入スルノ必要ヲ説ケリ。又大不列顛國ハ、憲法ト法律トノ、形式的區別ナク、特ニ憲法ハ、立法部行政部間ノ約束タルノ性質ヲ有スルヲ以テ、司法裁判所ニ、法律ト憲法トヲ相對比シテ、其效力ヲ議スヘキ機會ナク、從テ佛國主義又ハ米國主義ニ關スル議論ヲ生スルコトナシ。併ナカラ、其殖民地タル、加奈陀、濠洲等ニテハ、成文憲法アル故ヲ以テ、專ラ米國主義ヲ取レリ。

佛國主義ト曰ヒ、米國主義ト曰フ、各々其理由アリ、其必要アリテ、行ハル。佛國人ハ、立法部ノ薄弱ナルヲ憂ヘテ、其制定スルトコロノ法律ニ就キ、司法部ノ批判ヲ許サス。米國人ハ、立法部ノ專横ヲ畏レ、司法部ヲシテ憲法擁護ノ事ニ當ラシム。共ニ其國情ニ基イテ、已ヲ得サルノ策ヲ取ルモノナリ、且裁判所ハ、一定ノ事實ニ對シテ、法律ヲ適用スルモノナリ、從テ其適用スヘキ法律ノ形式及ヒ内容ヲ、審査スルノ權能アルヤ論ナシ。而シテ

國家ノ制法ハ、常ニ改正廢止等ノ異動アルノミナラス、法律制定ノ前後其施行範圍ノ廣狹、一ナラス。法律ノ外ニ、命令アリ、慣習法アリ、裁判先例アリ、是等ヲ通シテ、相稽查シ、其取ルヘキモノヲ擇ハサルヘカラスシテ、此場合ニ於テ、其法律カ正當ニ成立シタリヤ否ヤヲ定ムルハ、司法官其判決ヲ下タスノ前提タリ。故ニ憲法トイフ、特殊ノ法式ヲ具フル根本法存在シ、尋常法律ハ、總テ憲法ノ規程ニ基イテ、成立スヘク憲法ノ條項ハ、尋常法律ヲ以テ變更スヘカラサルコト明白ナル處ニアリテハ、司法官、憲法違犯ノ法律ヲ排シテ、之ヲ適用セサルコトアルハ、其權利ニシテ、又其義務ナリ。但シ司法官權限ハ、一定ノ事實ニ對シテ、其法規ノ適用ヲ明カニスルニ止ムルヲ以テ、假令或法律ヲ憲法違犯ナルノ故ヲ以テ、之ヲ適用セサルコトアルモ、其一定ノ事實ニ就キテ、其法律ノ存在ヲ認メサルニ過キスシテ、法律其モノハ、之ニ依リテ、直チニ廢止又ハ變更セラル、コトナシ。何トナレ

司法的立法

ハ、司法裁判所ハ、一定訴訟事件ニ就テ、判決スルノ權限アリト雖モ、法律命令等ノ制定廢止修正ヲ爲シ、及ヒ之ヲ公布スルノ權能ヲ有セサレハナリ。然リト雖モ、一タヒ裁判所ニ於テ、憲法違犯ナリトシテ、之ヲ判決スルトキハ、其判決ハ、自ラ司法部ノ先例ヲ成シ、其法律ノ規定スルトコロノ事ニシテ、後日訴訟トナルトキハ、常ニ同一ノ判決ヲ見ルニ至ルヘクシテ、其法律ハ、則チ自ラ其效力ヲ失フノ結果トナラサルヘカラス。又司法官ハ、既存ノ法律ヲ適用スルノミナラス、法律ヲ解説シ、布衍シテ、事實ノ上ニ被及シ、一定ノ慣習ニ、法律ノ效力ヲ附與シテ、制法ト並ヒ立タシメ、及ヒ法律慣習ナキ場合ニ於テモ、猶ホ其訴訟ヲ判決セサルヘカラスシテ、是等ノ判決ハ、皆正當ニシテ有效ナリ。且其判決カ、先例ヲ成シテ、普ク遵守スヘキ規程トナルヲ以テ、其成績ヨリ云ハ、自ラ是レ一ノ立法作用ナリ。

立法行政司法ノ三者相分立シテ、互ニ相侵スコトナキハ、古來ノ定則ナリト雖モ、是レ單ニ各機關ノ大體ニ就テ之ヲ云フノミニシテ、行政機關ニ、多クノ立法作用アル如ク、司法機關亦國家ノ立法權ヲ相補翼スルトコロ多シ。往昔羅馬ノ司法官カ、十二銅表ノ法文ヲ解釋シ、布衍シテ、多クノ法規ヲ成シタルハ、法制史上、隱レモナキ事實ナリ。又英米諸國法律家、裁判官カ、制法ノ解釋、慣習ノ採用、衡平の判斷ニ依リテ、多クノ *Judge-made law* ヲ出シタルコトハ、何人モ善ク知ルトコロナリ。佛蘭西ハ三權分立ノ原則ニ執着スル處ナレトモ、其民法典ニテ、司法官カ、法律ニ明文ナキヲ理由トシテ、訴訟事件ノ判決ヲ拒ムヲ以テ、處罰スヘキ匪違トナシタルカ如キ、皆其由ル所ヲ知ルヲ得ヘク、羅馬法家ハ、此事ヲ解シテ、司法官ハ、立法者ノ將ニ立法セント欲スルトコロノ意思ヲ取リテ己レノ意思ト爲スヘキコトヲ説キ、近時獨逸法律家、ウインドシャイドハ、司法官ハ、立法者ノ表示セント

欲スルトコロノ意思ヲ思索シテ、之ヲ事實ノ上ニ明ニセサルヘカラスト爲ス。千九百七年十二月制定、千九百十二年一月一日施行、瑞西民法第一條第二項、法律ニ規定ナキ場合ニハ、司法官ハ慣習法ニ依リテ判決スヘク、慣習法ナキ場合ニハ、自己カ、立法者トシテ設定セント欲スル所ニ從テ、判決スヘシト云フ明文ヲ設ケタルハ、則チ是等ノ通則ヲ表示セルモノニ外ナラス。

古來政治學者、國家機關ヲ分類スルニ當リテ、最モ重キヲ立法部ニ置キ、之ニ次クニ、行政部ヲ以テシ、司法部ヲ以テ、他ノ二者ト相對立セシムルニハ、餘リニ小ナリト爲スモノ多シト雖モ、其事務ノ分量ハ、決シテ小ナラス、且其權能ヲ展開シテ、立法行政ト相輔翼スルコト、此ノ如キモノアリ、復タ其過小ヲ憂フルヲ須キス。

第四 裁判所ノ構成

國家ノ司法權ハ、裁判所之ヲ行フ、裁判所ノ構成ハ、憲法ニ於テ、之ヲ明示スルヲ今日ノ通則ト爲ス

司法權ノ
根源

司法裁判ハ、國家主權者ノ名ニ於テ之ヲ行フ、是レ司法權獨立ノ根本原則ナリ。大凡國家ノ統治權ハ、主權者アリテ之ヲ總攬ス、司法裁判ヲ、主權者ノ名ニ於テ行フト云フハ、他ノ機關、他ノ勢力ノ下ニ立タスト云フコトノ第一保證ナリ。主權者自ラ裁判ヲ行フコトナシ、併ナカラ、司法權ノ根源ハ、主權者ニアリ、大小高下、總テノ裁判所ノ判決ハ、此根源アルノ故ヲ以テ、國家ノ行爲タルヲ得ヘキナリ。

司法統一

司法裁判ノ事務ハ、其性質ハ錯綜、其分量尨大ヲ極ムルヲ以テ、國內ヲ多數ノ裁判區劃ニ分チ、大小裁判所、各々其管轄ヲ定メ、初級裁判所ノ判決ニ對

シテ、控訴ヲ許シ、控訴裁判ニ對シテ、上告スルヲ許ス、是レ其審判ヲ鄭重ニスルノミナラス、又司法ノ統一ヲ保ツ所以ナリ。

司法事務ノ統一ヲ保ツノ要ハ、全國ニ唯一ノ最高等裁判所アリテ、終局ノ判決ヲ爲スニアリ。是レ今日各國ニ、多數ノ地方裁判所アリ、其上ニ若干ノ控訴院アリ、之ヲ統フルニ、一ノ大審院ヲ以テスル所以ナリ。併ナカラ、是レ單ニ其理想ヲ表示スルモノニ過キスシテ、實際ハ、國民ノ情形ニ依リ、若クハ事件ノ輕重ニ從テ、必スシモ此例ニ依ラサルモノ甚タ多シ。則チ最下級裁判所ノ管轄ニ屬スル微小事件ハ、地方裁判所其控訴ヲ受理シ、地方裁判所ノ判決ニ對スル上告ハ、控訴院ノ管轄ニ屬スルヲ以テ、事實上、是等ノ訴訟事件ニ就テハ、數箇ノ終局判決アリ、從テ、是等終局判決、相矛盾スルコトモ、亦有リ得ヘシ。且伊太利ニテハ、五箇ノ最高等裁判所アリテ、各々終審ヲ行フヲ以テ、一國內ノ司法ノ中心ハ、五箇ニ分立スルノ奇觀アリ。

其他、英國ニテハ、其本國內ノ最高司法裁判ハ、上院之ヲ行ヒ、殖民地ノ上告ハ、樞密院之ヲ受理スルアリ。各國ノ制度、今日仍ホ司法統一ノ理想ニ適ハサルモノ甚タ多シ。

司法事務ノ行政事務ト甚タ相異ナルハ、其ノ會議制ヲ取ルコト、裁判所ヲ公開スルコト、ニアリ。司法ノ尙フトコロハ、公平嚴正、其審判ヲ誤ラサルニアリ。其審問判決ハ、何人ノ就テ、之ヲ知ルヲ禁セス、又其事件ノ重大ヲ加フルニ從テ、多クノ判事ヲシテ、議論審議シテ、善ク其義ヲ盡サシムルヲ期ス。

第六章 議會制度

第一 議會ノ性質

今日ノ文明國ハ、其ノ君主政體タルト、共和政體タルトヲ問ハス、皆議會ヲ設ケサルナシ。

議會ハ、國家ノ立法機關ナリ、國家ノ政務ヲ、立法司法行政ノ三ニ分チ、議會ハ即チ其立法部ヲ擔當ス。議會ニ、二院制ト一院制トアリ、今日ノ立憲國ハ、概ネ二院制ヲ取り、其ノ一院制ニ依ルモノハ、甚タ稀レナリ。議會ハ國民ノ公議ヲ代表スル處ニシテ、其ノ一院制ヲ取ルモノハ、専ラ公選ニ依リテ、議院ヲ組織シ、二院制ヲ取ル處ニテハ、其一院ハ必ス公選ニ依リ、他ノ一院ハ、必スシモ公選ニ依ラサレトモ、國民中一定ノ地位資格アルモノヲ以

立法機關

テ之ヲ組織シ、二院ヲ合シテ、一ノ立法機關ヲ成ス。大凡法律ハ、國民ノ意思ニ基テ成リ、國民ノ確信ニ依リテ行ハル、ヲ以テ、原則ト爲ス、是レ國家ノ立法機關ノ組織カ、此ノ如クナラサル可ラサル所以ナリ。

或ハ、議會カ公選ニ依リテ成立シ、合議ヲ以テ其任務ヲ行フヲ見テ、國家ノ高權、國民ニ在リト爲シ、若クハ國家ノ高權中ヨリ、立法ニ屬スルモノヲ割イテ、之ヲ議會ニ收ムルモノト爲スハ、誤レリ。今日ノ議會ナルモノハ、古代ノ小國家ニ於ケル民衆合議政治ト何等歴史の連絡アルニ非ラスシテ、全ク近代ニ於ケル、政務分立ノ思想ニ基テ發達シ來レルモノタリ。國家ハ單一不分割的完體ナリ、其高權ヲ分割シ、若クハ其分割セル各部ヲシテ、相對立シテ、各々獨立ノ高權ヲ享有セシムルト云フカ如キハ、國家ノ存立ト相容ル、ノ説ニアラス。只其ノ政務ハ、之ヲ分割シテ、一定ノ機關ヲシテ之ヲ擔當セシムヘシ。政務ノ三種ニ分類スヘキコトハ、古代、アリスト

高權ト議會

三權分立

トトル、シセロ、ポリビアス等ノ、夙トニ唱フルトコロナレトモ、其説ノ體ヲ具フルニ至レルハ、十四世紀以後ノ事ナリ。千三百七十七年パデユアノマルシグリヲ著書ハ、蓋シ政務分配論ノ矯矢ナリ。十六世紀ニ至リテ、ボードン、行政司法ノ分立セサルヘカラサルコトヲ主張シ、ジョン、ロツク立法、行政、及ヒ國際政務ノ分割セサルヘカラサルコトヲ詳論シ、千七百四十八年、モンテスキュー一書ヲ著ハシテ、英國政治ヲ基礎トシテ、立法行政司法ノ三政務、三國家機關ノ、分立セサルヘカラサルコトヲ解説シ、此ニ之ヲ集メテ大成スルヲ見ルヲ得タリ。モンテスキューハ、英國ノ政治カ、自然ノ發達ニ依リテ、其美ヲ濟セルヲ説キテ、他ノ國民ノ之ニ依違スヘキコトヲ懲慝ス。其言往々、郵書燕説ニ流ル、モノナキニ非スト雖モ、其推理ノ精妙ナルト、其所見ノ時勢ニ適ヘルトノ爲メニ、一世ヲ風靡シ、佛蘭西革命以來、爲政者多ク之ニ依リ、北米合衆國及ヒ大陸諸國、相率キテ之ヲ學フ

ニ至ル。今日世界立憲國ノ議會制度ナルモノハ、則チ彼ニ依リテ紹介セラレタル、英國制度ニ基クモノト云フヲ得ヘシ。

所謂三權分立、若クハ三權獨立ナル語ハ、甚タ誤解ヲ招キ易ク、之カ爲メニ數ハ政治家及ヒ學者ノ論争ヲ引起シタリ。蓋シ國家ノ高權ヲ、三箇ニ分チテ、互ニ相獨立シ、之ヲ統一スルモノナキカ如クハ、國務ハ、一日タリトモ其圓滿ナル進行ヲ保ツヘカラス。米國政治家マヂソン、三權ハ分立スルモ、必ス共同融和ヲ相圖ラサルヘカラサルコトヲ説キテ、痛切ヲ極メ、ジヨンスチユワルトミルエスマン等ハ、分立ノ危險ニシテ、且實益ナキコトヲ論シ、ダイシーハ、モンテスキューノ英國ノ政治ヲ誤解セルナキカヲ疑ヘル等、諸説紛々タリト雖モ、畢竟三權分立、若クハ獨立ト云フハ、單ニ政務ノ分配ヲ意味スルモノニシテ、國家ノ高權ヲ分割スルノ謂ニアラス。又國家機關ノ獨立トイフコトハ、毫モ相抗争シ、相侵掠スルノ義ニアラスシテ、

配事務ノ分

却テ相調和シ、共働共助ヲ要スルコトヲ示スモノナラサルヘカラス。

且國家ノ政務ヲ分チ、其機關ヲ異ニスルト云フモ、只大體ニ就テ、之ヲ擧クルモノニ外ナラスシテ、國家ノ兩院又ハ一院ニシテ、司法事務ニ干與スルコトアリ、議會ノ行務中ニ豫算決算其他、行政ノ性質ヲ帶フルモノ亦寡カラス。之ニ對シテ、行政官廳ニシテ、法規命令ヲ發シ、及ヒ一定ノ争訟ヲ裁決スルコトアリ。司法機關、亦時ニ立法的の行用ヲ示スコトアリ。其初ニ當リテ、職掌ニ依リテ、其機關ノ名目ヲ定メタルモノ、却テ、其機關ノ名目ニ依テ、其要務ニ、立法司法行政等ノ分別ヲ設クルノ轉倒ヲ見ルニ至ル。然リト雖モ、是レ皆政務上ノ便宜ニ依リテ、相推移スルモノニ外ナラスシテ、議會カ立法機關ナリト云フコトハ、其本來ノ性質ニ原イテ、之ヲ云フモノト知ルヘシ。

議會ノ權能ノ大小ハ、其國法ニ依リテ、相同カラス。其實力、亦時ニ依リテ

議會ノ權能

消長ナキ能ハス。英國ノ國會ハ、其權限甚タ廣キノミナラス、衆議院ニ過半數ヲ有スル政黨ハ進ミテ内閣ヲ組織シ、政治ノ實權常ニ國會ノ多數黨ニ在ルヲ以テ、同國ノ政治ヲ目シテ、議院政治ト爲ス。併ナカラ、英吉利ノ國家元首ハ皇帝ニシテ、統治權ハ君位ノ下ニ總攬シ、宣戰講和、外交上ノ交渉、軍事、軍政、文教等、總テ皇帝ノ親裁ヲ待タサルヘカラス。且衆議院ニ過半數ヲ占ムル政黨ハ、進ミテ内閣ヲ組織スルト云フ慣例ナレトモ、衆議院ニ過半數ヲ占ムルノ政黨、必スシモ貴族院ノ過半數ヲ有スルニアラス。又總選舉ヲ行フニ當リテハ内閣ト雖モ、大政黨ト雖モ、只國民ノ投票ニ依リテ、其窮達ヲ定メサルヲ得スシテ、政黨ノ大小強弱ハ、一ニ其制ヲ國民ニ受クルト云フヲ妨ケス。從テ英國ヲ議院政治若クハ政黨政治トイフハ、只一方面ノ見タリ。議院ハ如何ナル國ニ於テモ、國家ノ一機關ニシテ、國家其自身ニハアラサルナリ。就中、二院制度ヲ取ルノ國ニ於ケル一院ハ、

立法機關ノ一半タルニ止リ、一院ヲシテ政務ヲ總攬セシムルヲ許サス。之ニ反シテ、獨逸其他ノ議院ハ、一定ノ權限ノ外ニ、何事ヲモ爲スヲ得ス。議院ニ多數ヲ有スルモノ、必スシモ政權ヲ得ス。且一黨ヲ以テシテ議院ノ過半數ヲ占メ得サル處ニアリテハ、議院ノ勢力ハ極メテ狹小ナリ。乃チ其狹小ナルモノヲ見テ、直チニ議院ノ立法機關タル地位ヲ認メス、之ヲ目シテ、官府ノ補助機關ナリ、獨立ノ意思、獨立ノ存在ヲ有スルモノニアラスト爲スモノアレトモ、是レ亦誤レリ。今日ノ立憲政體ハ、獨立ノ存在ヲ保ツトコロノ立法機關ヲ具フルト云フコトヲ以テ、其原則ト爲シ、其公選制度ノ上ニ重ヲ置ク所以ノモノハ、一ニ國民ノ意思ヲ重スルニアリ。議院ニシテ獨立ノ意思ト存在トヲ有タサルカ如キハ、其國ノ立憲政體ハ、有名無實ナリ。議院ノ權能ト、其効力トハ、時ト場合トニ依リテ、消長アリト雖モ、其ノ強大ナルヲ見テ、議院政治ト爲スノ誤レルト等シク、其弱小ナル

ヲ見テ、議院ヲ無視スルモ亦誤レリ。議院ハ如何ナル國ニ於テモ、立法機關トシテ、獨立ノ意思ト、存在トヲ有タサルヘカラス。

第二 二院制度ト一院制度

今日立憲國ノ議會ニシテ、二院ヲ以テ組織スルモノト、一院ヲ以テ成立スルモノトアリ。議會ハ、一院ニテ、可ナルヤ、二院ナラサルヘカラサルカ、古來學者及ヒ政治家ノ議論喧シキトコロナレトモ、是等ノ取捨ハ、其利害得失ノ理論ノ外ニ、其國ノ歴史、及ヒ國情ノ指示スルトコロニ依リテ定リ、空論ヲ以テ之ヲ加減乘除スヘキニアラス。

夫レ議會ハ、國民ノ意思ヲ表示スルノ機關ナリ。國民通般ノ意思ヲ、直接ニ表示スルノ方法ハ、公選ヲ行フニアリト雖モ、公選ニ依リテ成立シタル議院、常ニ必スシモ國民ノ意思ヲ代表スルノ實アリト云フヘカラス。

國民代表

且意思ノ價值ハ、其投票ノ計數ノミヲ以テ、定ムル能ハサルモノアリ。是レ議會ノ一院ニ、公選ヲ行フニ際シテ、其選舉人ノ資格ニ、多少ノ制限ヲ設クルノミナラス、他ニ一院ヲ置キテ、特殊ノ財産、地位、智識、經驗アルモノ、意思ヲ此ニ集メ、公選ニ依ル議院ト相抱合シテ、以テ國民全體ノ意思ヲ化成スルノ機能ヲ全クセシムル所以ナリ。

國民ノ代表者ヲ集メテ、國務ヲ合議セシムルト云フ事ハ、全ク近代ノ事ニ屬ス。其初ニ當リテハ、只國民中ノ各階級ノ代表者ヲ會スルトイフニ止リテ、英國ニテハ、十三世紀ニ於テ、貴族僧侶及ヒ普通人民ノ代表者ヲ、一堂ニ會合セシメタリ。其ノ分レテ二院トナリタルハ、十四世紀ナリ。歐羅巴大陸諸國ハ、其起源甚タ後レ、其發達亦甚タ遅々タリ。中世歐羅巴諸市ノ政務ニ、貴族商業「ギルド」若クハ一二階級代表者カ參與シタルコトハ、歴史ノ示ストコロニシテ、後日ノ國民代表ノ爲メニ、其先驅ヲ爲スモノタリ。

國會ノ沿革

佛國ノ代議政治ハ、千三百二年ノ全國會ニ、貴族僧侶及ヒ市民ノ代表者ヲ出シタルニ始リ當初ハ、單純ナル諮問機關ナリシカ、後ニ、此三階級代表者ノ承諾ヲ得スンハ、租稅ヲ課スルコトナキノ制度ヲ成シタリ。日耳曼モ同様ノ歴史ヲ經過シ來レリ。之ヲ按スルニ、中世ニ於ケル社會ハ、著シク相異ナリタル各種ノ階級ヲ以テ成立シ、寺院ハ、貴族市民ト共ニ、政治上ノ一大原力タリ、而シテ是等各階級ノ代表者ヲ、一堂ニ會シテ合議セシムルヲ不便ナリトシテ、之ヲ二院ニ分チ、三院四院ニ分ツニ至ル。瑞典ニテハ、比較的ニ近キ時代マテ、四院制度ニ取リ居タリ。併ナカラ、三院、四院、亦實際上ノ不便尠カラスシテ、遂ニ一般國民ノ代表者ヲ一院ニ、他ノ諸階級代表者ヲ他院ニ集ムルコト、ナリテ、此ニ今日ノ二院制度ヲ見ル、是レ歐羅巴ニ於ケル議院歴史ノ概要ナリ。

而シテ此階級代表ノ思想ハ、今日ノ國民代表ノ思想ト相異ナルモノアリ。

代理ト代表

往時ノ議員ナルモノハ、其ヲ選出シタルモノ、代理人ニシテ、委任者ノ意思ヲ受ケテ、之ニ違フナキヲ期ス。然ルニ今日ノ立憲國ニ於ケル通則ハ、則チ之ニ異ナリテ、議會議員ハ、全國民ノ代表者ナリ、選舉區若クハ選舉人トハ何等ノ委任關係ヲ有セス。千七百九十一年、佛國憲法ニハ、代議士ハ或特定地方ノ代表者ニアラスシテ、全國民ノ代表者ナリ、從テ何人モ、之ニ對シテ、訓示ヲ爲スヲ得ストト云フ明文アリ。獨逸帝國憲法亦國會議員ハ、人民全體ノ代表者ナリ、何等要求、又ハ訓示ニ拘束セラル、コトナシト云フ明文アリ。今日ハ何レノ國ニテモ、此原則ニ依ラサルハナシ。尤モ聯合國家ノ一院ノ組織カ、各支分國ノ代表者ヲ集ムルニアルトキハ、其事較々異ナレリ、米國元老院ハ、各州ヨリ二人ツ、ノ議員ヲ選出スルモノタリ、獨逸聯邦參事會ハ、各邦ヨリ所定ノ代表者ヲ出スモノタリ、其存立ノ理由此ニ在リ、其地歩亦自ラ一般的議會議員ト、相同シキ能ハス。

二院制度ヲ設クルノ國ニ於テ、其一院ハ、常ニ必ス、一般國民ヨリ公選シタル議員ヲ以テ之ヲ組織シ、他ノ一院ハ、或ハ國中ノ特殊ノ階級ヲ代表シ、或ハ聯合國家ノ各支分國ヲ代表スル者ヲ以テ、之ヲ組織ス。間々一般國民ヨリ、之ヲ選出スルモノナキニアラサレトモ、自ラ特殊ノ智識、經驗、名望、資産アルモノヲ、此ニ集ムルノ精神ヲ有セサルハナシ。

二院制度ノ長所

二院制度ヲ設クルハ、主トシテ其國ノ歴史、若クハ其國家ノ組織狀態ニ原クモノニシテ、理論若クハ利害論ヨリ出テ來レルニアラサルヤ、前述ノ如シ、然レトモ、政治學者ハ、其ノ一院ニ優ル所以ヲ説テ、頗ル詳密ナリ。乃チ曰ク

一、一院制度ハ、議院專横放肆ニ流レ易ク、之ヲ防止スルハ、二院ヲ置テ、相欲制セシムルニ若クハ無シ。

二、一院制度ハ、議院ニ於ケル、一時的多數者ヲシテ、其事ヲ專ラニセシム

ルコトアリ。從テ野心家ノ權謀、多數黨ノ私情ヲ以テ、國務ヲ左右スルコトナキ能ハス。二院制度ハ、則チ此弊害ヲ除去スルコト得。

三、二院制度ハ、其議事ヲ鄭重ニシ得ヘシ。

四、二院制度ハ一院ニ、多數民衆ノ意思ヲ集メ、他院ニ、智識經驗資産名望アルモノヲ集メ、兩院相待チテ、國民ノ全體ヲ代表スルノ實ヲ全クス。

五、國家機關ノ調和ヲ圖ルハ二院ヲ便トス。

其他一々枚舉スレハ、際限ナシ、議會ハ、國民ノ全局ノ意思ヲ觀メス處ナリ。既ニ意思ト云フ、其事ハ、形而上ニ屬セリ。形而上事ハ、單ニ人間ノ頭數ニ就キ、器械的計算ヲ爲シテ、之ヲ定ムヘキニアラスシテ、其智識ノ程度、利害ノ關係等ヲ通シテ、相參酌シテ、善ク其衷ヲ折スヘキナリ。

一院論

尤モ、人間ハ平等ナリ、國民ハ一體ナリトイフ政治論ヨリ云ハ、議會ハ一院ヲ可トスヘキニ似タリ。佛國千七百九十一年九月三日憲法、千七百九

十三年六月二十四日憲法、共ニ一院制ヲ取リタルハ、此理論ニ基キタルモノタリ。然ルニ、一院制ハ、野心家、煽動家ノ爲メニ玩弄セラレ易ク、又實務ニ當リテ、其混雜言フヘカラサル爲メニ、佛國ノ共和人民モ、遂ニ其非ヲ悟リテ、千七百九十五年八月二十二日ノ憲法ニテ、元老院、五百人院ノ二院制ヲ取リ、千八百四十八年十一月四日革命憲法、再ヒ一院制ヲ取リタレトモ幾クモナクシテ、二院制ニ復シ、千八百七十一年二月十三日憲法ハ、一院制ナリシカ、千八百七十五年二月二十五日ノ法律ヲ以テ、二院制ト爲シ、以テ今日ニ至ル、又千八百十二年九月十九日西班牙憲法ハ、一院制ナリシモ幾クモナクシテ、二院制ニ改メタリ。

二院制度ハ、各院相異リタル分子ヲ以テ成立スルヲ常トシ、且其任期、選舉法等ヲ異ニシテ、以テ相對立セシム。上院議員ノ任期ハ、下院議員ヨリモ長キカ常ナリ。但華族其地位ヲ世襲スルモノ、又ハ終身議員ニハ、任期又

ハ選舉法ナキコト勿論ナリ。

今日一院制度ヲ取ルモノハ

アンドラ	コスタリカ	フルガリア
グアテマラ	希臘	ホンヂユラ
モンテネグロ	サルヴァドル	セルヴィア
サンドミンゴ		

等ナリ其他ハ皆二院制度ニシテ其概要ハ次ノ如シ。

佛蘭西	上院議員任期	九年	下院議員任期	四年
白耳義	同	八年	同	四年
丁抹	同	八年	同	三年
ルーマニア	同	八年	同	四年
アルゼンチン	同	九年	同	四年

伯利西爾	同	九年	同	三年
智利	同	六年	同	三年

英國上院議員ハ、多クハ世襲華族ナリ、普魯西、奧太利、伊太利ノ上院議員ハ終身制ナリ。

尤モ兩院其任期ヲ同クスルモノ、亦コレ無キニアラスシテ、ホリビヤハ兩院議員共ニ四年ヲ以テ任期ト爲シ、ハイチハ共ニ五年、墨其古ハ共ニ三年、パラグエイハ共ニ四年、ヅエネズエラハ共ニ四年ナリ。此外ニ特殊ノ例トスヘキハ、白露ナリ、同國ニテハ、上院議員ノ任期ハ、五年ニシテ、下院議員ノ任期ハ、六年ナリ。

兩院ノ權限

既ニ二院制度ヲ取ル、議院ノ兩院ノ行務ハ、必スシモ相同シキ能ハス。豫算及ヒ財政法ハ、前ニ衆議院ニ提出スルハ、即チ今日ノ立憲國ノ通則ナリ。上院亦條約若クハ司法事件ニ付テ、特殊ノ權限ヲ有スルノ例多シ。英國

ノ上院ハ、古來財政案ヲ修正スルノ權利ヲ有セス。過般更ニ其ノ權限ヲ縮小シテ、上院ハ財政案ニ對スル權限ヲ一層狹クシタルノミナラス、下院ヲ通過シタル一定ノ法案ニ就テハ、修正廢棄スルヲ得サルコト、ナレリ。乃チ千九百十一年八月十八日制定國會法ニ依ルニ、財政案ハ國會閉會ニ先ツコト一箇月以前ニ、上院ニ送附サル、トキハ、上院之ヲ可決スルコトナシト雖モ、國王ノ裁可ニ依リテ、法律トナルヘシ。財政以外ノ法律案モ三會期引續キ下院ヲ通過シタルトキハ、第三度目ノ否決ノ後、國王ノ裁可ニ依リテ、法律ト爲スコトヲ得。其三會期ハ、必スシモ同一國會繼續期中タルコトヲ要セス、只第一提出期ト、最終ノ決議トノ期間ハ少クモ滿二箇年タルコトヲ要ス。而シテ此國會法ニテ、千七百十五年制定七年法ヲ改メテ、衆議院ノ繼續最長期ヲ、五箇年ト爲シタリ。二院ノ利益アルハ論ナシト雖モ、其ノ相阻隔スルノ勢ヲ成ストキハ、別ニ之ヲ調和スルノ期ナカ

ルヘカラス、兩院協議會制度、若クハ兩院合同會議制度等ハ、皆此調和法ニ外ナラス。

我大日本帝國ノ議會制度ハ、明治二十二年制定帝國憲法ニ依リテ定リタリト云フト雖モ、我國家機關變遷ノ由來、亦尋繹スヘキモノアリ。明治元年、五事御誓文第一章廣ク會議ヲ興シ、萬機公論ニ決スヘキコトヲ公宣シ之ニ基テ、各種ノ合議體ヲ肇造ス。當時ノ公議所若クハ左院等ハ、專ラ各藩ノ代表者ヲ集メテ、其意見ヲ觀ル所タリ。明治八年、元老院ヲ設ケテ、立法ノ事ニ當ラシメ、大審院アリテ、司法ノ事ヲ統一ス、是レ我ニアリテ、立法司法行政ノ分立ノ形ヲ示スノ起端タリ。當時地方官會議ナルモノアリ、各府縣長官ヲ集メテ、意見ヲ求ム、其趣旨ハ、地方人民ヲ代表シテ、其意思ヲ表明セシムルニアリ。明治十一年、地方官會議ノ決議ヲ經テ、府縣會制度ヲ制定ス。地方官會議府縣會等ハ、其形體各々相異ルト雖モ、爲政者ノ趣

旨ハ、國民ノ意思ヲ取リテ、政務ニ參酌スルニアリ。而シテ元老院ハ、其名ノ示ス如ク、後日貴族院ノ爲メニ、先ツ其地歩ヲ占ムルモノタリ、我貴族院ニ華族及ヒ舊元老院議員、若クハ其ト同様ノ人物ヲ、見ルコト多カリシハ、畢竟此歴史上ノ成果ナリ。

第七章 選舉法

第一 代議制度ノ意義

此ニ題シテ選舉法ト云フ、主トシテ、衆議院議員選舉制度ノ要ヲ舉クルヲ旨トスルモ、選舉ノ原理ヲ述フル爲メ、若クハ各制度ヲ相比較スル爲メ、自ラ他ノ選舉制度ニ言及スルコトナキ能ハス。

議會ハ、立法機關ニシテ、國民ノ意思ヲ代表スルコトヲ以テ、其要件ト爲ス。既ニ代表ト云フ、國民直接ノ意思表示ニアラスシテ、間接ノ方法ヲ以テ、之ヲ表明ス。此國民意思表示ノ方法ナルモノ、即チ此ニ云フトコロノ選舉法ナリ。

古時、民衆政治ヲ行フ處ニ於テ、全市民、全民族、一處ニ會合シテ、公同事務ヲ

意思代表

議決スルモノニアリテハ、選舉法ナルモノハ、有リ得ヘカラス。又一一定ノ階級、若クハ集團ヨリ、委員若クハ代理人ヲ出シテ、其委任セラレタル使命ヲ果スト云フコトモ、此ニ云フトコロノ、間接代表法ト相一致セサルナリ。委員又ハ代理人ハ、委任者ノ意思ヲ齎ラスモノニシテ、其表示スル所ノモノハ、委員又ハ代理人ノ意思ニアラスシテ、其根本ノ或階級、或集團ノ意思ナリ。其事ハ直接ノ意思表示ニシテ、間接ノ代表ニアラス。然ルニ議會ノ議員ハ、則チ之ニ異ナリテ、選舉人ハ投票ヲ爲スコトニ依リテ、其意思表示ノ事ヲ終リ、當選者タル議員ハ、議員ノ資格ヲ得テ、議院ニ列スルニ依リテ、其任務ヲ始ム。議員ノ意思ハ獨立ナリ、選舉人ノ訓示委託ヲ受ケテ、其ノ意思ヲ取り次クモノニアラス。而シテ國家ハ此議員ノ意思ノ集結スルトコロヲ取りテ、之ヲ國民ノ意思ト爲ス、今日ノ代議制度ナルモノ、即チ是レナリ。

選舉ノ本旨

代議制度ハ、國民ノ意思ヲ觀ルヲ旨トスルモ、議會ハ、國民ノ意思ヲ直接ニ表示セスシテ、選舉トイフ方法ヲ用キテ、間接ニ之ヲ表示ス。議員ハ、獨立ノ意思ヲ以テ、議院ニ列シ、議會ハ、國家ノ立法機關トシテ、其事ニ從フ、於是乎、議會ノ意思ト國民通般ノ意思ト相乖離スルコトモ、亦有リ得ヘキノ事タリ。故ニ今日、各國ノ憲法ハ、公選ヲ以テ組織スル所ノ議院ニ、一定ノ繼續期間ヲ設ケテ、其議員ヲ一新スルノミナラス、繼續期間ニ、解散ヲ行フテ國民ヲシテ其直接意思表示ヲ爲スノ機會ヲ有セシム。且選舉法ノ要旨ハ、國民ノ意思ト其間接代表機關トノ一致ヲ求メ、最モ善ク國民ノ意思ヲ表示スルニ堪フルノ議院ヲ作り出スニアリ。

今日ノ代議制度カ、古時ノ國民意思表示ニ基クトコロノ會議制度ト、歴史上ノ連絡ナク、又其論理ヲ同クセサルコトハ、既ニ述フル所ノ如シ。併ナカラ、公選ヲ以テ組織スルトコロノ議院ナルモノハ、之ニ依リテ國民ノ意

代議制度ノ理由

思ヲ觀ルヲ旨トス、國民ノ意思ヲ觀ルヲ旨トシテ、而シテ猶ホ且故ラニ、間接表示ノ方法ヲ用ユルノ理由ハ、何ニアリヤ。曰ク、古時、一市一民族ヲ以テ、一ノ政治團體ヲ成スヤ、其土狹ク、其人寡ク、其事亦簡ナリ、故ニ公民ヲ擧ケテ、一處ニ會合セシムルハ、決シテ難キニアラス。然ルニ今日ノ國家ハ、其土廣ク、其人多クシテ、之ヲ一處ニ會シテ、其意思ヲ集結スルニ由ナシ。且國務多端ニシテ、合議スヘキコト極メテ滋繁ナルヲ以テ、常ニ全國民ヲ集メテ、之ヲ討議スルカ如キハ、到底行ハルヘキノ事ニアラス、是レ其代議制度ヲ取ル理由ノ一ナリ。又今日ノ議院ナルモノハ、議員合議シテ、其主權ヲ行フ處ニアラスシテ、議院ハ、國家ノ機關ナリ、其職掌ハ、國家ノ立法事務ナリ、其任務ハ、國家ノ爲メニ有用ナル勦ヲ爲スニアリ。從テ議員ノ數ノ餘リニ多キハ、其任務ヲ擧クル所以ニアラス、又議員ハ、國家ノ立法事務ニ當ルニ堪フルノ智識經驗及ヒ能力ヲ具フルニアラサレハ、其用ヲ爲サ

ス、是レ其代議制度ヲ取ル理由ノ二ナリ。
 故ニ代議制度、即チ選舉法ハ、一方ニ、最モ善ク國民ノ意思ヲ代表スル所ノ
 議院ヲ作り出スト同時ニ、他ノ一方ニ最モ善ク國家ノ立法事務ヲ擔當ス
 ルニ堪フルノ議員ヲ得ルコトヲ期スルヲ旨トス。此二者固ト相獨立シ
 テ其根本ノ理由ヲ同クセスシテ、時ニ相乖離スルコトナキヲ保セスト雖
 モ、之ヲ調和シテ、共ニ其行用ヲ全クスルコトヲ求ムルハ、則チ選舉法研究
 者ノ心ヲ用ユル所ニシテ、又各國爲政者ノ力ヲ致ス所タリ。乃チ選舉人
 被選舉人タルノ要件、選舉區ノ分配、投票方法ノ取捨、其他凡百ノ選舉法問
 題ハ、皆此二要件ヲ相對照シテ、其衷ヲ折スルヲ期スルモノナラサルハナ
 ク、以下序述スルトコロノモノ、亦其要ヲ舉クルニ外ナラス。

第二 國民ト議員

議員ト人

公選ニ依リテ組織スル所ノ議院ハ、善ク國民ノ意思ヲ代表スルノ人ヲ得
 ルヲ尙フ、從テ多數國民ヲシテ、各々其欲スル所ノ代表者ヲ選出セシムル
 ニハ、被選舉人、即チ議員ノ數ヲ多クセサルヘカラス、然リト雖モ、議院ヲシ
 テ、善ク其立法事務ヲ舉ケシムルニハ、議員ノ數ハ、餘リ多キヲ得ス。各國
 國會議員ノ定員、自ラ限リアリテ、必スシモ同一ノ比例ヲ保ツ能サルハ、則
 チ此二箇相矛盾セル要求ヲ取りテ、其衷ヲ折シタルノ結果タリ。近キ統
 計ニ依レハ、北米合衆國國會ハ、議員一人ニ對シテ、人口十九萬三千人。英
 吉利ハ議員一人ニ對シテ、人口六萬二千七百人。白耳義ハ、四萬人。伯刺
 西爾ハ、七萬人。墨其斯古ハ、四萬人。瑞西ハ、二萬人。佛蘭西ハ、十萬人。
 獨逸帝國ハ、十萬人。加奈陀ハ、二萬二千六百人ナリ。國法ノ議員ノ定員
 ヲ立ツルニ當リテヤ、固ヨリ地形、面積、人口、若クハ財産ノ分量ヲ基礎トシ
 テ、之ヲ算出スヘキヤ、論ヲ待タスト雖モ、議院ノ任務ヲ完タスルノ道ヲ求

ムルトキハ、其員數ノ甚タ寡キヲ得サルト、同時ニ又甚タ多キヲ得ス。且其國々ノ歴史ト、時情トニ依リテ、其制度ヲ定メサルヘカラスシテ、各國ヲ通スル一定ノ標準ナルモノハ存セス。嘗ニ之ノミナラス、制限選舉制度ヲ存スル處ニアリテハ、國民中、選舉權ヲ有スルモノハ、一定ノ資格ヲ有スルモノニ止リ、其他ハ投票ヲ爲サ、ルヲ以テ、一般人口ト、議員數トノ關係ハ、更ニ稀疎ナリ。

普通選舉
ト制限選

今日選舉制度ヲ談スルモノ、常ニ普通選舉制ト、制限選舉トヲ對證ス。國民ノ選舉權ヲ得ル爲メニ、一定ノ財産、一定ノ納稅額、若クハ地位職業アルヲ要スルモノヲ、制限選舉制ト爲シ、是等ノ制限ナキモノヲ、普通選舉ト爲ス。

英吉利ハ、代議制度ノ祖國ニシテ、其初ニ當リテハ、極端ナル制限選舉タリシカ、漸次其條件ヲ輕クシ、今日ニアリテハ、名ハ制限選舉制ナリト云フト

選舉權ノ
沿革

雖モ、其實ハ殆ト普通選舉制ナリ。而シテ英國ノ代議制度ニ學ヒタル諸國ハ、却テ早ク普通選舉制ヲ取り、今日ニテハ、歐米諸國ヲ通シテ、制限選舉制ヲ行フトコロナシト云フヲ妨ケス。然リト雖モ、其所謂普通選舉制ナルモノ、必スシモ無制限ナルニアラスシテ、年齢ニ制限アリ、又婦女、知覺精神ヲ喪失セル者、白痴、罪人ノ如キハ、選舉權ヲ有セス。獨逸、佛蘭西、伊太利等ニテハ、現役軍人ニ選舉權ヲ與ヘス。

普通選舉ノ說、其由テ來ル久シ、初メモンテスキュー總テノ人民ハ、自己ノ意思ヲ有セサルモノニ非ラサル限り、代議者ヲ選舉スヘキコトヲ唱ヒル一ツノ徒、之ニ和シ、十八世紀ニ於ケル政治哲學界ハ、此理論ニ風靡ス。乃チ以爲ラク、選舉權ハ、天賦ノ人權ニシテ、人類ハ自由平等ナリ、國民悉ク投票スルハ、國民ノ總意ヲ集結スルノ第一要件ナリト。然リト雖モ、佛蘭西革命ノ起端、國民議會ヲ組織スルニ當リテ、制限選舉制ヲ用キ、千七百九

十二年、選舉民非選舉民ノ區別ヲ廢止シ、租稅納附額ノ制限ヲ排シ、年齡ヲ二十一歳ト爲シタレトモ、猶ホ複選法ヲ用キ、千七百九十五年、再ヒ租稅ヲ納ムルコトヲ以テ、選舉資格ト爲シ、千八百年、初メテ廣汎ナル普通選舉制ヲ取リタレトモ、千八百十四年、更ニ年齡三十歳以上、納稅額三百フランヲ以テ、投票資格ト爲シ、千八百三十年ノ革命ニ至リテ、納稅額ヲ二百フランニ減シ、年齡ヲ二十五歳ニ下シ、千八百四十八年ニ至リテ、初メテ、公民年齡二十一歳ニ達スルトキハ、其財産ヲ問ハス、總テ選舉權ヲ有スルノ制度ヲ立テ、第三共和政治亦之ニ依ル。歐羅巴ニ於ケル普通選舉制ナルモノハ、則チ十八世紀ノ政治哲學者ノ議論ト、千八百四十八年流行の革命ニ依リテ示シタル實例トニ、其原ヲ求ムヘシ。然リト雖モ、投票ヲ爲スコトヲ以テ、人類天賦ノ人權ト爲シ、國民ノ總意ヲ以テ、政治ノ基礎ト爲スノ說ハ、一處ノ空想ニ過キスシテ、今日ノ政治學ハ、之ヲ認メス。且議會ハ、國家ノ機

關ニシテ、議員ヲ選舉スルコトハ、則チ國民カ、國家ノ爲メニ、其務ヲ致スモノタルコトハ、理論上、將タ實際上、爭フヘカラサル所タリ。國民選舉ヲ行フハ、國家ノ爲メニ、正當且善良ナル議員ヲ得ルニアリ。從テ選舉ヲ行フモノハ、無智無責任ナルヘカラス、無智ニシテ投票ヲ行フハ、無意味ナリ、無責任ノモノ、亦國家ノ爲メニ謀リテ、誠實ナル能ハス。野心家煽動者流、此ニ乘シテ、國家ヲ過ルコトナシトセス。是ヲ以テ、平生自由民主ノ說ヲ唱フルモノニシテ、猶ホ且此普通選舉制ヲ危フムモノ多シヨンスチユワートミル、レツキー、ヘンリー、メイン、シヂウイツク、エミール、ラヴレイブル、シチユリー諸學者、皆無智無責任者ノ投票ヲ不可ト爲シ、ミル、シヂウイツク等 weighted voting ノ說ヲ爲セリ。乃チ以爲ラク普通選舉制ノ弊ハ、智愚賢不肖等シク投票スルヲ以テ、愚不肖ノ爲メニ過マラル、ノ虞アリ、之ヲ匡正スルノ道ハ、智賢者ニ、重キ投票ヲ爲サシムヘシト。白耳義千八百九

差別投票

復選舉制

十三年選舉法、男子二十五歲以上ニシテ、少クトモ、一年間其地方ニ在ルモノハ、皆一票ヲ投スルヲ許シ、其外ニ、三十五歲以上ニシテ、五フラン以上ノ國稅ヲ納ムルモノニ一票、二十五歲以上ニシテ、土地價格少クモ二千フランヲ有スルモノニ一票、二十五歲以上ニシテ、中學若クハ高等學校ノ卒業證書ヲ有スルモノニ一票、相當ノ教育アリテ、公職又ハ自由職業ニ就クモノニ一票ヲ投スルヲ許シ、一人ニシテ、數箇ノ資格ヲ兼有スルモノ、ハ其資格ニ準シテ投票スルヲ得ルモ、一人ニシテ三票以上ヲ投スルヲ許サズ。

又北米合衆國及ヒ歐羅巴ニ於テ、復選制ヲ行フコト多シ、其第一次選舉ハ、普通選舉制ニ依リテ、選舉人ヲ選舉シ、斯クシテ選舉人ニ依リテ、其主一目的タル選舉投票ヲ行ハシム。復選制ノ趣旨ハ、多衆ヲシテ、直接ニ選舉ヲ行ハシムルヲ以テ、過誤ニ流ル、ノ虞アリト爲シ、少數ノ選舉人ヲシテ、其事ニ從ハシムルニアリ。

是等ハ皆、普通選舉ノ缺點ヲ蔽ハンカ爲メニ、案出セラレタルモノナリト雖モ、白耳義ノ附加投票制ノ如キハ、普通選舉制ノ根本思想タル、天賦人權自由平等ノ本義ト、相一致セサルヤ明白ナリ。而シテ、既ニ智識財產ニ依リテ、其投票權ヲ異ニスルト云フハ、智識財產ナキモノニ、投票ヲ許サル、ノ論理的ナルニ若カス。且其所謂投票ノ實質的價值ヲ分チ、其種目、投票數ヲ分配スルノ基準ハ、何處ニアリヤ、是レ此制度ハ、強テ巧緻ヲ求メテ、却テ其要ヲ失ヘリト云フ非難アル所以ナリ。

又復選制即チ間接選舉制度ナルモノハ、專ラ普通選舉ノ弊ヲ矯ムル爲メニ行ハレ、佛蘭西カ、早ク選舉權ヲ擴張シタルタケ、此制度ヲ用ユル亦甚タ早ク、今日ニテモ、元老院議院選舉ハ、此投票法ニ依リ、普魯西國會議員、亦三級選舉復選法ヲ用キ、北米合衆國大統領副統領選舉、亦間接選舉制度ナレトモ、此制度ニ依ルトキハ、第一次選舉人ハ、自ラ其選舉權ヲ直接ニ行フ

能ハサルヲ以テ、投票ニ就テ、其注意ト熱心トヲ缺キ、第二次選舉人ハ、一時偶然、其事ニ當ルニ過キサルヲ以テ、責任ノ觀念ヲ缺クヘク、其選舉人ノ少數ナルヤ、誘導請託、賂賄、威壓、亦甚ク行ハレ易シ。且北米合衆國ノ如ク、政黨ノ組織機關、發達シタル處ニテハ、各政黨ハ此煩雜ナル手續ニ委頼セスシテ、自ラ其爲サント欲スル所ヲ爲シ、常ニ其國法上ノ選舉ヲシテ有名無實ナラシム。

而シテ普通選舉制ニ伴フテ起リ來ルモノハ、婦女選舉權問題ナリ。佛蘭西革命ノ際、婦女ニ選舉權ヲ與フヘキコトノ請願ヲ、國民議會ニ提出スルモノアリ、當時コンドルセ等ハ、熱心ニ之ヲ贊成シタリ。蓋シ、人類ハ自由平等ニシテ、選舉權ハ天賦ノ人權ナリトセハ、婦女ニ之ヲ拒ムノ理由ナキナリ。其後英國ニテハ、ベンザム、トーマス、ヘア、シデウイツク、ミル、佛國ニテハラブーレー等アリテ、切ニ選舉權ヲ婦女ニ擴張スヘキコトヲ唱ヒ、濠

婦女選舉權問題

洲聯邦ニテハ、夙トニ婦女ニ選舉權ヲ許シ、タスマニア、ニウゼー、ランド亦相同シク、諾威、芬蘭ニテハ、國會及ヒ地方議會議員選舉ニ就テ男女ノ區別ナク、管ニ之ノミナラス、芬蘭ハ、婦女ハ議員タルヲ得ヘク、千九百七年ノ芬蘭國會ニ婦女議員十九名當選シタリ。北米合衆國內、コロラド、イダホ、ユータ、ワイオミングハ、男女同等ノ選舉權ヲ有シ、他ノ諸州ハ、婦女ニ學區選舉權ヲ與ヒ、或ハ地方議會議員選舉權ヲ與フルモノアリテ、其事例紛々タルノミナラス、今日猶ホ、可否ノ議論囂々タリ。之ヲ是トスルモノハ、婦女ハ法律ノ保護ヲ要スルノ甚ク多ク、其民事上ノ地位、亦漸ク男子ト相同シキヲ以テ、選舉權ヲ許スヘシト爲シ之ヲ非トスルモノハ、婦女政治社會ニ加入スルトキハ、其家政上ノ義務ヲ全クスル能ハス、其體質、性情、政事ニ通セス、又政治ハ其ノ好ムトコロニアラスト云フニアリテ、ブルンチユリー、エスマン、ラヴレイ等ハ、婦女ニ、選舉權ヲ與フヘカラスト主張シ。ダイシ

ハ、初メハ、婦女ニ選舉權ヲ與フヘシト主張シ、後ニハ、之ヲ否トシテ、其ノ不可ヲ説クトイフ有様ニテ、其是非ノ説ハ、畢竟水掛論ヲ闘ハスニ過キス。

然リト雖モ、是等ノ諸説ノ當否ヲ知ラント欲セハ、必スヤ此ニ暫ク其源ニ遡ホリテ、普通選舉ノ原理ヲ尋ネサルヘカラス、若シ人類ハ平等ナリ、國家ハ國民ノ總意ニ依リテ存在スルト云フコトニシテ、眞ナラシメハ、男女老幼ヲ問ハス、總テニ就テ、一人一票制度ヲ、無條件ニ實行セサルヘカラス。極端ニ之ヲ云ハ、代議制度ナルモノハ、既ニ不可ナリ、國民直接ニ國政ニ參加シ、國民ノ總會議、若クハ「レプアレンダム」ヲ行フノ外アルヘカラス。且多數黨ヲ以テ、少數黨ヲ壓スルト云フコトモ、人類平等ノ原則ニ反シ、國民總意トイフ事體ニ反スヘキナリ。併ナカラ、是等ハ總テ空想ナリ、非論理的ナリ、非事實的ナリ、是等ノ理想ヲ實現スヘキ形體ナク、亦之ヲ實行ス

選舉ノ原理

ヘキ方法ナシ。且今日制限選舉ト云ヒ、普通選舉ト云フモ、皆程度ノ問題ニシテ、全國民ヲシテ、一人一票ヲ投セシムルコトハ、天下絶無ナリ。乃チ所謂普通選舉ナルモノモ、人口ノ一半ヲ占ムルトコロノ婦女ニハ、選舉權ヲ與ヘス、男子トテモ、年齢、精神狀態、職業、地位等ニ依リテ、投票ヲ許サレサルモノ甚タ多ク、其投票ヲ爲シ得ルモノモ、附加投票制、又ハ間接選舉制ヲ行フトキハ、普通選舉ノ精神ハ、此ニ亡フ。畢竟普通選舉制ナルモノハ、十八世紀ノ空論ト、佛蘭西革命、及ヒ千八百四十八年頃ノ革命騒動ノ爲ニ化成セラレタル、偶然ノ産物ニシテ、其自身何等ノ眞理ヲモ含マズ、又甚タ實行的ナラサルナリ。只選舉權ヲ行フト云フコトハ、當人ニ取リテハ、一ノ能力ナリ、一ノ利益ナリ、一タヒ之ヲ許ストキハ、復タ奪フヘカラス、今日歐米ヲ通シテ、普通選舉制ヲ以テ一統スルモノハ、決シテ理論ニ基クニアラスシテ、勢ニ依ツテ、其形ヲ成スモノナリ。其弊既ニ成ル、政治家ノ力ヲ以

テシテ、之ニ逆フ能ハス、乃チ專ラ其弊ヲ防ク爲メニ、心力ヲ勞スルト云フノミ。今日英佛諸國、婦女選舉權問題ニ苦ムモ、是亦普通選舉ヲ行ヘルヨリ生スル、自然ノ結果タリ。若シ其代議政治、選舉制度ノ本質ヲ云ハ、固ト是レ國家ノ爲メニ、有用且有効ナル立法機關ヲ設クルト云フヲ旨トス。投票ハ、智識アリ、責任ヲ重スルノ人民ヲシテ之ヲ行ハシムヘキノミ。選舉人タルモノニ、資格ノ制限ヲ設クルハ、其當然ノ事ナリ。但其制限ナルモノハ、其國情ト政治トニ依リテ、其宜ヲ制スヘク、其國民ノ歴史、亦之ヲ定ムルノ一大基準タリ。只國民教育ノ普及ニ依リテ、智識アルモノ増加シ、間接税ノ徵收多キニ從テ、直接國税ノミヲ以テ、納稅資格ヲ定ムヘカラサルノ理由ヲ生シ來ルヘク、政治上、經濟上ノ事物發達スルニ伴フテ、一般國民ノ利害關係、益々國家ト切實ナルニ至ルヲ以テ、選舉權ヲ漸次擴張スルト云フコトモ、亦自然ノ數ナリト謂ハサルヘカラス。

且社會事物ノ進歩ニ伴ステ、政治界ノ事漸ク複雑ヲ加フ、議員選舉ハ重大ナリト雖モ、之ヲ外ニシテ、重大ナルモノアリ、又投票行爲以外ニ於テ議院ヲ左右スヘキ方法手段ナキニアラス。乃チ議院以外ニ政黨ナルモノアリテ、其力ハ善ク政治界ヲ左右スルニ足リ、政黨ヲ界圍シテ、輿論ナルモノアリテ、善ク政黨ヲ動かスヲ得ヘク、選舉權ヲ有セサルモノニシテ、被選舉人トナリテ、議院ニ列スルヲ得、議員タラスト雖、其言語文章ヲ以テ、政黨ト輿論トヲ指摩スルヲ得ルヲ以テ、選舉權ノミヲ眼中ニ置キテ、民政ノ消長ヲ説クハ、甚タ不通ノ論ナリ。

第三 黨派勢力ノ代表

大凡選舉ハ、一國內ヲ數箇ノ選舉區ニ分チ、各選舉相獨立シテ、選舉投票ヲ行フモノタリ。若シ單純ナル理論ヲ以テセハ、議員ハ全國民ヲ代表スル

モノナリ、地方區劃ヲ設クルノ必要ナシ。又選舉人ヲシテ、其最モ欲スル所ノ候補者ヲ選舉スルノ自由ヲ揮權セシメントセハ、普ク全國ニ通シテ其擇フトコロニ任カスニ若カス。併ナカラ、選舉ハ、國家ノ立法機關ノ爲メニ、適當ナル人ヲ得ルニアリ。選舉人ハ、最モ善ク候補者ヲ知り、候補者亦選舉人ト相親熟スル所ナカルヘカラス。且全國同時ニ投票シ、其選舉ノ事務ハ、適正且確實ニ行ハレサルヘカラス、乃チ選舉區ヲ設クルト云フコトハ、政治上ノ主義、又ハ理論ニ基クニアラスシテ、一ニ選舉ノ實務上ノ必要ヨリ、出テ來ルモノト云フヲ得ヘシ。

然ルニ此選舉區ノ區劃分配及ヒ其投票方法ノ政治上ノ體貌ヲ形クルニ就テ、重要ナル關係ヲ有チ、最モ政黨勢力ノ消長ニ影響スルコト極メテ大ナルモノアリ。

選舉區ノ區劃法ヲ分チテ、二ト爲ス。其一ハ、議員一人ヲ選出スヘキ區域

選舉區

小選舉區
ト大選舉區

ヲ限リテ、一選舉區ト爲シ、各選舉人ヲシテ、一人ノ候補者ニ對シテ投票セシムルモノ、是レナリ。其二ハ、數人ノ議員ヲ選出スヘキ區域ヲ以テ、一選舉區ト爲シ、各選舉人ヲシテ、數名ノ候補者ニ就テ投票セシムルモノ、是ナリ。前者ハ極メテ單純ナリ、多數黨ハ、多クノ投票ヲ得テ勝チ、少數黨ハ、投票寡クシテ敗ルヘシ。只各黨派ノ地方的分配状態ニ依リテ、其當選者ノ多寡ヲ生シ、選舉ノ結果ハ、往々ニシテ黨派ノ實勢ト相一致セサルコトアリ。然ルニ、後者ハ其投票方法如何ニ依リテハ、少數黨ノ代表者ヲ出シ、若クハ大小黨、各々其勢力ニ比例スルノ當選者ヲ出シ得ルノ望アリ。

英國ハ、古來一區一人制ヲ取ル處ニシテ、只千八百六十七年ヨリ千八百八十五年ニ至ル間ニ、若干自治市區ニ於テ一區數名選舉制ヲ取リタルノミ佛蘭西ニテハ、初メ一區一人制 scrutin d'arrondissement ヲ取リシカ、千八百八十五年、一區數名制 scrutin de liste ヲ用キ、千八百八十九年ニ至リテ、再ヒ舊制

ニ復シタリ。伊太利ノ選舉法ハ數ハ變更シタレトモ、千八百九十一年以來、一區數名制ヲ取り、濠洲ノ上院議員選舉亦同シ。其他比例代表制ヲ行フ處ハ皆此大選舉區制ニシテ、白耳義、丁抹、玖瑪、諾威、葡萄牙、瑞典、西班牙等ニ於テ、比々其例ヲ見ル。

選舉ハ、投票ヲ以テ之ヲ行フ、一選舉區ニ幾多ノ候補者アリト雖、多クノ投票ヲ得タルモノ、其選ニ當ルヲ以テ、多數黨ハ、其黨ノ實力以上ノ當選者ヲ出スコトハ、有リ得ヘキ事ナリ。北米合衆國ニテハ、千九百四年ノ大統領選舉ニ於テ、共和黨ハ、全國投票ノ五十四パーセントヲ占メ得タルニ過キサレトモ、同黨ノ議員ハ、國會ノ議席ノ六十五パーセントヲ占メ、千九百六年オレゴン州會議員選舉ニ於テ、共和黨ハ、投票總數ノ五十五パーセントヲ有スルニ拘ハラヌ、議員八十八人ヲ選出シ、合衆黨ハ、投票總數ノ三十四パーセントヲ有シツ、僅カニ議員七人ヲ選出シ得タリ。又佛蘭西代議

士シアヤル、ベノアノ調査スル所ヲ以テスレハ、千九百五年、政教分離法決議ニ際シ、其三百四十一人ノ議員ハ、選舉人總數一千九十六萬七千人中、二百六十四萬七千三百十五票ヲ得タルモノニ過キスト爲シ、佛國立法機關ハ、國民ノ意思ヲ代表スルモノニアラサルコトヲ切論ス。其他今日ノ選舉投票制度ノ不備ヲ論スルモノ、一々枚舉ニ勝フヘカラス、所謂少數代表法、比例代表法ノ如キハ、皆此弊ヲ除去ラント欲スルモノニ外ナラス。

制限投票

一 制限投票法 一選舉區ヨリ、數名ノ議員ヲ選出スル場合ニ於テ、選舉人ノ投票ヲ制限スルコトアリ。例ヘハ、一選舉區ヨリ三名ノ議員ヲ選出スル場合ニ於テ、選舉人ハ二名ヲ聯記シ投票スルコトヲ許ス、此方法ヲ用ユルトキハ、自ラ少數黨ヨリ代表者ヲ出シ得ルノ機會ヲ多クスヘシ。英國ニテ千八百六十七年以後、一部選舉區ニ應用シタルハ、此投票法ナリ。千八百七十三年ヨリ八十二年ニ至ル間、米國紐育市ニテ市參事會員選舉

ニ、此方法ヲ用キ、伊太利ニテハ千八百八十三年ヨリ千八百九十一年ニ至ル間、代議院議員選舉ニ、此方法ヲ用キタリ、西班牙、葡萄牙、伯刺西爾等モ亦大選舉區ニ就テ、此方法ヲ取ルヲ見ル。但此方法ハ、少數黨ニ、議員ヲ選出シ得ル機會ヲ與フルト云フニ止リテ、其黨派ノ大小ニ比例スル所ノ代表者ヲ出スコトヲ保スル罷ハス。且大小二黨ニアラスシテ、其外ニ、第三黨第四黨アル處ニ於テハ、此投票方法ノ妙用ヲ見ル能ハス。

集積投票

二 集積投票法 一 選舉區ヨリ、數名ノ議員ヲ選出スル場合ニ於テ、各選舉人ハ、其議員ノ定員ニ相當スルタケノ投票權ヲ有スルモ、數名ノ候補者ヲ聯記シテ、投票スルモ、將タ又一名ノ候補者ニ、數票ヲ投票スルモ、選舉人ノ自由ナリ。此方法ニ依ルトキハ、少數黨ハ、其投票ヲ一人ノ上ニ集積シテ、其候補者ヲ當選セシムルヲ得ヘシ。併ナカラ、此方法ノ缺點ハ、其投票ヲ、必要以上ニ集積シテ、其選舉權ヲ空費スルコトニアリ。又黨派ノ機械的

選擇投票

作用、巧緻ヲ極ムルニアラサレハ、意外ノ失誤ヲ招クコトアリ。且此方法ヲ以テスルモ、少數黨ヲシテ、代表者ヲ出タサシムルト云フニ止リテ、黨派ノ勢力ニ伴フノ代表者ヲ出スヲ望ムヘカラス。此集積投票法ハ、今日喜望峰殖民地ニテ、立法委員選舉ニ之ヲ用キ、米國イリノイス州代議院議員選舉法、亦之ニ依ル、米國ニテハ、私設會社ノ重役選舉ニ、英國ニテハ、學區委員選舉ニ此方法ヲ用ユルコトアリテ。普ク少數者ノ代表者ヲ出スヲ得ルモ、各黨派其投票計算ヲ誤リ、競争經畫ヲ過ルトキハ、少數者カ、多クノ代表者ヲ出シ、多數者、却テ敗ヲ取ルコトナキ能ハス。

三 選擇投票法 此投票法ハ、選舉人、議員定數ニ對シテ、聯記投票ヲ爲スニ當リテ、自ラ擇ヒテ、候補者ノ順位ヲ定メ、第一位候補者ノ得票、當選點ニ達スルトキハ、其投票ヲ第二位候補者ニ加算セシメ、第二位以下、順次此計算法ニ依ルモノニシテ、投票ヲ無益ニスルコトナク、各黨派、皆其投票數ニ

相當スルトコロノ當選者ヲ出スヲ得ヘシ。此方法ヲ發明シタルハ、英人ヘアニシテ、之ヲ丁抹ニ實施シタルハ、アンドラナルヲ以テ、ヘア式又ハアシンドラ式ノ名アリ。ミル、ラボツク、ゴートネー、レツキー等諸學者甚ク之ヲ稱揚ス。丁抹ニテ、初メテ之ヲ採用シタルハ、千八百五十五年ニシテ、千九百一年ノ選舉法ニテ、之ヲ改正シタルトモ、其主義ハ則チ變セス。芬蘭ノ國會議員選舉法、愛蘭ノ地方參事會員選舉法、モラヴィアノ地方議會議員選舉法、タスマニア議員選舉法、亦之ニ依ル。然ルニ此投票法ハ、其選舉事務ノ混雜、其投票計算ノ煩瑣、名狀スヘカラス。大選區ノ選舉人極メテ多キ處ニテハ、其不便最モ甚クシカルヘク、其方法巧緻ナルタケ、所在政黨ノ機械的作用及ヒ當面ノ掛引ニ依リテ、其得喪ヲ決セサルヘカラサルノ情アリ。

自由名簿

四 自由名簿投票法 此投票法ハ、其趣向ハ前者ト相似タリト雖モ、最モ

重ク政黨ニ置キ、投票ノ計算、及ヒ當選者ノ指定ヲ政黨事務所ニ委スルモノナリ。乃チ選舉ニ際シテ、各黨派自ラ、其候補者名簿ヲ作りテ、之ヲ選舉人ニ示シ、選舉人ハ、己ノ屬スル所ノ黨派ノ候補名簿ニ就テ、己ノ欲スル候補者ニ投票ス。而シテ各黨派ハ、各々其得タル投票ノ總數ヲ、議員ノ定員數ヲ以テ之ヲ除シ、當選點以上ノ得票アルモノヲ指シテ、當選者ト爲ス。是レ白耳義人ビクトル、ドントノ考案ニ出ルモノニシテ、之ヲドント式ト名ク。ドント式計算ノ根據ハ各黨派ノ得票總數ヲ一ヲ以テ除シ、二ヲ以テ除シ、三ヲ以テ除シ、其商數降リテ、最低限、即チ當選點ニ及ヒテ己ム。此算術上ノ等級ト各候補者ノ得票トヲ相對照シテ、得點最モ多キモノヨリ、順次歴指シテ、議員定數タケヲ、當選者ト爲スニアリ。只ドントノ意見ハ全國ヲ一選舉區ト爲シ、且極メテ發達シタル政黨アリテ、全國民皆其何レカ黨ノ派ニ分屬スルト云フヲ前提トスルヲ以テ、彼ノ理想トスル所ノ

投票法ハ、未タ之ヲ實施スルモノアラサレトモ、其計算法ヲ取ルモノハ、則チコレ有リ。千九百八年、玖瑪ノ國會議員選舉法、地方參事會員選舉法、千九百七年、ウユルテムベルヒ國會議員選舉法、地方參事會選舉法、之ニ依リ瑞西ノ「カントン」、米國ノ一部地方ノ選舉法ニ於テモ亦コレアルヲ見ル。以上第一、第二投票法ハ、所謂少數代表法、第三、第四ハ、所謂比例代表法ヲ意味スルモノニシテ、近時立憲國ヲ通シテ、其是非ノ論甚タ喧シキ所ノモノタリ。就中、比例代表論ハ、近頃ノ提案ナルヲ以テ、最近十年十五年間、調査研究ヲ爲スモノ、極メテ多ク、各々其巧緻ヲ競フテ、及ハサルヲ畏ル、ト云フ有様ナレトモ、其ノ餘リニ巧緻、餘リニ機械的ナル爲メ、却テ其實効ヲ疑フモノ多ク。シテウイツクハ、少數代表ヲ以テ、階級的立法ノ惡弊ヲ來タシ、議會ノ國家ノ立法機關タルノ權威ヲ損スルモノト爲シ、且此方法ハ、最モ、野心家「デマゴグ」ノ徒ヲシテ其事ヲ專ラニセシムルノ虞アルヲ云ヒ、

ニスマンハ、比例代表法ヲ以テ、議院ヲ群小政黨ノ雜居處トシ、無秩序無能力ノ極ニ陥ラシムルモノト爲シ、議院内閣ノ國ニ於テ、此制度ヲ行ハ、内閣ノ基礎ハ常ニ不確實ニシテ、其統一ト恒久性トヲ保ツヲ得ス、遂ニ其議院内閣制ヲ過ルニ至ラサルヘカラサルコトヲ論ス。

然リト雖モ、是等投票方法ニ關スルノ議論ハ、動スレハ輒チ空論ニ流ル、ノ傾アリ。今日一選舉區一議員ノ單純ナル方法ヲ取ル處ト雖モ、少數者悉ク其代表者ヲ出スノミナラス、大小諸黨、各々其實力ニ比例スルノ議員ヲ選出スルノ實アリ。尤モ往々ニシテ、其當選者ヲ出スノ數、其黨員ノ數ニ比例セサルコトナキニアラスト雖モ、所謂少數代表法、比例代表法ノ、機械的作用算術的計量ヲ以テスルモ、既ニ一國ヲ數十若クハ數百ノ選舉區ニ分ツ上ハ、政黨ノ勢力ハ處ニ依リテ其強弱ヲ同クセス、且投票ノ計量及ヒ分配上、偶然ノ事情ニ依リテ、得喪交々至ルハ、其ノ途ニ避クヘカラサル

所ナルヲ以テ、彼是甚タ相異ナレリト云フヲ得ス。而シテ比例代表法ノ如キハ、全國民悉ク政黨ニ分屬シ、其政黨政派ハ、總テ完全ナル組織ヲ成シ、其機能具備セサルナシト云フコトヲ前提ト爲ス。若シ其國內政黨未タ發達セスシテ、黨派外ニ立ツモノ多數アルカ、若クハ其一黨ハ完全ナル組織ト機能トヲ有スルモ、他ノ黨派ハ、無秩序不統一ニシテ、其體用ヲ認ムル能ハサルカコトキ場合ニハ、此方法ヲ施行スルニ由ナシ。管ニ之ノミナラス、國民ノ選舉權ヲ擧ケテ、是等ノ機械作用ニ委スルコトハ、果シテ立憲政治ノ趣旨ト相適フモノト云フヘキカ。抑モ選舉投票ハ、立憲國民ニ依リテ以テ國政ニ參與スルトコロノ、唯一ノ公權ヲ行フモノトス。選舉人ハ、其獨立自由ノ意思ニ依リテ、其欲スル所ノ人ヲ指名ス、國家ハ此獨立自由ノ意思ヲ擁護シテ、公平適正、些ノ之ヲ天關スルモノアルヲ許スヘカラス。然ルニ所謂少數代表法、比例代表法ノ如キハ、則チ選舉人ト國家トノ

利害得失

外ニ存スルトコロノ政黨勢力ヲ現ハス爲メニ、選舉人ノ獨立自由ノ意思ニ幾多ノ條件ヲ附セントス、特ニヘアアンドラ式若クハドント式ノ如キハ選舉人ヲシテ、其投票スルトコロノ人ヲ確的ニ指示スル能ハサラシム。少數代表法ヲ行フトモ、必スシモシデウイクノ云フ所ノ如キ弊害ヲ來タスヘシト爲スヘカラス、又比例代表法ノ弊、常ニ必スシモエスマンノ言ノ如クナリトスル能ハサルト同時ニ、是等ノ選舉法ヲ行ハサル處ニ於テ、群小政黨雜居シテ、議院ノ無秩序不統一ヲ現ハシ、階級立法ノ弊害ヲ見ルモノ、比々皆是レナリ。特ニ野心家煽動者流ノ政治界ニ跋扈跳梁スル、亦獨リ是等選舉制度ノ爲メナリト云フ能ハス、諸說紛々、畢竟様ニ依リテ葫蘆ヲ畫クモノ、ミ。獨リ之ヲ立憲政治ノ原理ニ正シテ、國民ノ公權ニ、多クノ條件ヲ附シ、其獨立自由ノ意思ヲ確的ナラシメサルカ如キハ、甚タ取ルヘカラス。況ヤ其ノ政黨政派ヲ利スル所以ノモノ、亦甚タ覺束ナキニ於

テヲヤ、今日は等ノ制度ヲ取ルモノ極メテ寡キハ、決シテ故ナシトセス。

第四 利害關係ノ代表

議會ハ國民ヲ代表ス、國民ノ利害關係ハ、自ラ議員ニ依リテ表示セラル、モノ無カルヘカラス。併ナカラ、二院制度ノ國ニ於ケル衆議院議員選舉ノ方法トシテ、各種利害關係ノ爲メニ、特殊ノ投票法ヲ設クヘキヤ否ヤ、學說實例、甚タ區々タリ。

階級代表

前述政黨勢力ヲ完全ニ代表スルノ方法トシテ、少數代表法、比例代表法ヲ取ルヲ可トスヘシトセハ、社會ノ各階級、各職業、各種ノ團體、亦各々相當ノ代表者ヲ出スヲ可トセサルヘカラス。且立憲政治ノ歴史ハ、即チ階級代表ノ歴史ニシテ、貴族、僧侶、地主、市民等、各々其代表者ヲ出シテ合議ニ加ハラシメタルコトハ、今日ノ議會制度ノ濫觴ナリ。普魯西、索遜、及ヒ獨逸各

地方議員選舉ニ、三級選舉制ヲ用キ、埃太利ノ從來ノ選舉法ハ、各選舉人ヲ大地主、市民、商業會議所、農民部落、及ヒ普通階級ノ五級ニ分屬セシメ、地主ハ八十五人、市民ハ百十八人、商業會議所ハ二十一人、農民部落ハ百二十九人、普通階級ハ七十二人ノ國會議員ヲ選出スルノ規定アリテ、最モ歴史的古色ヲ保存シ、ミラポーカ立法機關ハ、社會ノ總テノ利害關係ノ一縮圖タルヘシ、國民中ノ種々相異ナリタル階級ノ情諸意思ヲ反射スルコト、土地ノ形狀ヲ描寫スルトコロノ風土表ノ如クナルヘシト云ヘルニ、最モ善ク吻合ス。尤モ此埃國選舉制度ハ、千九百七年ノ憲法改正ニ依リテ、廢止セラレ、今日ニテハ、五級選舉制ヲ用キスシテ、全國ヲ多クノ選舉區ニ分チ或一二ノ除外例アルモ、大體ニ於テ、普通選舉制ニ依リテ、一選舉一名ノ議員ヲ選出ス。

利害關係

國民ノ利害關係ニ基テ、各々其代表者ヲ出サシムヘシト云フコトハ、近時

ノ學者猶ホ之ヲ主張スルモノ多シ。ロバート、フオン、モールハ、社會ノ階級ヲ分チテ、地主、農民、商人、運送業者、製造工業人ト爲シ、各階級ハ、第一ニ其數量的勢力、第二ニ其ノ國家ニ有用ナル程度ニ應シテ、相當ノ代表者ヲ出サ、ルヘカラサルコトヲ主張シ、佛人ヂュグイハ國民ノ總意 *Volonte genérale* ハ、各種團體ノ意思ヲ綜合シテ、初メテ集結シ得ヘシト爲シ、國民生活ノ大要ハ、工業、商業、農業、財產、職業等ヲ分ツニアラサレハ、表示スヘカラサルコトヲ云ヒシヤルル、ベノアノ比例代表論ハ、利害關係ヲ根據ト爲シ、勞働組合ノ如キハ、一ノ組合トシテ、其代表者ヲ出スヘキコトヲ切論ス。其他佛蘭西ド、グリーフ、ラ、グラツスリー、埃太利アルベルト、シヤツフル等、皆同様ノ意見ヲ述フ。然リト雖モ、之ニ反對スル學者、亦寡カラス。エスマンノ如キハ、若シ議會ヲ以テ、利益代表ノ府タラシムルトキハ、議員徒ラニ紛争ヲ事トシ、混雜極リナカルヘク、且議員各々己レノ利益ヲ云フカ如ク

ハ、其ノ立法機關タルノ資格ヲ失フテ、只官府ノ諮問機關タルニ終ルヘク今日ノ立憲政治ノ思想ト相容レスト云ヒ。其他、議員各々利害關係ニ拘泥スルトキハ、之カ爲メニ、議院ハ其性格ヲ汗下シ、其能力ヲ微弱ナラシムヘク、階級争鬭ノ亂階ヲ作ルヘシト爲スモノアリ。是等諸説、往々ニシテ其極端ニ馳セ、其要ヲ失フノ憾ナキ能ハサレトモ、諸説ヲ相参照スルトキハ則チ其利弊共ニ存スル所以ヲ知ルヘシ。

大凡公選ヲ以テ組織スルトコロノ合議體カ、其選舉人ノ利害關係ヲ代表スルト云フコトハ、其ノ自然ノ勢ノ然ラシムル所ニシテ、之ヲ拒ムヘキニアラス。併ナカラ、一部學者ノ言ノ如ク、器械的分類法ヲ用キテ、社會ノ有ラユル個人、又ハ團體ヲ區劃シ、各區劃毎ニ、特殊ノ選舉投票ヲ行フト云フカ如キハ、之ヲ今日ノ衆議院又ハ代議院ニ就テ用ユヘキ所ノモノナリヤ。近時世界文明國、概ス二院制度ヲ取り、特殊階級特殊智識ヲ上院ニ集ムル

ヲ期スルモ、其下院ハ、則チ國民全體代表者ヲ一統スル處ト爲シ、普魯西、其他ノ三級選舉制ハ、非難甚ク多ク、埃太利ノ五等選舉制ハ、遂ニ廢止セラレ、今日ニアリテハ、只選舉區ノ分配ニ依リテ、商工業地、農業地ノ區別ヲ尋ネ得ルモノアルニ止ル。

且其所謂階級分別ナルモノハ、何ヲ基準トシテ之ヲ定ムヘキカ。古來貴族、僧侶、平民ノ三ニ分ツモノアリ。更ニ地主ノ一階級ヲ加ヘテ、四ト爲ヌモノアリ。埃太利ノ五年制ハ、較々密ナリト云フモ、其普通階級ナルモノハ、極メテ雜駁ナリ。學者或ハ、更ニ之ヲ分チテ、七級八級ト爲シ、同業組合、勞働組合ヲモ算ヘ上クルニ至ルモ、今日ノ社會狀態ノ錯綜セルト、其轉變ノ常ナキトヨリ之ヲ見レハ、是等ノ分類ノ粗漫ニシテ、事情ニ相適ハサルヲ指摘シ得ヘシ。且何モノカ利害關係ヲ相同シクシ、何モノカ之ヲ相異ニスヘキカ、器械的分類ヲ以テ、豫シメ其則ヲ立ルカ如キハ、杜撰ノ極ミニ

シテ、說者如何ニ巧智ヲ弄スルモ、遂ニ窮セサルヲ得ス。

今日二院制度ヲ取ルノ國ニ於テ、其上院ニ、各種階級ノ代表者ヲ集ムルノ例ヲ見ルハ、珍ラシカラス。伊太利ノ元老院ハ、大地主、學者、若クハ陸海軍、専門家等ヲ以テ組織シ。西班牙ノ元老院ハ、僧侶、學會、大學、經濟協會等ノ代表者ノ外、地方委員、並ニ市ノ多額納稅者ヨリ選出サレタル議員ヲ以テ組織シ。埃太利貴族院、亦地主、僧侶、學者ヲ集ム。是等ハ、歷史上ヨリ云ハ、是レ即チ古時ノ階級代表ノ體貌ヲ留ムルモノニシテ、下院ニ入ルヲ得ス若クハ下院議院公選法ヲ以テシテハ、其代表者ヲ出ス能ハサルモノヲ、此ニ集ムルモノト云フ得ヘシ。然リト雖モ、是レ其歴史ヲ然リト云フノミ。今日ノ議會ハ、立法機關ナリ、其二院ヲ分立セシムルハ、立法事務ノ完全ヲ保ツ所以ニシテ、其一院ハ、國民ヲ代表スルトコロノ公選議員、他ノ一院ハ、特殊ノ地位智識經驗アルモノヲ以テ之ヲ組織ス。議會議員、各個ニ就

テ之ヲ云ハ、皆其々ノ利害關係ヲ有チ、私情私慾ナキヲ得サルヘシト雖モ、議院ニ在ミテハ、各議員皆國家全局ノ利益、國民全體ノ意思ヲ體シテ、之ニ違フコトナキヲ期シ、自己一身、若クハ同種族、同職業者ノ特殊ノ利益、情慾ヲ此間ニ交ユヘキニアラス。今日二院制度又取ル處ニ於テ、其階級ノ構成、各種階級ニ基クモノアリト雖モ、是ハ他ノ一院ト、其性質及ヒ機能ヲ異ニスル爲メニ、此形式ヲ取ルモノニ外ナラズ。議員ハ、國民全體ノ代表者ニ關係ヲ代表セシムルモノト云フヲ得ス。議員ハ、國民全體ノ代表者ニシテ、一部選舉人ノ委員又ハ代理人ニアラス、選舉人ハ、議員ヲ訓令シ、指揮シ及ヒ其意思ヲ強制スルヲ得スト云フ原則ニシテ、動かサヘカラサル限リ利害關係代表說ハ、適用スヘカラサルナリ。

結論

夫レ政黨ノ勢力ヲ適當ニ代表セシメント欲シテ、少數代表法、比例代表法ヲ案出シ、社會各種階級、職業ノ利害關係ヲ代表セシメント欲シテ、等級選

舉法ヲ案出シタルハ、必スシモ謂レナシトセスト雖モ、其ノ餘リニ器械的構作タルヤ、却テ社會ノ實務ト、政治ノ運用トニ相適ハス。其ノ餘リニ巧緻ナルヤ、遂ニ實行シ得サルモノアリ、實行シテ、些ノ實益ナキモノ、亦コレ有リ。且是等巧緻ニシテ器械的ニ過クル方法ハ、之ヲ小國者クハ選舉人寡キ、未開國殖民地ノ如キ處ニ試ミテ、其功ヲ收ムルコトハ、或ハコレ有ルヘシト雖モ、土地廣大、選舉人衆多、其財政上及ヒ經濟上ノ事物、錯綜セル處ニ於テハ、之ヲ施行スル能ハサルナリ。

且選舉法ハ器械ノミ、之ヲ運用スルモノハ、其事ニ當ルノ人ナリ。其人アリテ其法アリ、政治界ノ大勢ノ趨クトコロハ、選舉法ノ力ヲ以テ之ヲ左右スヘカラス。北米合衆國ハ、政黨ノ組織最モ發達シ、其機能最モ健活ナル處ナリ。故ニ大統領選舉ヨリ、國會議員選舉其他ニ至ルマテ、各政黨内部ノ取極ニテ、其事既ニ定リ、國法上ノ選舉手續ハ、只有名無實ノ形式ヲ充タ